

# ホームレスの実態に関する 全国調査報告書

平成19年4月

## 目 次

第1部	調査の概要	1
第2部	概数調査結果	5
第3部	生活実態調査結果	
第1章	調査対象者の基本的属性	12
第2章	路上（野宿）生活について	14
第3章	路上（野宿）生活までのいきさつ	28
第4章	健康状態	43
第5章	福祉制度	50
第6章	自立について	63
第7章	生活歴	80
第8章	要望・相談	90
参考資料		
	調査票	94

## 第1部 調査の概要

### 第1節 調査の目的

ホームレスの自立の支援等に関する特別措置法（平成14年法律第105号）及びホームレスの自立の支援等に関する基本方針（平成15年7月厚生労働省・国土交通省告示第1号）の見直しを検討するにあたって、政策評価等の実施に必要なデータを得ることを目的とした。

### 第2節 調査方法

#### 1 調査客体

法第2条に規定する「都市公園、河川、道路、駅舎その他の施設を故なく起居の場所として日常生活を営んでいる者」とした。

#### 2 調査方法

国が各都道府県に対し調査を委託し、各都道府県の管内市区町村が調査を実施した。

##### （1）概数調査（ホームレス数の調査）について

- ・ 全国の市区町村において実施することとし、巡回による目視調査とした。
- ・ 市区町村は、調査地域を各ブロック毎に区分けし、ブロック毎にカウンター機器等を使用し、人数を調査した。
- ・ 調査は、「都市公園」「河川」「道路」「駅舎」「その他施設」の5区分及び男女別（男・女・不明）とし、それぞれの人数をカウントした。
- ・ ブロック内のホームレスの所在する場所や時間帯を把握し、より効果的に概数調査ができるよう事前に準備した。
- ・ 調査日は、1日で行うことが望ましいが、対象地域が広い等やむを得ない場合は、複数日（2～5日間程度）において実施することも可とした。
- ・ 都市公園、河川等の公的施設においては、公園、河川等各種施設管理者の協力を得て調査を実施した。
- ・ 調査する時間帯は、ブロック内のホームレスの所在する場所や時間帯を把握した結果に基づき、より効果的に概数調査ができる時間帯で実施した。

## **(2) 生活実態調査**

- ・ 生活実態調査については調査票に基づく個別面接調査とした。
- ・ 調査対象自治体は、東京都23区・政令指定都市及び平成15年1月調査において100名以上のホームレス数の報告のあった市とし、調査数は、別表の通りである。
- ・ 調査は、調査班（2人以上1組）を編成し、班において実施した。
- ・ 調査員の選考に当たっては、調査の正確性の確保、プライバシー保護、地域の実情を考慮し、適切な者を選考、配置した。その際、NPO団体等の民間団体の活用も考慮した。
- ・ 調査員に対しては、事前に調査の趣旨、調査内容と方法、調査員としての心得や注意事項等を周知した。特に調査手法については、調査の事前説明や面接調査の仕方等の事前トレーニングを行うなど調査員への十分な周知を行った。
- ・ 事前調査として、調査日前に調査対象者となるホームレスに対し、調査の実施について周知し、協力を求めるとともに、できる限りホームレスとのコミュニケーションを図った。
- ・ 調査する時間帯は、事前調査の結果に基づき、相手方の了解を得て、より効果的に調査ができる時間帯で実施した。

## **第3節 調査時期**

平成19年1月に実施

## **第4節 集計方法**

集計方法は、管内市区町村が実施した調査結果を各都道府県がとりまとめ、国に報告された調査結果を国が一括集計した。

(別 表)

## 調査対象自治体の調査数及び前回調査におけるホームレス数

市 区 名	調 査 数 (調 査 目 標 数)	(参考)15年1月調査
東 京 都 2 3 区	5 0 0 人 ( 5 0 0 人)	5, 9 2 7 人
大 阪 市	4 9 4 人 ( 5 0 0 人)	6, 6 0 3 人
名 古 屋 市	2 2 5 人 ( 2 5 0 人)	1, 7 8 8 人
川 崎 市	1 1 1 人 ( 1 0 0 人)	8 2 9 人
京 都 市	8 2 人 ( 8 0 人)	6 2 4 人
福 岡 市	8 8 人 ( 8 0 人)	6 0 7 人
横 浜 市	4 0 人 ( 4 0 人)	4 7 0 人
北 九 州 市	4 6 人 ( 4 0 人)	4 2 1 人
神 戸 市	3 0 人 ( 3 0 人)	3 2 3 人
堺 市	5 8 人 ( 3 0 人)	2 8 0 人
さ い た ま 市	3 0 人 ( 3 0 人)	2 1 1 人
仙 台 市	3 0 人 ( 3 0 人)	2 0 3 人
広 島 市	2 0 人 ( 2 0 人)	1 5 6 人
千 葉 市	2 0 人 ( 2 0 人)	1 2 6 人
静 岡 市	2 3 人 ( 2 0 人)	1 1 9 人
札 幌 市	2 0 人 ( 2 0 人)	8 8 人
尼 崎 市	3 0 人 ( 3 0 人)	3 2 3 人
市 川 市	2 0 人 ( 2 0 人)	1 6 8 人
西 宮 市	2 0 人 ( 2 0 人)	1 3 0 人
浜 松 市	2 0 人 ( 2 0 人)	1 2 9 人
守 口 市	3 0 人 ( 2 0 人)	1 2 1 人
府 中 市	2 0 人 ( 2 0 人)	1 1 6 人
平 塚 市	2 2 人 ( 2 0 人)	1 1 2 人
熊 本 市	2 3 人 ( 2 0 人)	1 0 3 人
厚 木 市	2 4 人 ( 2 0 人)	1 0 2 人
八 尾 市	2 3 人 ( 2 0 人)	1 0 0 人
計	2, 0 4 9 人 (2, 0 0 0 人)	2 0, 1 7 9 人 (7 9. 8%)
全 国 計	2, 0 4 9 人 (2, 0 0 0 人)	2 5, 2 9 6 人 (1 0 0. 0%)



## 第2部 ホームレス概数調査の結果

### 1. 全国のホームレス数について

平成19年1月に実施したホームレスの実態に関する全国調査（以下「19年調査」という。）は、平成15年1月から2月にかけて実施したホームレスの実態に関する全国調査（以下「15年調査」という。）と同様の調査方法により全ての市区町村において行われたものである。

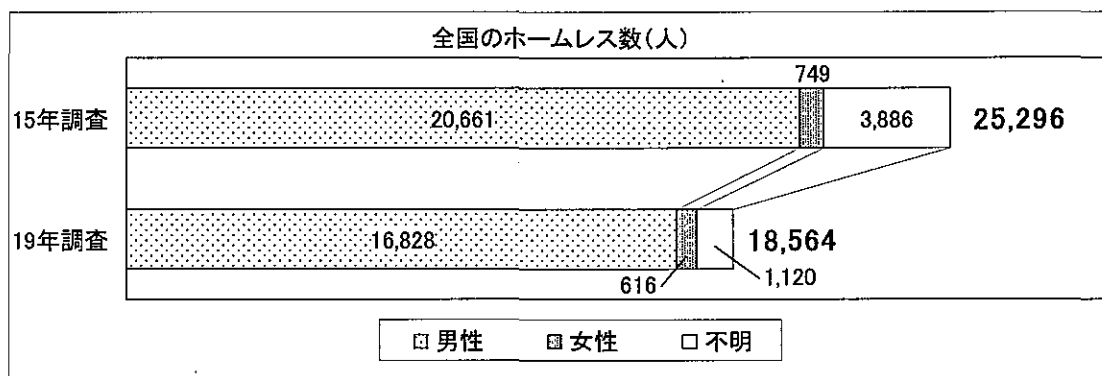
調査の結果、ホームレスが確認された自治体は、全1,837市区町村のうち552市区町村（15年調査では3,240市区町村のうち581市区町村）であった。

全国のホームレス数（表1）は合計18,564人であり、うち男性が16,828人、女性が616人、不明が1,120人となっている。（目視による調査のため防寒具を着込んだ状態等により性別が確認できない者を「不明」としている。）

増減については、15年調査と比較すると、6,732人(26.6%)減少した。

表1 全国のホームレス数

	男	女	不明	合計	15年調査	差引増△減
人数(人)	16,828	616	1,120	18,564	25,296	△6,732
割合(%)	90.7	3.3	6.0	100.0	—	△26.6



### 2. 都道府県別のホームレス数について

各都道府県の状況（表1-2）については、全ての都道府県でホームレスが確認され、15年調査と比較すると、47都道府県のうち31都府県が減少、2県が同数、14道県が増加であった。

また、減少数の多い順に大阪府2,846人減、東京都1,671人減、愛知県1,098人減であり、増加数の多い順に神奈川県92人増、岡山県20人増、北海道及び徳島県19人増となっている。

なお、ホームレス数が最も多かったのは大阪府で4,911人、次いで東京都が4,690人であり、この両都府の合計で全国のホームレス数の過半数を占めている。一方最も少なかったのは鳥取県で6人であった。

表1-2 都道府県別のホームレス数

都道府県名	19年調査				15年調査	差引増△減
	男	女	不明	計		
北海道	139	9	13	161	142	19
青森県	7	0	0	7	16	△ 9
岩手県	25	4	3	32	18	14
宮城県	133	8	3	144	222	△ 78
秋田県	8	0	0	8	13	△ 5
山形県	10	1	0	11	24	△ 13
福島県	13	1	1	15	43	△ 28
茨城県	67	10	1	78	130	△ 52
栃木県	76	3	0	79	134	△ 55
群馬県	93	3	0	96	87	9
埼玉県	715	19	47	781	829	△ 48
千葉県	532	27	35	594	668	△ 74
東京都	4,577	113	0	4,690	6,361	△ 1,671
神奈川県	1,959	45	16	2,020	1,928	92
新潟県	45	4	2	51	74	△ 23
富山県	29	0	0	29	24	5
石川県	18	0	0	18	22	△ 4
福井県	39	2	0	41	24	17
山梨県	25	1	16	42	51	△ 9
長野県	25	3	1	29	37	△ 8
岐阜県	44	8	7	59	86	△ 27
静岡県	307	9	54	370	465	△ 95
愛知県	838	47	138	1,023	2,121	△ 1,098
三重県	50	6	5	61	46	15
滋賀県	27	5	0	32	57	△ 25
京都府	323	19	65	407	660	△ 253
大阪府	4,326	121	464	4,911	7,757	△ 2,846
兵庫県	475	13	139	627	947	△ 320
奈良県	20	2	0	22	14	8
和歌山県	66	2	2	70	90	△ 20
鳥取県	5	0	1	6	13	△ 7
島根県	7	0	0	7	4	3
岡山県	80	5	0	85	65	20
広島県	146	6	1	153	231	△ 78
山口県	21	1	1	23	33	△ 10
徳島県	31	2	0	33	14	19
香川県	33	1	0	34	46	△ 12
愛媛県	22	3	0	25	85	△ 60
高知県	20	2	1	23	23	0
福岡県	1,047	83	47	1,177	1,187	△ 10
佐賀県	30	10	1	41	41	0
長崎県	25	2	3	30	41	△ 11
熊本県	72	2	36	110	124	△ 14
大分県	43	2	0	45	39	6
宮崎県	29	3	3	35	22	13
鹿児島県	53	2	7	62	80	△ 18
沖縄県	153	7	7	167	158	9
合計	16,828	616	1,120	18,564	25,296	△ 6,732

### 3. 東京都23区及び政令指定都市別のホームレス数について

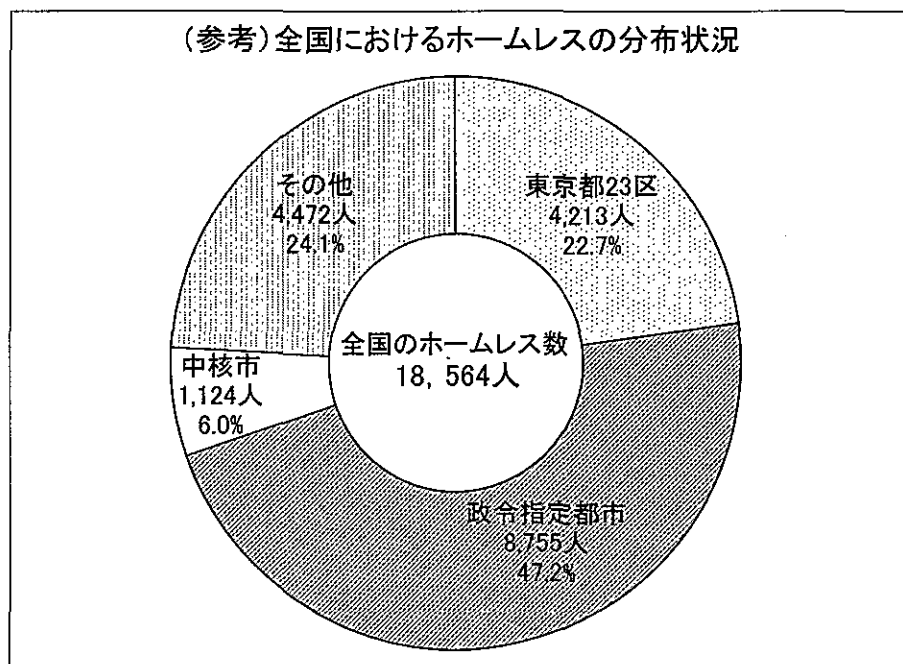
東京都23区及び政令指定都市の状況（表1-3）については、合計が12,968人であり、全国のホームレス数の約7割を占めている。15年調査と比較すると5,832人(31.0%)減少した。

各市区別の増減については、減少数の多い順に大阪市2,534人減、東京都23区1,714人減、名古屋市1,047人減であり、増加数の多い順に横浜市191人増、福岡市177人増、札幌市44人増であった。

表1-3 東京都23区及び政令指定都市のホームレス数

都道府県名	19年調査				15年調査	差引増△減
	男	女	不明	計		
東京都23区	4,114	99	0	4,213	5,927	△ 1,714
札幌市	113	6	13	132	88	44
仙台市	122	7	3	132	203	△ 71
さいたま市	143	7	29	179	221	△ 42
千葉市	101	2	0	103	126	△ 23
横浜市	653	8	0	661	470	191
川崎市	828	20	0	848	829	19
静岡市	81	2	4	87	134	△ 47
名古屋市	587	22	132	741	1,788	△ 1,047
京都市	306	18	63	387	624	△ 237
大阪市	3,558	91	420	4,069	6,603	△ 2,534
堺市	118	6	9	133	280	△ 147
神戸市	132	3	0	135	323	△ 188
広島市	111	4	0	115	156	△ 41
北九州市	231	18	0	249	421	△ 172
福岡市	680	57	47	784	607	177
合計	11,878	370	720	12,968	18,800	△ 5,832

(参考)全国におけるホームレスの分布状況



#### 4. 中核市別のホームレス数について

中核市の状況（表1-4）については、合計が1,124人であり、全国のホームレス数の6.0%を占めている。15年調査と比較すると295人（20.8%）減少した。

各市別の増減については、減少数の多い順に松山市59人減、宇都宮市35人減、船橋市25人減であり、増加数の多い順に岡山市22人増、大分市17人増、奈良市12人増であった。

表1-4 中核市別のホームレス数

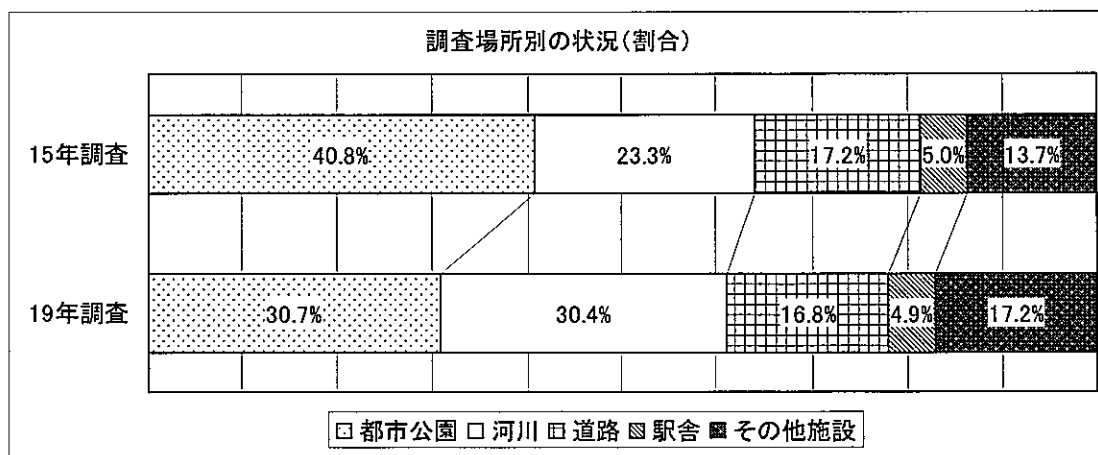
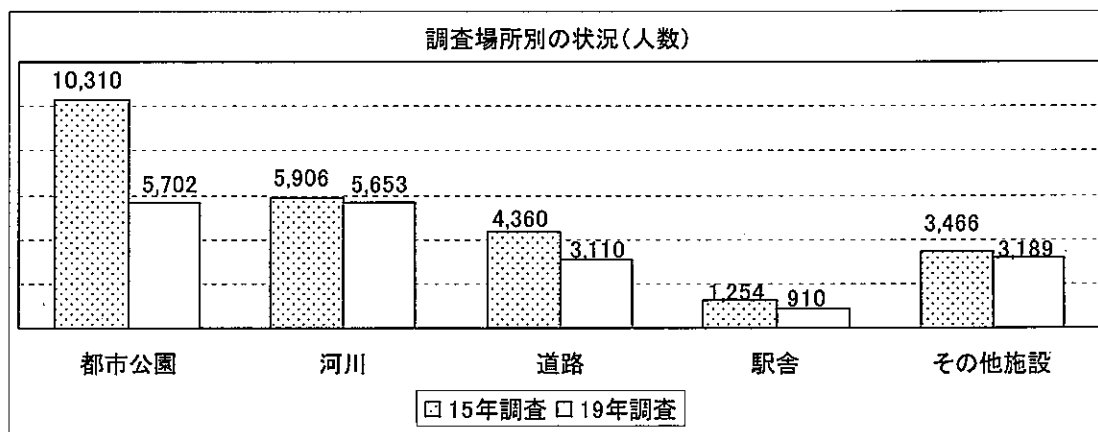
都道府県名	19年調査				15年調査	差引増△減
	男	女	不明	計		
旭川市	9	1	0	10	21	△ 11
函館市	6	1	0	7	25	△ 18
青森市	3	0	0	3	2	1
秋田市	7	0	0	7	11	△ 4
郡山市	2	0	0	2	8	△ 6
いわき市	1	0	0	1	5	△ 4
宇都宮市	31	0	0	31	66	△ 35
川越市	34	0	5	39	29	10
船橋市	56	1	0	57	82	△ 25
横須賀市	26	0	0	26	44	△ 18
相模原市	22	0	8	30	45	△ 15
新潟市	34	4	2	40	52	△ 12
富山市	15	0	0	15	19	△ 4
金沢市	16	0	0	16	22	△ 6
長野市	4	1	0	5	18	△ 13
岐阜市	32	6	3	41	44	△ 3
浜松市	78	3	34	115	129	△ 14
豊橋市	48	10	1	59	58	1
岡崎市	18	2	0	20	23	△ 3
豊田市	12	0	0	12	12	0
高槻市	19	0	0	19	41	△ 22
東大阪市	83	0	6	89	90	△ 1
姫路市	14	1	36	51	57	△ 6
奈良市	17	2	0	19	7	12
和歌山市	54	2	2	58	75	△ 17
岡山市	57	3	0	60	38	22
倉敷市	16	2	0	18	15	3
福山市	25	2	0	27	51	△ 24
下関市	0	0	1	1	5	△ 4
高松市	16	0	0	16	22	△ 6
松山市	12	2	0	14	73	△ 59
高知市	16	2	0	18	22	△ 4
長崎市	13	0	1	14	14	0
熊本市	56	0	36	92	103	△ 11
大分市	27	2	0	29	12	17
宮崎市	16	0	3	19	15	4
鹿児島市	36	1	7	44	64	△ 20
合 計	931	48	145	1,124	1,419	△ 295

## 5. 調査場所別のホームレス数について

調査場所別の状況(表2)については、全ての調査場所で減少したが、特に都市公園で10,310人から5,702人へと大幅に減少した。

表2 調査場所別の状況

	19 年 調 査 人 数 ( 割 合 )	15 年 調 査 人 数 ( 割 合 )	差引増△減 人 数
都市公園	5,702 ( 30.7%)	10,310 ( 40.8%)	△4,608
河 川	5,653 ( 30.4%)	5,906 ( 23.3%)	△253
道 路	3,110 ( 16.8%)	4,360 ( 17.2%)	△1,250
駅 舎	910 ( 4.9%)	1,254 ( 5.0%)	△344
その他施設	3,189 ( 17.2%)	3,466 ( 13.7%)	△277
合 計	18,564 (100.0%)	25,296 (100.0%)	△6,732





### 第3部 ホームレスの生活実態調査の結果

生活実態調査においては、2,049人から回答を得た。

#### 生活実態調査の集計表凡例

##### ◇ 択一式の場合

表1-1 問1-1 具体的な寝場所

	人数	%	有効%
公園	616	30.1	35.9
道路	191	9.3	11.1
河川敷	546	26.6	31.8
駅舎	109	5.3	6.3
その他	256	12.5	14.9
有効回答数	1,718	83.8	100.0
無回答	12	0.6	
非該当	319	15.6	
合計	2,049	100.0	

※1 非該当 ※2 % ※3 有効%

※1「非該当」… 生活実態調査回答者全員が答える必要のない問(枝問)における回答不要者の数及び割合

※2「 %」… 生活実態調査回答者全員(2,049人)に占める割合

※3「有効%」… 有効回答数(1,718人)に占める割合

##### ◇ 複数選択式の場合

表6-1 問6-1 現在している仕事の内容

(複数回答)	件数	回答%	ケース%
建設日雇	187	11.5	13.0
廃品回収	1,087	67.0	75.5
運輸日雇	27	1.7	1.9
その他の雑業	61	3.8	4.2
その他	261	16.1	18.1
有効回答数	1,623	100.0	112.7
有効回答者数	1,440	70.3	
無回答	0	0.0	
非該当	609	29.7	
合計	2,049	100.0	

※1 回答% ※2 ケース%

※1「回答%」… 有効回答数(1,623人)に占める割合

※2「ケース%」… 有効回答者数(1,440人)に占める割合

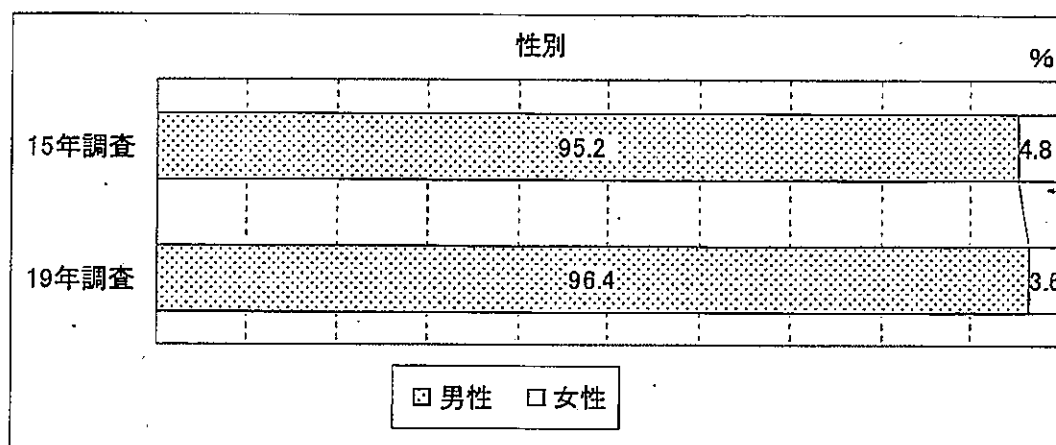
## 第1章 調査対象者の基本的属性

本章では、生活実態調査対象ホームレスの基本的属性を「性別」、「年齢」で表した。

### 1 性別

性別は、有効回答数2,028人のうち、男性1,955人（96.4%）、女性73人（3.6%）であった。

	人	%	有効%
男性	1,955	95.4	96.4
女性	73	3.6	3.6
有効回答数	2,028	99.0	100.0
無回答	21	1.0	
合計	2,049	100.0	

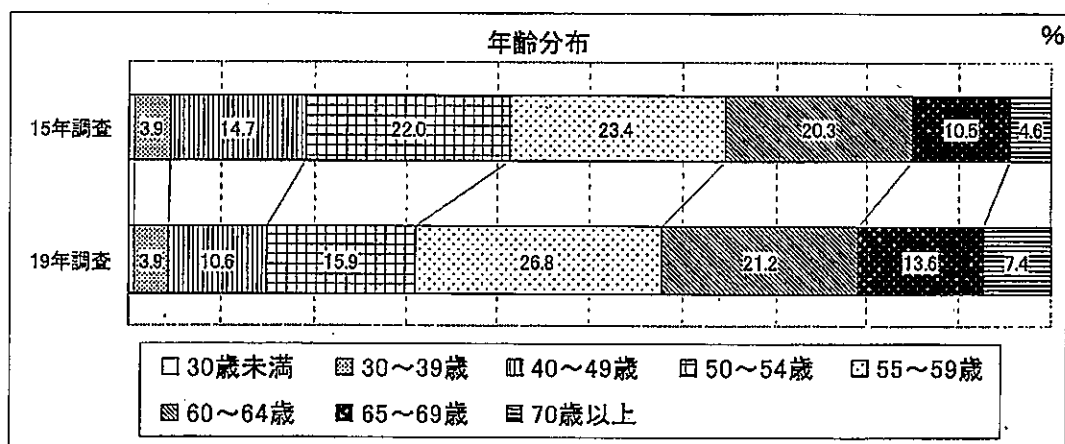


## 2 年齢分布

年齢分布は下表のとおりである。最も多かったのが「55～59歳」547人(26.8%)、次いで「60～64歳」433人(21.2%)、「50～54歳」325人(15.9%)であり、これらの合計が全体の63.9%を占めている。

なお、平均年齢は57.5歳で15年調査に比べて、1.6歳上昇した。

年齢分布	人	%	有効%
19歳以下	1	0.0	0.0
20～24歳	3	0.1	0.1
25～29歳	8	0.4	0.4
30～34歳	20	1.0	1.0
35～39歳	59	2.9	2.9
40～44歳	84	4.1	4.1
45～49歳	133	6.5	6.5
50～54歳	325	15.9	15.9
55～59歳	547	26.7	26.8
60～64歳	433	21.1	21.2
65～69歳	277	13.5	13.6
70～74歳	97	4.7	4.8
75～79歳	40	2.0	2.0
80歳以上	12	0.6	0.6
有効回答数	2,039	99.5	100.0
無回答数	10	0.5	
合計	2,049	100.0	



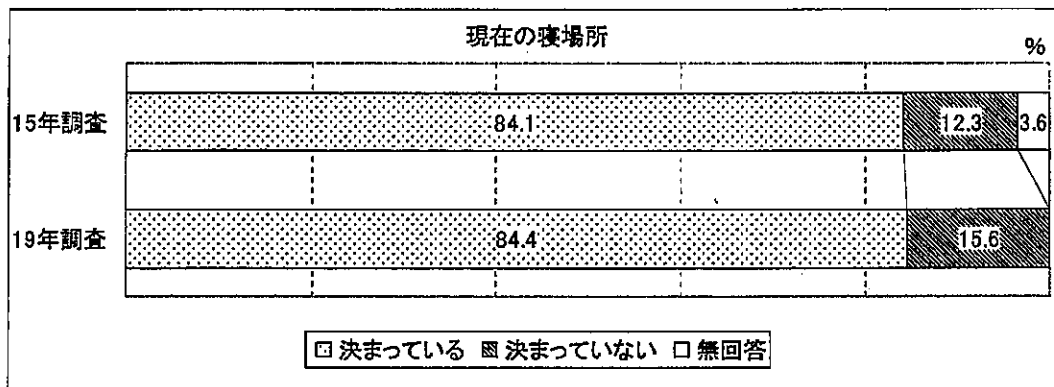
## 第2章 路上（野宿）生活について

### 1 路上（野宿）生活の形態

路上（野宿）場所については、「一定の場所に決まっている」が1,730人(84.4%)、「決まっていない」が319人(15.6%)となっている。(表1)

表1 問1 現在の寝(野宿)場所はどこですか。

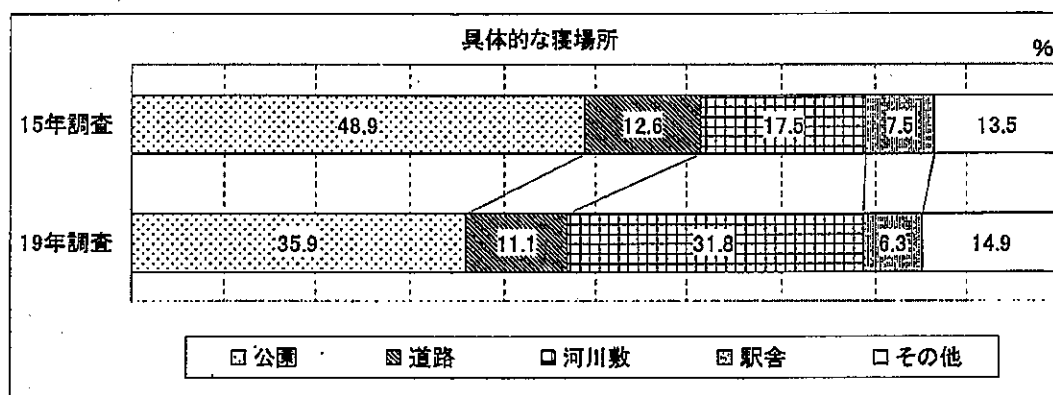
	人	%	有効%
1. 一定の場所で決まっている	1,730	84.4	84.4
2. 決まっていない	319	15.6	15.6
有効回答数	2,049	100.0	100.0
無回答	0	0.0	
合計	2,049	100.0	



なお、「一定の場所に決まっている」者の具体的な場所としては「公園」が最も多く616人(35.9%)、次いで「河川敷」が546人(31.8%)となっており、概数調査の結果とほぼ同様の数値である。(表1-1)

表1-1 問1-1 問1で「1.一定の場所で決まっている」と答えた方について、具体的にはどこですか。

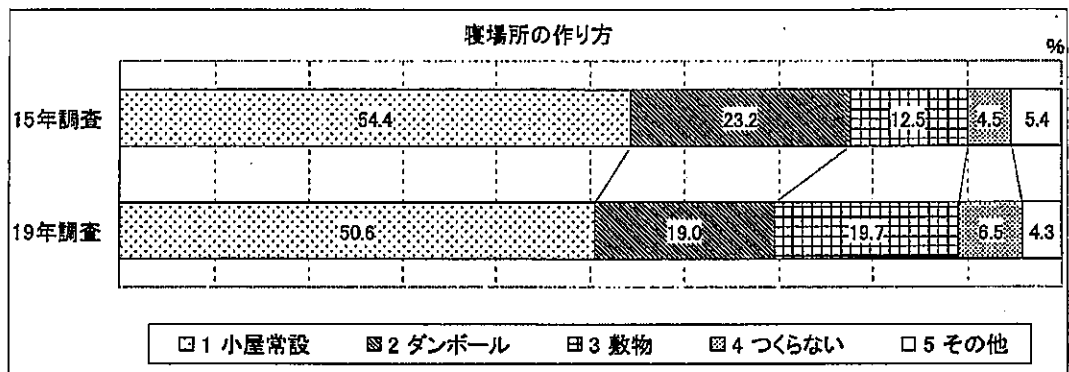
	人	%	有効%
1. 公園	616	30.1	35.9
2. 道路	191	9.3	11.1
3. 河川敷	546	26.6	31.8
4. 駅舎	109	5.3	6.3
5. その他	256	12.5	14.9
有効回答数	1,718	83.8	100.0
無回答	12	0.6	
非該当	319	15.6	
合計	2,049	100.0	



野宿の形態については、「テント又は小屋を常設」が1,024人(50.6%)となっており、全体の過半数を占めている。(表2)

表2 問2 どのようにして寝(野宿)場所をつくっていますか。

	人	%	有効%
1. 廃材やダンボール、ブルーシートによるテント又は小屋を常設	1,024	50.0	50.6
2. ダンボール等を利用して寝場所をつくっている	385	18.8	19.0
3. 簡単に敷物(寝袋・毛布等)を敷いて寝ている	398	19.4	19.7
4. 寝場所は特につくらない	131	6.4	6.5
5. その他	87	4.2	4.3
有効回答数	2,025	98.8	100.0
無回答	24	1.2	
合計	2,049	100.0	

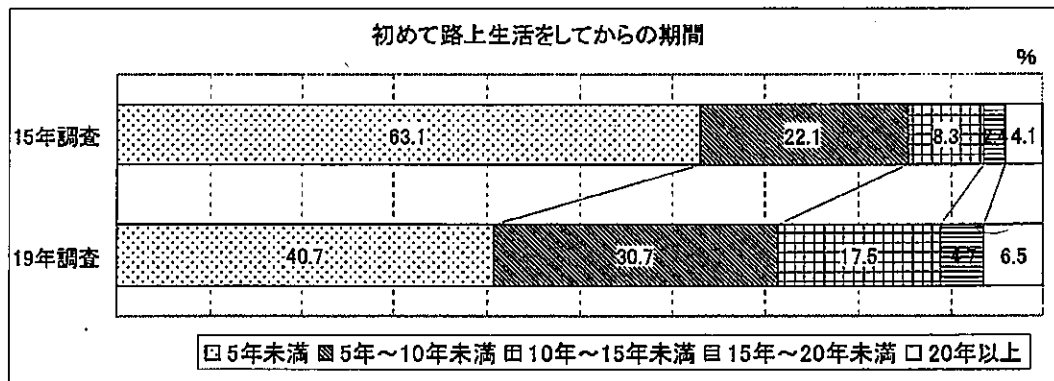


## 2 路上（野宿）生活の期間

初めて路上（野宿）生活をしてからの期間については、「5年以上10年未満」が最も多く625人(30.7%)、次いで「3年以上5年未満」が359人(17.7%)、「10年以上15年未満」が355人(17.5%)となっている。(表3)

表3 問3 初めて路上(野宿)生活をしたのは、どのくらい前ですか。

	人	%	有効%
1ヶ月未満	40	2.0	2.0
1ヶ月～3ヶ月未満	33	1.6	1.6
3ヶ月～6ヶ月未満	55	2.7	2.7
6ヶ月～1年未満	115	5.6	5.7
1年～3年未満	224	10.9	11.0
3年～5年未満	359	17.5	17.7
5年～10年未満	625	30.5	30.7
10年～15年未満	355	17.3	17.5
15年～20年未満	95	4.6	4.7
20年以上	132	6.4	6.5
有効回答数	2,033	99.2	100.0
無回答	16	0.8	
合計	2,049	100.0	

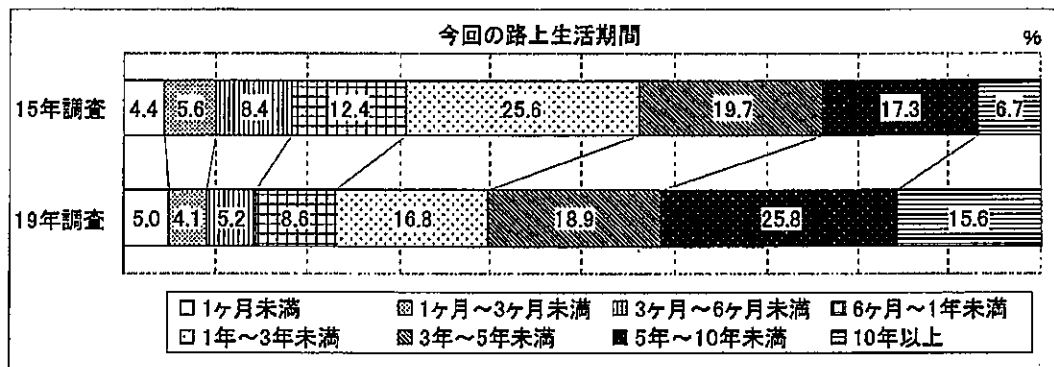


このうち、今回の路上（野宿）生活の期間については、「5年以上10年未満」が最も多く522人(25.8%)であった。

また、15年調査と比べると、「5年以上」の者が517人(24.0%)から838人(41.4%)となっており、長期間路上（野宿）生活している者の割合が増加している。(表4)

表4 問4 今回の路上(野宿)生活をするようになって、どのくらいたちますか。(昔のことは除く)

	人	%	有効%
1ヶ月未満	102	5.0	5.0
1ヶ月～3ヶ月未満	82	4.0	4.1
3ヶ月～6ヶ月未満	105	5.1	5.2
6ヶ月～1年未満	174	8.5	8.6
1年～3年未満	340	16.6	16.8
3年～5年未満	382	18.6	18.9
5年～10年未満	522	25.5	25.8
10年以上	316	15.4	15.6
有効回答数	2,023	98.7	100.0
無回答	26	1.3	
合計	2,049	100.0	

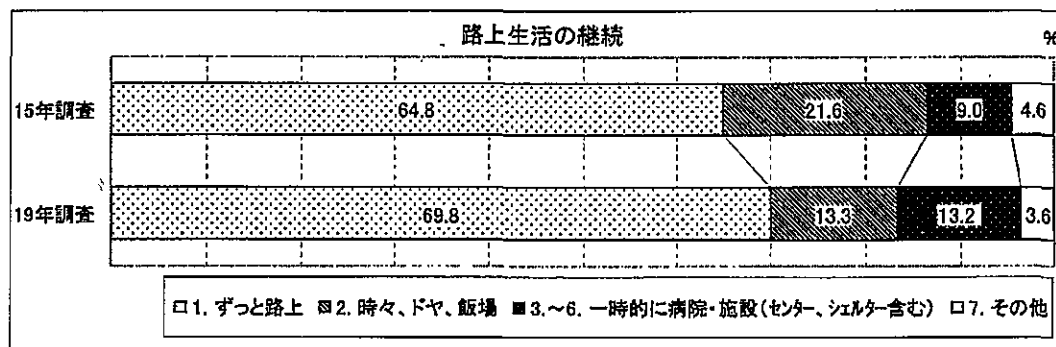


### 3 居住の移動

路上(野宿)生活の間の居住場所については、「ずっと路上(野宿)生活をしていた」が最も多く1,415人(69.8%)、次いで「時々、ドヤ、飯場、ホテル等にも泊まっていた」が270人(13.3%)となっている。(表5)

表5 問5 今回の路上(野宿)生活の間、ずっと継続して路上(野宿)生活が続いていますか。または、どこかで行き来していましたか。1つ選んでください。

	人	%	有効%
1. ずっと路上(野宿)生活をしていた	1,415	69.1	69.8
2. 時々、ドヤ、飯場、ホテル等にも泊まっていた	270	13.2	13.3
3. 病院に一時的に入っていたことがある	117	5.7	5.8
4. 施設に一時的に入っていたことがある	59	2.9	2.9
5. 自立支援センターに一時的に入っていたことがある	49	2.4	2.4
6. 緊急一時宿泊施設(シェルター)に一時的に入っていたことがある	43	2.1	2.1
7. その他	73	3.6	3.6
有効回答数	2,026	98.9	100.0
無回答	23	1.1	
合計	2,049	100.0	

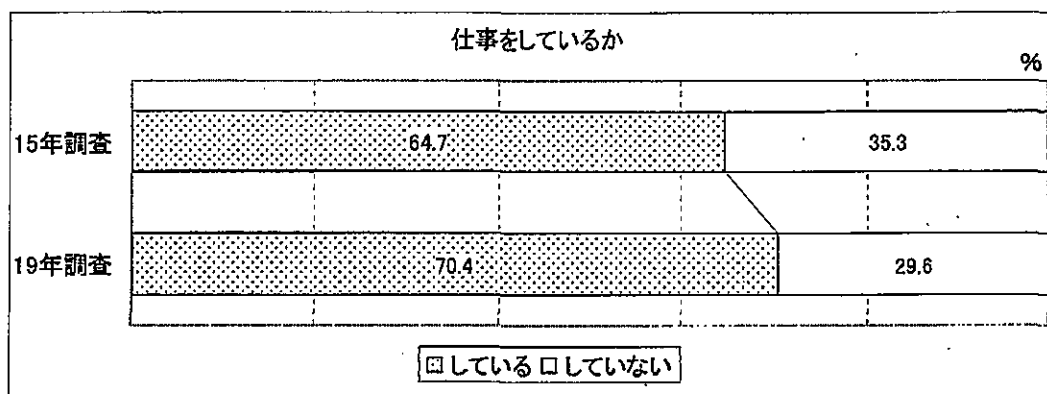


#### 4 仕事と収入の状況

現在の仕事の状況については、「している」が1,440人(70.4%)、「していない」が605人(29.6%)となっており、約7割の者が何らかの仕事をしている。(表6)

表6 問6 現在収入のある仕事をしていますか。

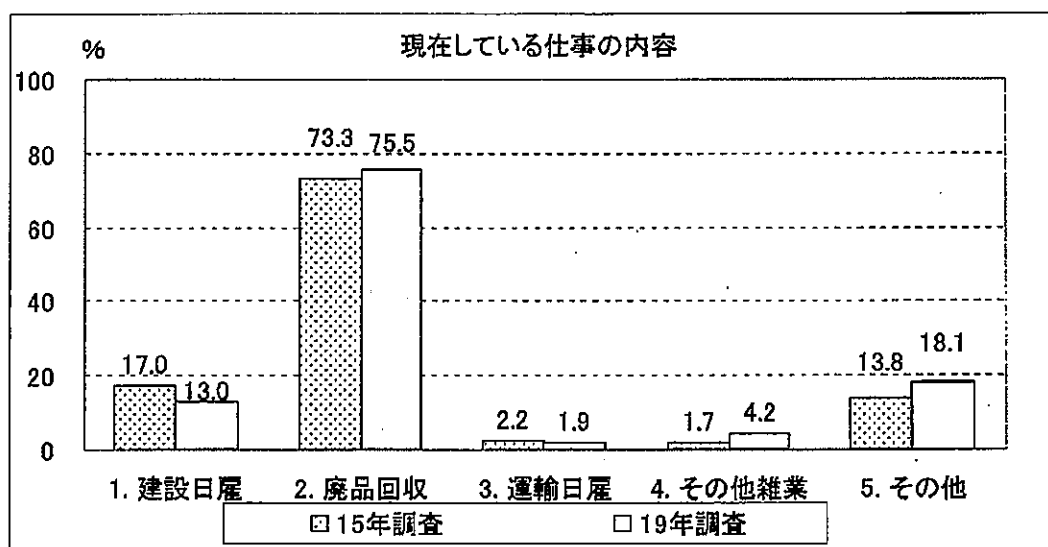
	人	%	有効%
1. している	1,440	70.3	70.4
2. していない	605	29.5	29.6
有効回答数	2,045	99.8	100.0
無回答	4	0.2	
合計	2,049	100.0	



また、その内容については、「廃品回収」が1,087人(75.5%)と最も多く、次いで「建設日雇」187人(13.0%)となっている。(表6-1)

表6-1 問6-1 問6で「1.している」と答えた方について、具体的には、どのような仕事をしていきますか。あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)	人	回答%	ケース%
1. 建設日雇	187	11.5	13.0
2. 廃品回収(アルミ缶・段ボール・粗大ゴミ・本集め)	1,087	67.0	75.5
3. 運輸日雇(運搬作業、引越し等)	27	1.7	1.9
4. その他雑業(看板持ち・チケットならび・雑誌の販売など)	61	3.8	4.2
5. その他	261	16.1	18.1
有効回答数	1,623	100.0	112.7
有効回答者数	1,440	70.3	
無回答	0	0.0	
非該当	609	29.7	
合計	2,049	100.0	

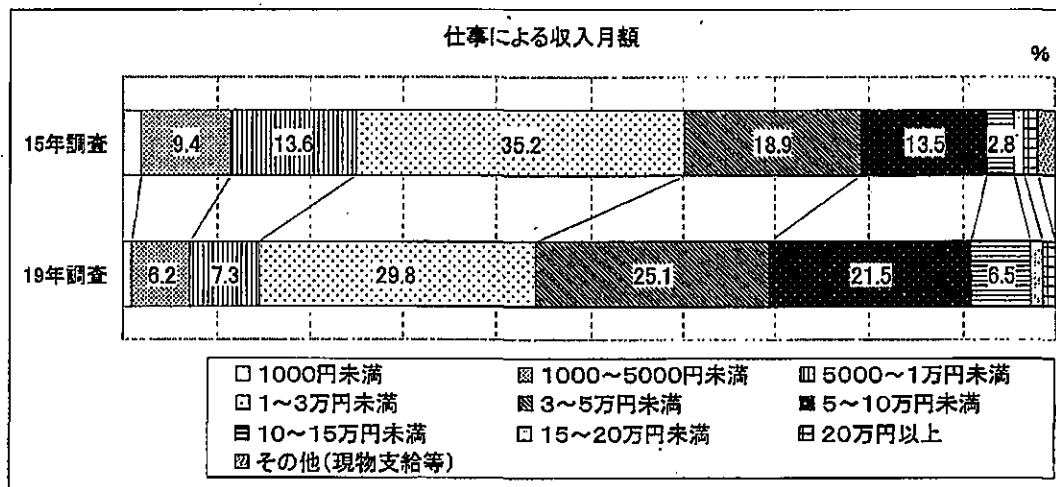


また、現在の仕事による収入月額（ここ3ヶ月の平均）については、「1～3万円未満」が最も多く415人(29.8%)、次いで「3～5万円未満」が349人(25.1%)、「5～10万円未満」が300人(21.5%)となっている。（表6-2）

なお、仕事をしている者の平均月収は約4万円である。

表6-2 問6-2 問6で「1.している」と答えた方について、仕事による収入は月額どれくらいありますか。（ここ3ヶ月くらいの平均）

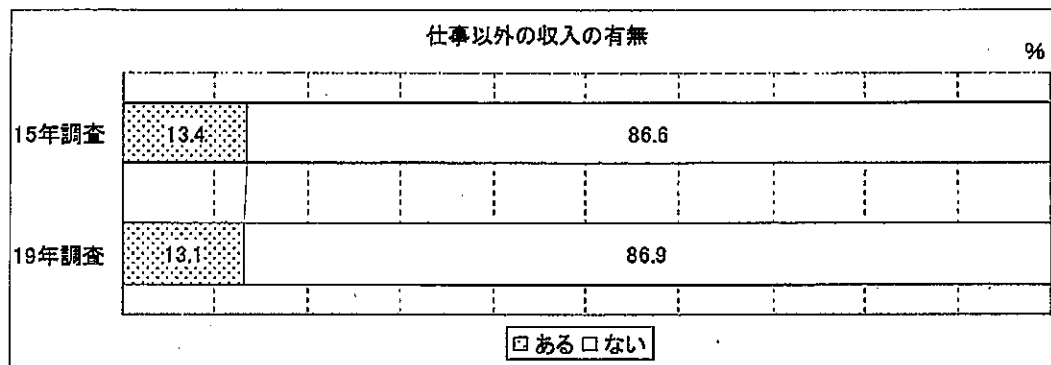
	人	%	有効%
1000円未満	12	0.6	0.9
1000～5000円未満	87	4.2	6.2
5000～1万円未満	101	4.9	7.3
1～3万円未満	415	20.3	29.8
3～5万円未満	349	17.0	25.1
5～10万円未満	300	14.6	21.5
10～15万円未満	91	4.4	6.5
15～20万円未満	18	0.9	1.3
20万円以上	20	1.0	1.4
有効回答数	1,393	68.0	100.0
無回答	47	2.3	
非該当	609	29.7	
合計	2,049	100.0	



一方、ここ3ヶ月での仕事以外の収入の有無については、「ある」が267人(13.1%)、「ない」が1,770人(86.9%)となっている。(表7)

表7 問7 ここ3ヶ月間で、仕事以外の収入がありますか。

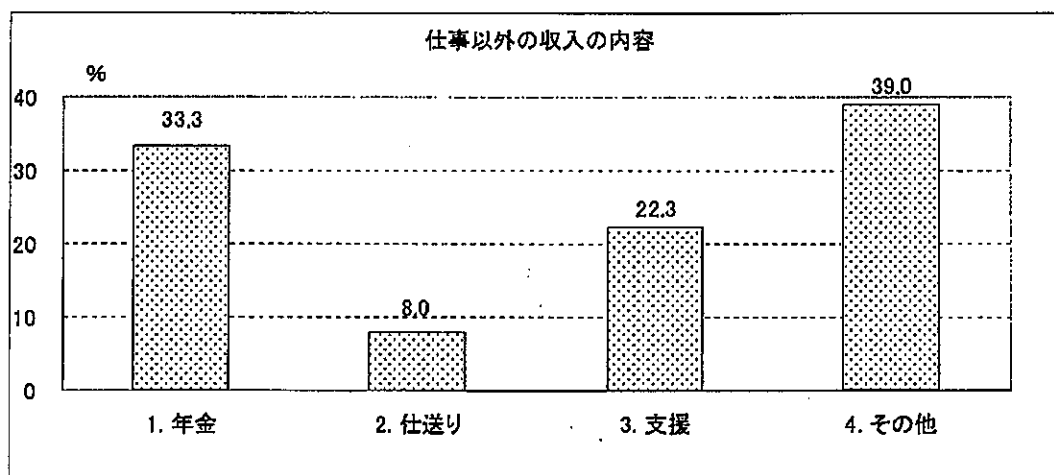
	人	%	有効%
1. ある	267	13.0	13.1
2. ない	1,770	86.4	86.9
有効回答数	2,037	99.4	100.0
無回答	12	0.6	
合計	2,049	100.0	



また、その収入源は、「年金」が最も多く88人(33.3%)、次いで「友人・知人からの支援」が59人(22.3%)となっている。(表7-1)

表7-1 問7-1 問7で「1.ある」と答えた方について、具体的には、どのような収入ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

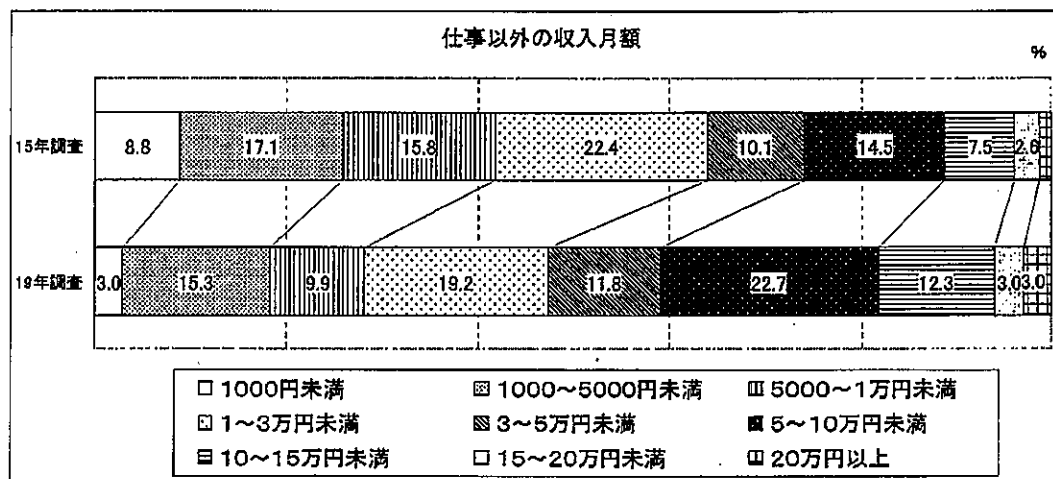
(複数回答)	人	回答%	ケース%
1. 年金	88	32.5	33.3
2. 家族からの仕送り	21	7.7	8.0
3. 友人・知人からの支援	59	21.8	22.3
4. その他	103	38.0	39.0
有効回答数	271	100.0	102.6
有効回答者数	264	12.9	
無回答	3	0.1	
非該当	1,782	87.0	
合計	2,049	100.0	



仕事以外の収入月額（ここ3ヶ月の平均）については「5～10万円未満」が最も多く46人（22.7%）となっている。（表7-2）

表7-2 問7-2 問7で「1.ある」と答えた方について、仕事以外の収入はここ3ヶ月平均してひと月いくらぐらいになりますか。

	人	%	有効%
1000円未満	6	0.3	3.0
1000～5000円未満	31	1.5	15.3
5000～1万円未満	20	1.0	9.9
1～3万円未満	39	1.9	19.2
3～5万円未満	24	1.2	11.8
5～10万円未満	46	2.2	22.7
10～15万円未満	25	1.2	12.3
15～20万円未満	6	0.3	3.0
20万円以上	6	0.3	3.0
有効回答数	203	9.9	100.0
無回答	64	3.1	
非該当	1,782	87.0	
合計	2,049	100.0	

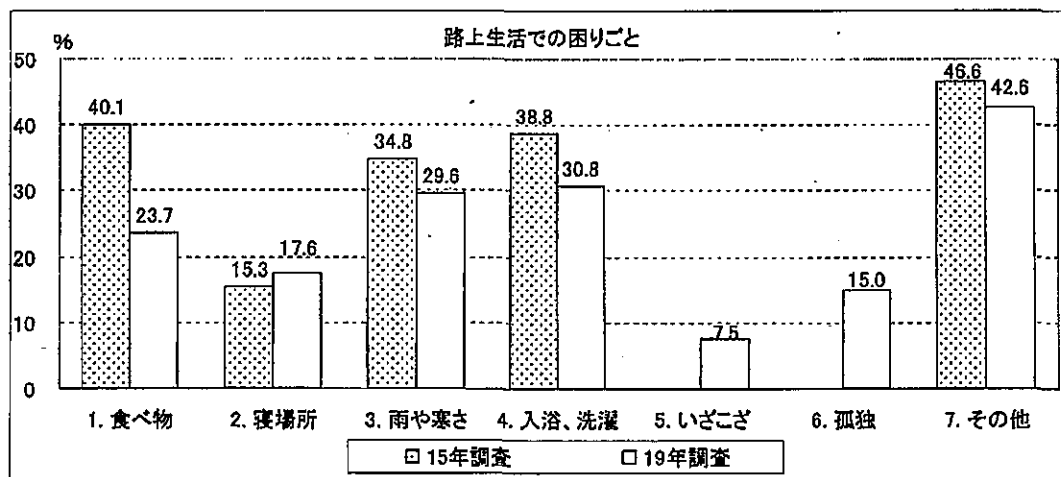


#### 4 路上（野宿）生活で困ること

路上（野宿）生活における困ることについては、「入浴、洗濯ができなくて、清潔に保つことができず困る」が最も多く519人(30.8%)、次いで「雨や寒さをしのげず辛い」が499人(29.6%)、「食べ物が十分でないので辛い」が400人(23.7%)となっている。(表8)

表8 問8 路上(野宿)生活で、困っていることはどのような事ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

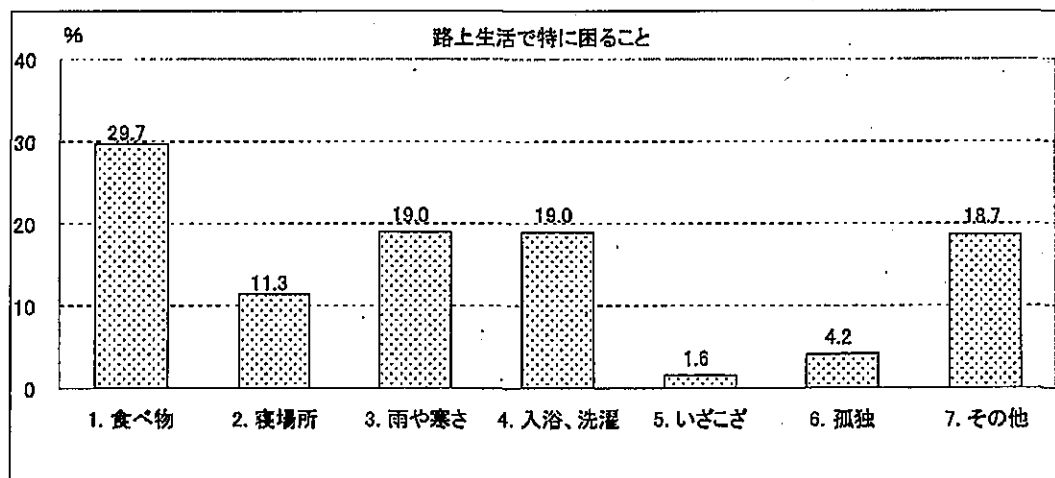
(複数回答)	人	回答%	ケース%
1. 食べ物が十分でないで辛い	400	14.2	23.7
2. 寝る場所を探すのにとっても苦労している	296	10.5	17.6
3. 雨や寒さをしのげず辛い	499	17.8	29.6
4. 入浴、洗濯などができなくて、清潔に保つことができず困る	519	18.5	30.8
5. ホームレス同士のいざこざで困っている	127	4.5	7.5
6. 孤独で不安である	252	9.0	15.0
7. その他	717	25.5	42.6
有効回答数	2,810	100.0	166.8
有効回答者数	1,685	82.2	
無回答	364	17.8	
合計	2,049	100.0	



また、特に困っていることは、「食べ物が十分ないので辛い」が278人(29.7%)となっている。(表8-1)

表8-1 また、特に困っていることについては、◎をつけてください。

	人	回答%	ケース%
1. 食べ物が十分ないので辛い	278	28.7	29.7
2. 寝る場所を探すのにとても苦労している	106	10.9	11.3
3. 雨や寒さをしのげず辛い	178	18.4	19.0
4. 入浴、洗濯などができなくて、清潔に保つことができず困る	178	18.4	19.0
5. ホームレス同士のいざこざで困っている	15	1.5	1.6
6. 孤独で不安である	39	4.0	4.2
7. その他	175	18.1	18.7
有効回答数	969	100.0	103.5
有効回答者数	936	45.7	
無回答	1,113	54.3	
合計	2,049	100.0	



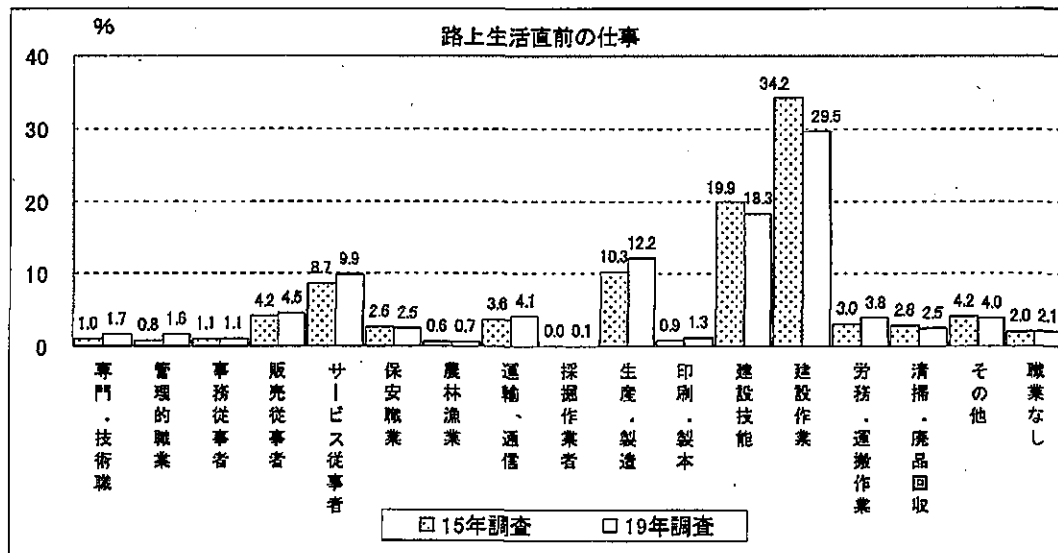
### 第3章 路上（野宿）生活までのいきさつ

#### 1 路上（野宿）生活直前の仕事、従業上の地位、住居形態、地域

路上（野宿）生活直前の仕事については、「建設作業従事者」が595人（29.5%）、「建設技能従事者」が369人（18.3%）で建設業関係が約5割となっており、次いで「生産工程・製造作業者」が245人（12.2%）となっている。（表9）

表9 問9 路上（野宿）生活をするすぐ前にやっていた仕事は何ですか。

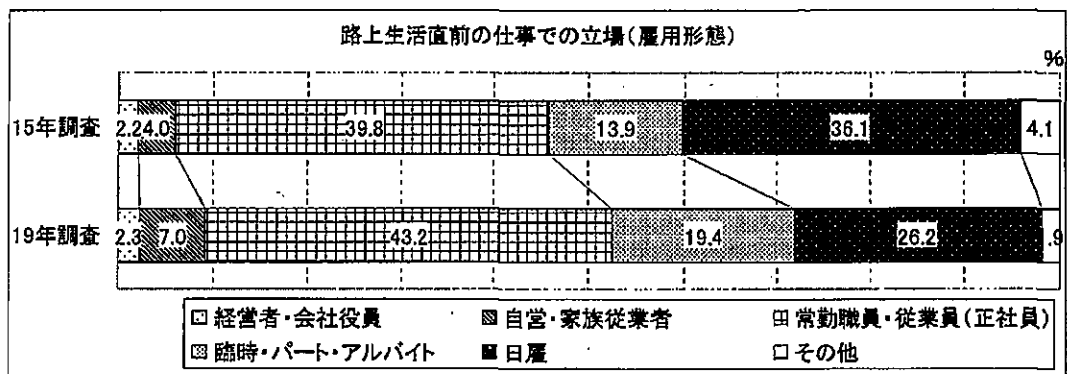
	人	%	有効%
01. 専門・技術的職業従事者	35	1.7	1.7
02. 管理的職業従事者	33	1.6	1.6
03. 事務従事者	22	1.1	1.1
04. 販売従事者	91	4.4	4.5
05. サービス従事者	199	9.7	9.9
06. 保安職業従事者	50	2.4	2.5
07. 農林漁業作業者	14	0.7	0.7
08. 運輸、通信従事者	83	4.1	4.1
09. 採掘作業者	3	0.1	0.1
10. 生産工程・製造作業者	245	12.0	12.2
11. 印刷・製本作業者	27	1.3	1.3
12. 建設技能従事者（大工、配管工など）	369	18.0	18.3
13. 建設作業従事者（土木工、現場片づけなど）	595	29.0	29.5
14. 労務・運搬作業従事者	77	3.8	3.8
15. 清掃作業・廃品回収	50	2.4	2.5
16. その他	80	3.9	4.0
17. 職業なし	42	2.0	2.1
有効回答数	2,015	98.3	100.0
無回答	34	1.7	
合計	2,049	100.0	



また、路上（野宿）生活直前に就いていた仕事の従業上の地位については、「常勤職員・従業員（正社員）」が853人(43.2%)と最も多く、次いで「日雇」516人(26.2%)、「臨時・パート・アルバイト」382人(19.4%)となっている。（表9-1）

表9-1 問9-1 問9で「1」～「16」と答えた方について、その時の立場は何でしたか。

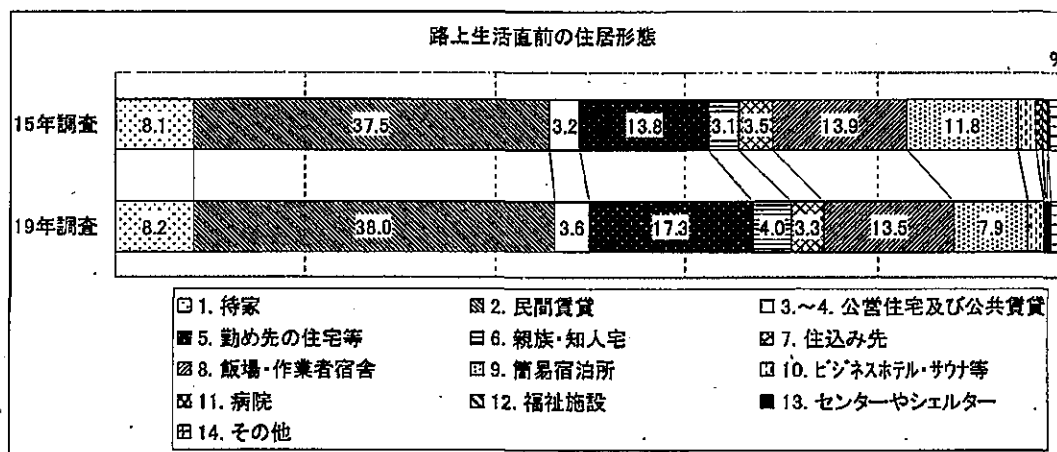
	人	%	有効%
1. 経営者・会社役員	46	2.2	2.3
2. 自営・家族従業者	138	6.7	7.0
3. 常勤職員・従業員(正社員)	853	41.6	43.2
4. 臨時・パート・アルバイト	382	18.6	19.4
5. 日雇	516	25.2	26.2
6. その他	38	1.9	1.9
有効回答数	1,973	96.3	100.0
無回答	0	0.0	
非該当	76	3.7	
合計	2,049	100.0	



路上（野宿）生活をする直前の住居形態については、「民間賃貸住宅」が769人（38.0%）で最も多く、次いで「勤め先の住宅や寮」が351人（17.3%）、「飯場、作業者宿舎」が274人（13.5%）となっている。（表10）

表10 問10 路上（野宿）生活をするすぐ前に、住んでいたのはどこですか。1つ選んでください。（路上（野宿）生活中に一時的に泊まったところは除く。路上（野宿）生活が多くなる前の住居）

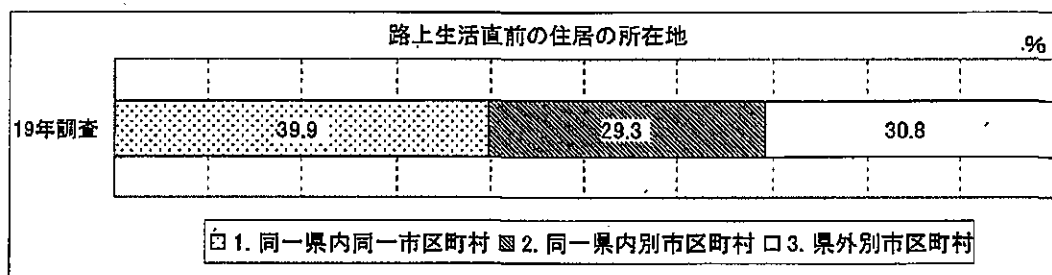
	人	%	有効%
01. 持家（一戸建て、マンションなど）	166	8.1	8.2
02. 民間賃貸住宅（アパート・マンション）	769	37.5	38.0
03. 公営住宅	61	3.0	3.0
04. 公営住宅以外の公共賃貸住宅（都市機構賃貸住宅（旧公団賃貸住宅）等）	13	0.6	0.6
05. 勤め先の住宅や寮	351	17.1	17.3
06. 親族・知人宅	81	4.0	4.0
07. 住込み先	66	3.2	3.3
08. 飯場・作業者宿舎（飯場など現場に仮設された宿舎）	274	13.4	13.5
09. 簡易宿泊所（ドヤ）	160	7.8	7.9
10. ビジネス・カプセルホテル、サウナ、24時間営業の飲食店（マンガ喫茶等含む）	34	1.7	1.7
11. 病院	5	0.2	0.2
12. 更生施設等の福祉施設	5	0.2	0.2
13. 自立支援センターやシェルター	9	0.4	0.4
14. その他	32	1.6	1.6
有効回答数	2,026	98.9	100.0
無回答	23	1.1	
合計	2,049	100.0	



路上（野宿）生活直前に住んでいた地域については、「現在路上（野宿）生活をしている都道府県内の同じ市区町村」が802人（39.9%）、それ以外が1,206人（60.1%）となっている。（表11）

表11 問11 路上（野宿）生活をするすぐ前に、住んでいた地域はどこですか。

	人	%	有効%
1. 現在路上（野宿）生活をしている都道府県内の同じ市区町村	802	39.1	39.9
2. 現在路上（野宿）生活をしている都道府県内の別の市区町村	588	28.7	29.3
3. 現在路上（野宿）生活をしている都道府県外の市区町村	618	30.2	30.8
有効回答数	2,008	98.0	100.0
無回答	41	2.0	
合計	2,049	100.0	

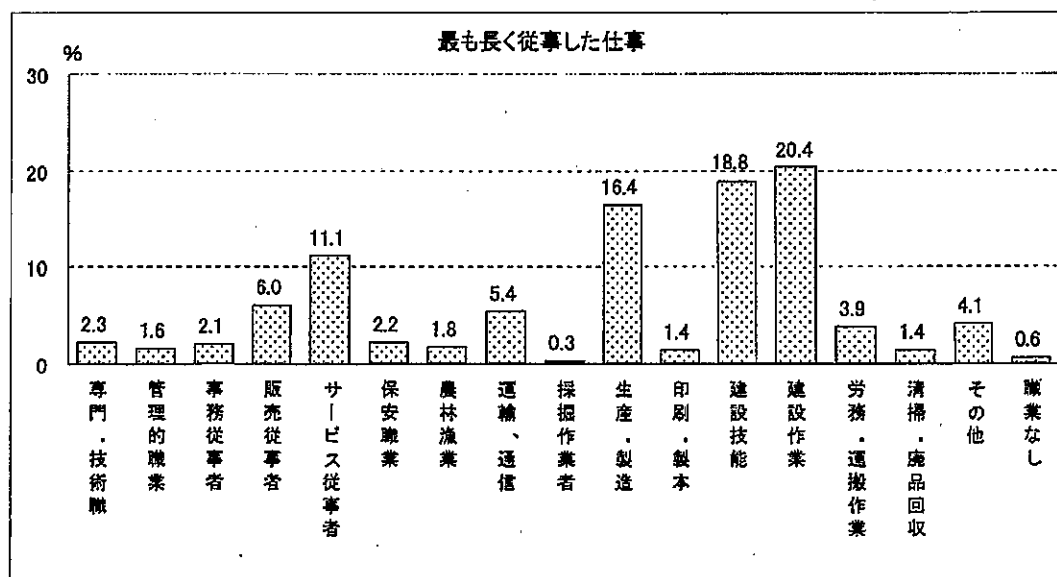


## 2 最も長く従事した仕事、その時の従業上の地位、住居形態、地域

最も長く従事した仕事については、「建設作業従事者」が412人(20.4%)、「建設技能従事者」が379人(18.8%)で建設業関係が約4割となっており、次いで「生産工程・製造作業従事者」が331人(16.4%)、「サービス従事者」が223人(11.1%)となっている。(表12)

表12 問12 これまで一番長くやっていた仕事は何ですか。(主な仕事)

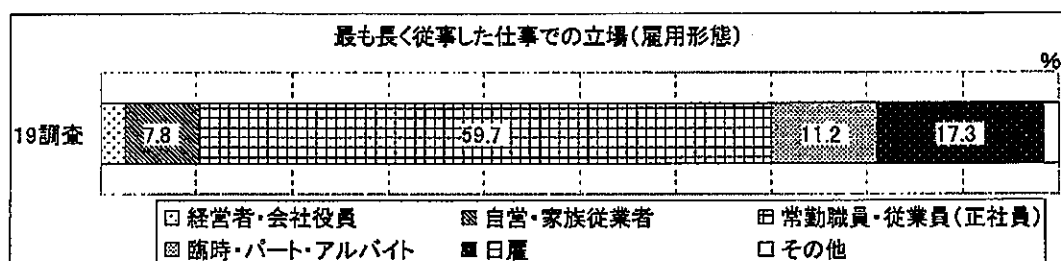
	人	%	有効%
01. 専門・技術的職業従事者	47	2.3	2.3
02. 管理的職業従事者	32	1.6	1.6
03. 事務従事者	42	2.0	2.1
04. 販売従事者	121	5.9	6.0
05. サービス従事者	223	10.9	11.1
06. 保安職業従事者	44	2.1	2.2
07. 農林漁業作業従事者	37	1.8	1.8
08. 運輸、通信従事者	108	5.3	5.4
09. 採掘作業従事者	7	0.3	0.3
10. 生産工程・製造作業従事者	331	16.2	16.4
11. 印刷・製本作業従事者	29	1.4	1.4
12. 建設技能従事者(大工、配管工など)	379	18.5	18.8
13. 建設作業従事者(土木工、現場片づけなど)	412	20.1	20.4
14. 労務・運搬作業従事者	79	3.9	3.9
15. 清掃作業・廃品回収	29	1.4	1.4
16. その他	82	4.0	4.1
17. 職業なし	13	0.6	0.6
有効回答数	2,015	98.3	100.0
無回答	34	1.7	
合計	2,049	100.0	



また、その時の従業上の地位については、「常勤職員・従業員（正社員）」が最も多く1,193人（59.7%）、次いで「日雇」345人（17.3%）、「臨時・パート・アルバイト」224人（11.2%）となっている。（表12-1）

表12-1 問12-1 問12で「1」～「16」と答えた方について、その時の立場は何でしたか。

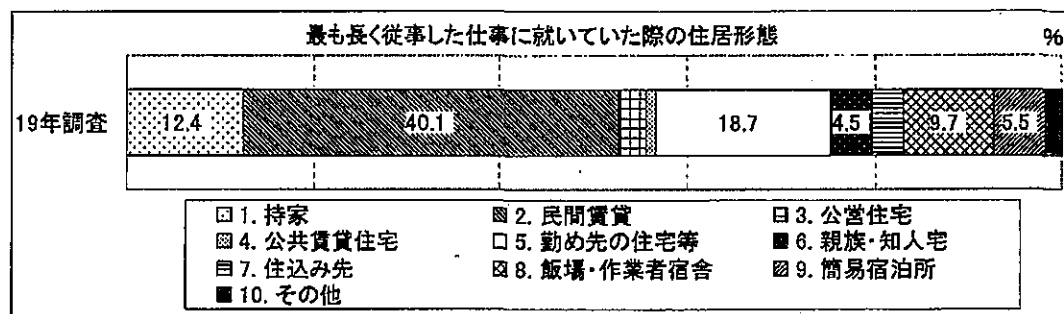
	人	%	有効%
1. 経営者・会社役員	50	2.4	2.5
2. 自営・家族従業者	155	7.6	7.8
3. 常勤職員・従業員(正社員)	1,193	58.2	59.7
4. 臨時・パート・アルバイト	224	10.9	11.2
5. 日雇	345	16.8	17.3
6. その他	32	1.6	1.6
有効回答数	1,999	97.6	100.0
無回答	3	0.1	
非該当	47	2.3	
合計	2,049	100.0	



最も長く従事した仕事に就いていた際の住居形態については、「民間賃貸住宅」が811人(40.1%)、「勤め先の社宅や寮」が378人(18.7%)、「持家」が251人(12.4%)となっている。(表13)

表13 問13 これまで一番長く仕事を行っていた際に、住んでいたのはどこですか。1つ選んでください。

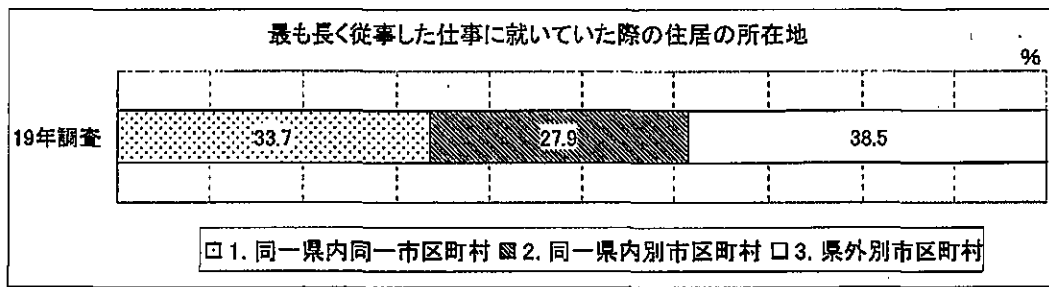
	人	%	有効%
01. 持家(一戸建て、マンションなど)	251	12.2	12.4
02. 民間賃貸住宅(アパート・マンション)	811	39.6	40.1
03. 公営住宅	61	3.0	3.0
04. 公営住宅以外の公共賃貸住宅(都市機構賃貸住宅(旧公団賃貸住宅)等)	21	1.0	1.0
05. 勤め先の住宅や寮	378	18.4	18.7
06. 親族・知人宅	90	4.4	4.5
07. 住込み先	64	3.1	3.2
08. 飯場・作業者宿舎(飯場など現場に仮設された宿舎)	196	9.6	9.7
09. 簡易宿泊所(ドヤ)	112	5.5	5.5
10. その他	36	1.8	1.8
有効回答数	2,020	98.6	100.0
無回答	29	1.4	
合計	2,049	100.0	



最も長く従事した仕事に就いていた際に住んでいた地域については、「現在路上(野宿)生活をしている都道府県内の同じ市区町村」が668人(33.7%)、それ以外が1,316人(66.4%)となっている。(表14)

表14 問14 これまで一番長く仕事を行っていた際に、住んでいた地域はどこですか。

	人	%	有効%
1. 現在路上(野宿)生活をしている都道府県内の同じ市区町村	668	32.6	33.7
2. 現在路上(野宿)生活をしている都道府県内の別の市区町村	553	27.0	27.9
3. 現在路上(野宿)生活をしている都道府県外の市区町村	763	37.2	38.5
有効回答数	1,984	96.8	100.0
無回答	65	3.2	
合計	2,049	100.0	

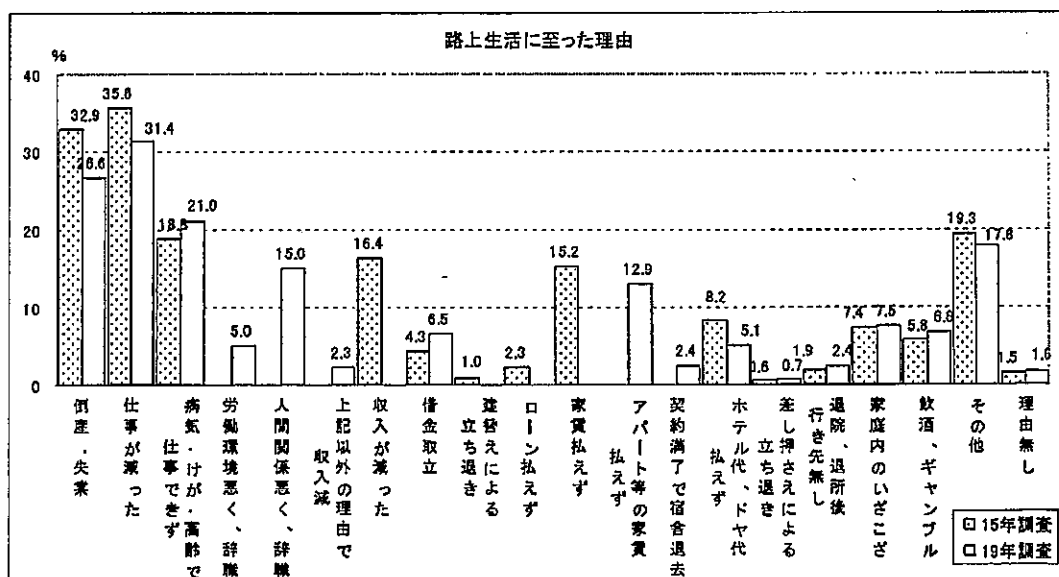


### 3 路上（野宿）生活になった理由

路上（野宿）生活になった理由については、「仕事が減った」が635人（31.4%）と最も多く、次いで「倒産・失業」が539人（26.6%）、「病気・けが・高齢で仕事ができなくなった」が426人（21.0%）、「人間関係がうまくいかなくて、仕事を辞めた」が304人（15.0%）となっており、仕事関係が上位を占めている。（表15）

表15 問15 今回の路上（野宿）生活をするようになった主な理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んで下さい。

(複数回答)	人	回答%	ケース%
01. 倒産・失業	539	16.1	26.6
02. 仕事が減った	635	19.0	31.4
03. 病気・けが・高齢で仕事ができなくなった	426	12.8	21.0
04. 労働環境が劣悪なため、仕事を辞めた	101	3.0	5.0
05. 人間関係がうまくいかなくて、仕事を辞めた	304	9.1	15.0
06. 上記以外の理由で収入が減った	47	1.4	2.3
07. 借金取立により家を出た	132	4.0	6.5
08. アパート等の家賃が払えなくなった	261	7.8	12.9
09. 契約期間満了で宿舎を出た	48	1.4	2.4
10. ホテル代、ドヤ代が払えなくなった	104	3.1	5.1
11. 差し押さえによって立ち退きさせられた	14	0.4	0.7
12. 病院や施設などから出た後行き先がなくなった	49	1.5	2.4
13. 家庭内のいざこざ	151	4.5	7.5
14. 飲酒、ギャンブル	137	4.1	6.8
15. その他	360	10.8	17.8
16. 理由無し	33	1.0	1.6
有効回答数	3,341	100.0	165.1
有効回答者数	2,024	98.8	
無回答	25	1.2	
合計	2,049	100.0	

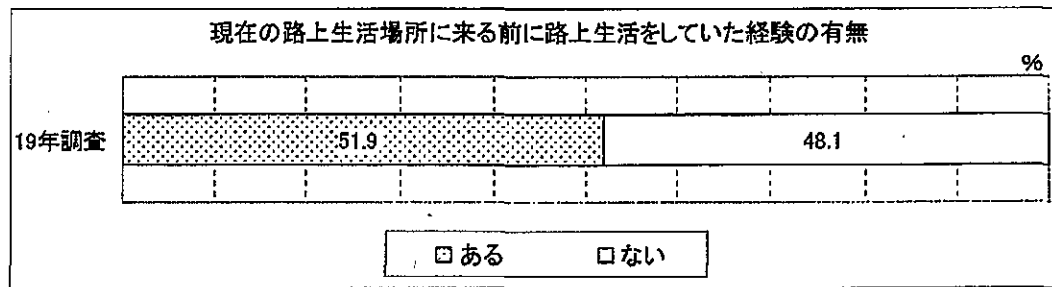


#### 4 路上（野宿）生活をしてからの移動

現在、路上（野宿）生活をしている場所にくる前に、別の場所での路上（野宿）生活経験の有無については、「ある」が1,048人(51.9%)、「ない」が973人(48.1%)となっている。（表16）

表16 問16 現在の路上(野宿)生活場所にくる前に、別の場所で路上(野宿)生活をしていたことがありますか。

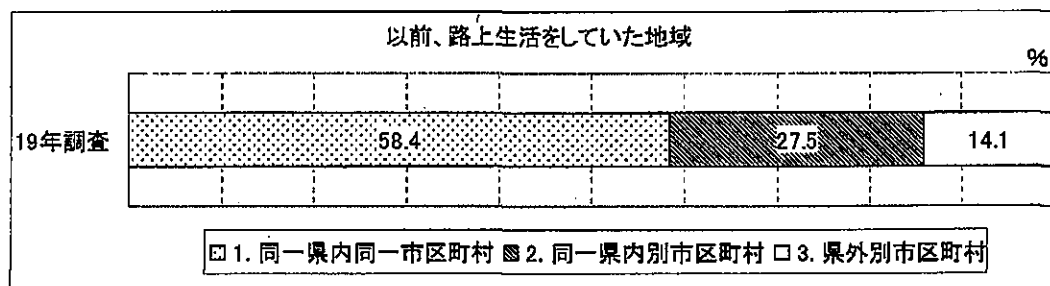
	人	%	有効%
1. ある	1,048	51.1	51.9
2. ない	973	47.5	48.1
有効回答数	2,021	98.6	100.0
無回答	28	1.4	
合計	2,049	100.0	



また、その場所については、「現在路上(野宿)生活をしている都道府県内の同じ市区町村」が603人(58.4%)、それ以外が429人(41.6%)となっている。(表16-1)

表16-1 問16-1 問16で「1.ある」と答えた方について、その場所はどこですか。

	人	%	有効%
1. 現在路上(野宿)生活をしている都道府県内の同じ市区町村	603	29.4	58.4
2. 現在路上(野宿)生活をしている都道府県内の別の市区町村	284	13.9	27.5
3. 現在路上(野宿)生活をしている都道府県外の市区町村	145	7.1	14.1
有効回答数	1,032	50.4	100.0
無回答	16	0.8	
非該当	1,001	48.9	
合計	2,049	100.0	

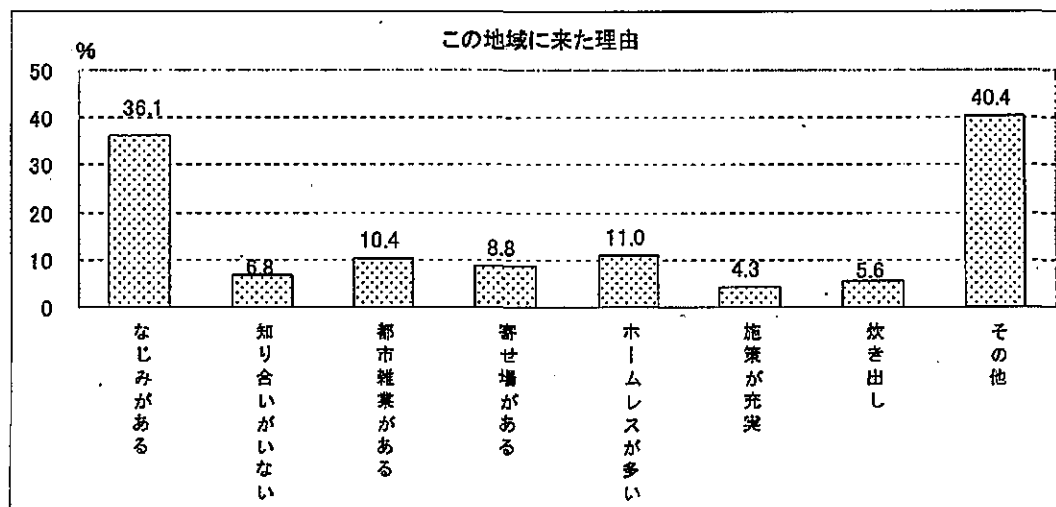


## 5 路上（野宿）生活をしている場所に来た理由

現在、路上（野宿）生活をしている場所に来た理由については、「以前住んでいたり、仕事があったりで、なじみがある」が621人(36.1%)で最も多く、次いで「ホームレスが多い」が189人(11.0%)、「アルミ缶、ダンボール、粗大ゴミ、雑誌等集めなどの仕事があるから」が178人(10.4%)となっている。(表17)

表17 問17 現在路上生活をしているこの市区町村に来た主な理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

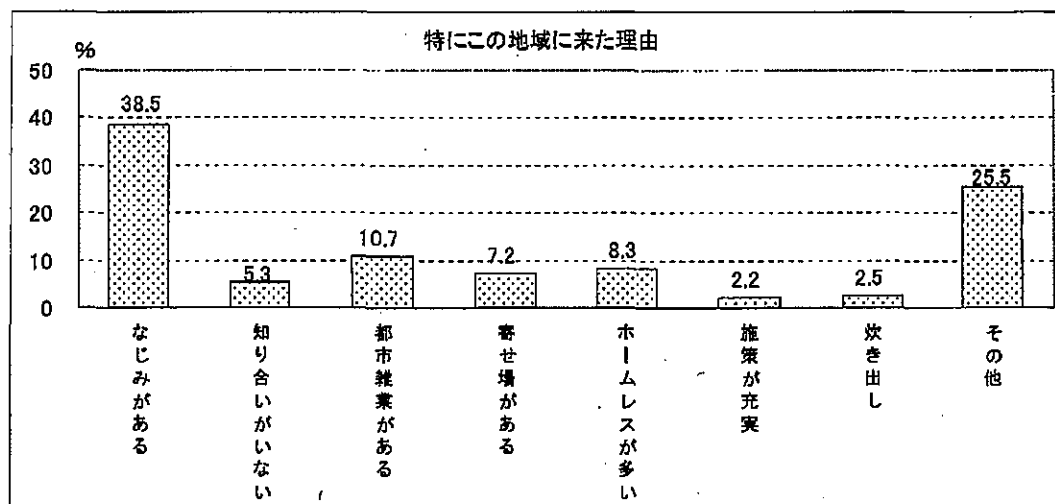
(複数回答)	人	回答%	ケース%
1. 以前住んでいたり、仕事があったりで、なじみがある	621	29.3	36.1
2. 以前の知り合いが誰もいなそうである	117	5.5	6.8
3. アルミ缶、ダンボール、粗大ゴミ、雑誌等集めなどの仕事があるから	178	8.4	10.4
4. 近くに日雇いの寄せ場があったり、仕事の声をかけられるから	152	7.2	8.8
5. ホームレスが多い	189	8.9	11.0
6. ホームレスのための施策が充実している	74	3.5	4.3
7. ボランティア団体等による炊き出しがある	96	4.5	5.6
8. その他	694	32.7	40.4
有効回答数	2,121	100.0	123.5
有効回答者数	1,718	83.8	
無回答	331	16.2	
合計	2,049	100.0	



また、その中で特にあてはまるものも、「以前住んでいたり、仕事があったりで、なじみがある」が242人(38.5%)が多くなっている。(表17-1)

表17-1 また、特にあてはまるものに◎をつけてください。

	人	回答%	ケース%
1. 以前住んでいたり、仕事があったりで、なじみがある	242	38.5	38.5
2. 以前の知り合いが誰もいなそうである	33	5.2	5.3
3. アルミ缶、ダンボール、粗大ゴミ、雑誌等集めなどの仕事があるから	67	10.7	10.7
4. 近くに日雇いの寄せ場があったり、仕事の声をかけられるから	45	7.2	7.2
5. ホームレスが多い	52	8.3	8.3
6. ホームレスのための施策が充実している	14	2.2	2.2
7. ボランティア団体等による炊き出しがある	16	2.5	2.5
8. その他	160	25.4	25.5
有効回答数	629	100.0	100.2
有効回答者数	628	30.6	
無回答	1,421	69.4	
合計	2,049	100.0	

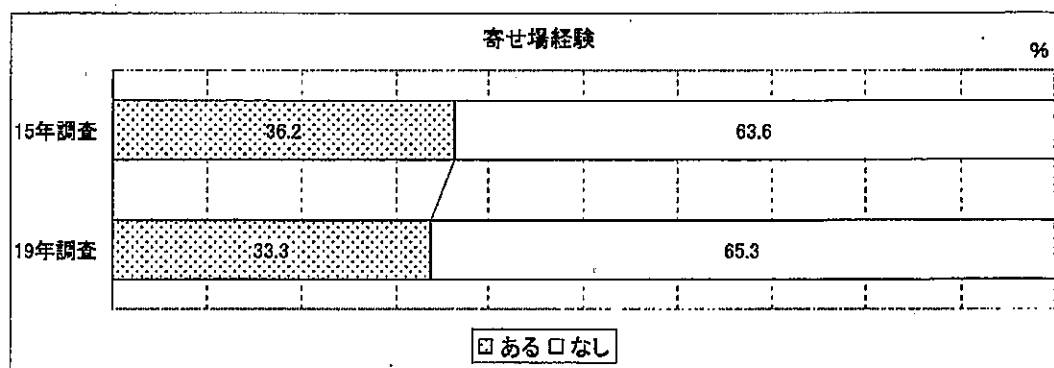


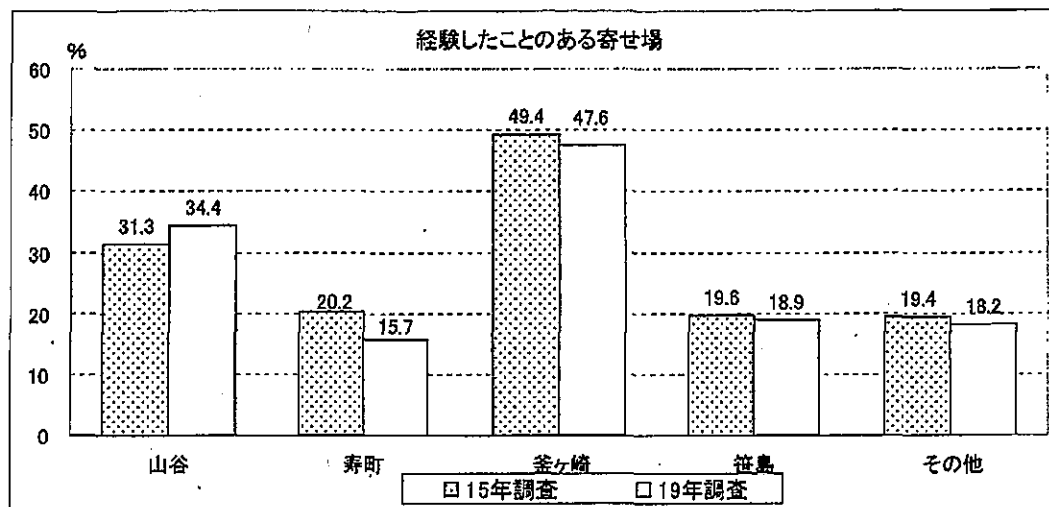
## 6 特定地域・場所での就労・求職状況

下記の特定地域・場所での就労・求職状況については、683人(33.3%)が就労又は求職を行っている。(表18)

表18 問18 これまでに東京・山谷、横浜・寿町、大阪・釜ヶ崎、名古屋・笹島などで、仕事をしたり仕事を探したことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)	人	回答%	ケース%
1. 山谷(東京)	235	25.5	34.4
2. 寿町	107	11.6	15.7
3. 釜ヶ崎	325	35.3	47.6
4. 笹島	129	14.0	18.9
5. その他の寄せ場	124	13.5	18.2
有効回答数	920	100.0	134.7
有効回答者数	683	33.3	
なし	1,339	65.3	
無回答	27	1.3	
合計	2,049	100.0	





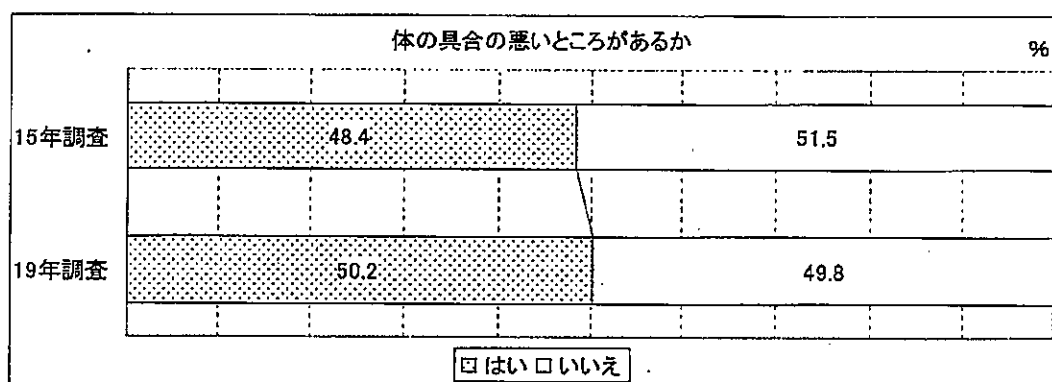
## 第4章 健康状態

### 1 健康状態

現在の健康状態について、具合の悪いところが「ある」と回答した者が1,023人(50.2%)、「ない」と回答した者が1,014人(49.8%)となっており、回答者の約半数がどこか身体の具合が悪いと感じている。(表19)

表19 問19 現在、どこか体の具合の悪いところがありますか。

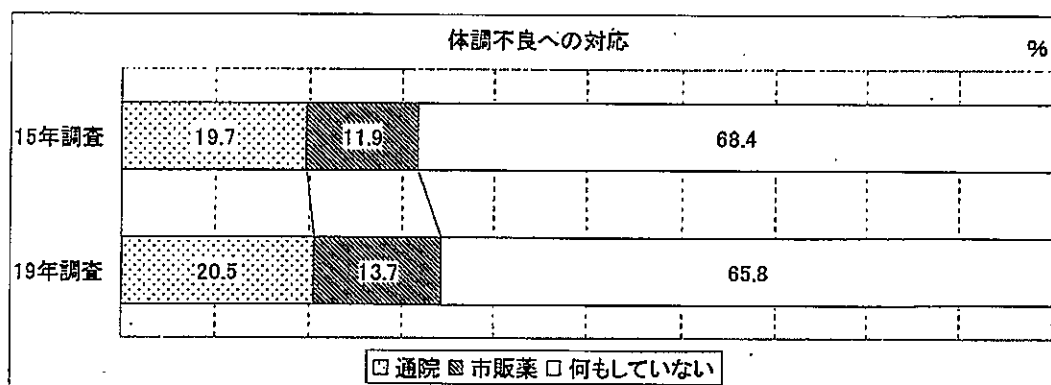
	人	%	有効%
1. はい	1,023	49.9	50.2
2. いいえ	1,014	49.5	49.8
有効回答数	2,037	99.4	100.0
無回答	12	0.6	
合計	2,049	100.0	



また、「ある」と回答した者のうち、「通院」、「市販薬」などで対処している者が345人（34.2%）と3割強であり、何もしていない者が663人（65.8%）で7割弱となっている。（表19-1）

表19-1 問19-1 問19で「1.はい」と答えた方について、どのような対処をしていますか。

	人	%	有効%
1. 通院	207	10.1	20.5
2. 市販薬	138	6.7	13.7
3. 何もしていない	663	32.4	65.8
有効回答数	1,008	49.2	100.0
無回答	15	0.7	
非該当	1,026	50.1	
合計	2,049	100.0	

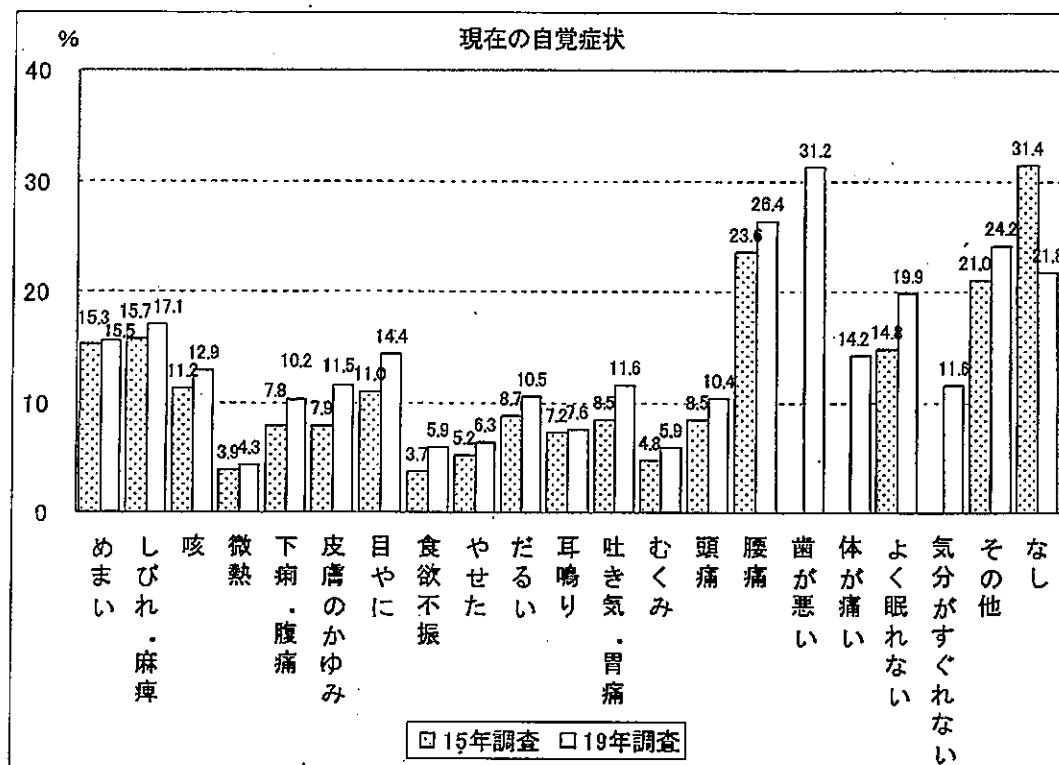


次に具体的な自覚症状については、「歯が悪い」が633人(31.2%)で最も多く、次いで「腰痛」が535人(26.4%)となっている。

一方、「なし」と回答した者は、441人(21.8%)となっている。(表20)

表20 問20 路上(野宿)生活している間(路上(野宿)生活の長い方はここ1年以内)で、次のような症状がありましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)	人	回答%	ケース%
01. めまい	315	5.3	15.5
02. しびれ・麻痺	346	5.8	17.1
03. 咳がつづく	262	4.4	12.9
04. 微熱がつづく	87	1.5	4.3
05. ひどい下痢が続いた・激しい腹痛	207	3.5	10.2
06. 皮膚のかゆみや発疹	233	3.9	11.5
07. 目やにが出る・目がかすむ	292	4.9	14.4
08. 食欲不振	119	2.0	5.9
09. 急激にやせた	127	2.1	6.3
10. ひどくだるい	212	3.6	10.5
11. 耳鳴りがひどい	154	2.6	7.6
12. 吐き気・嘔吐・胃の痛み	236	4.0	11.6
13. むくみ	119	2.0	5.9
14. 頭痛	210	3.5	10.4
15. 腰痛	535	9.0	26.4
16. 歯が悪い	633	10.6	31.2
17. 体の節々が痛む	288	4.8	14.2
18. よく眠れない	404	6.8	19.9
19. 気分がすぐれない・落ちこむ	236	4.0	11.6
20. その他	490	8.2	24.2
21. なし	441	7.4	21.8
有効回答数	5,946	100.0	293.5
有効回答者数	2,026	98.9	
無回答	23	1.1	
合計	2,049	100.0	

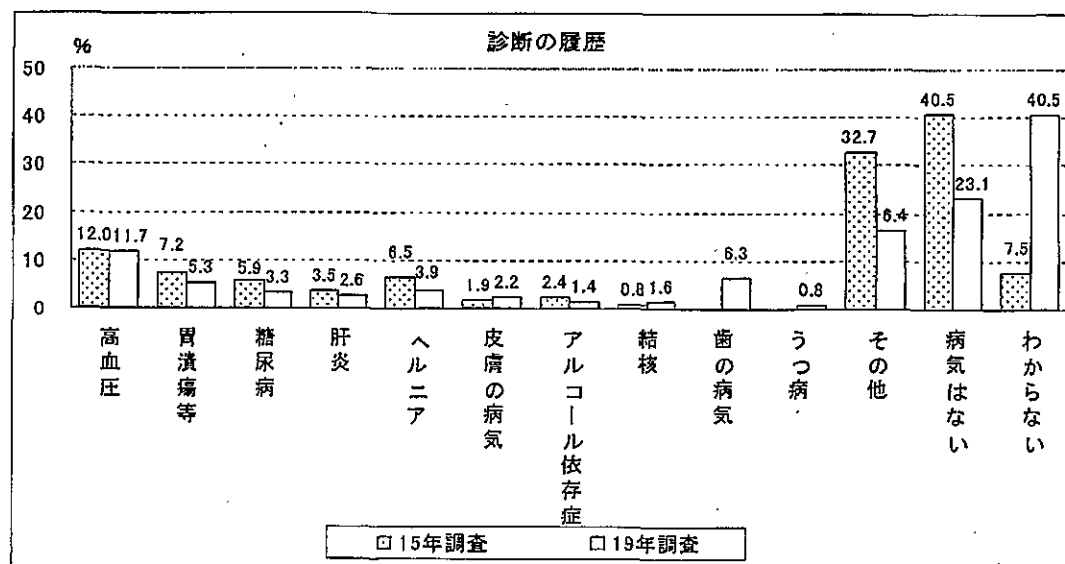


具体的に診断された病気については、「高血圧」が最も多く235人(11.7%)となっている。

一方、「病気はない」と回答した者は463人(23.1%)、「受診していないので病気かどうか分からない」は813人(40.5%)となっている。(表21)

表21 問21 路上(野宿)生活をしてから、次のような病気であると診断されたことがありますか。

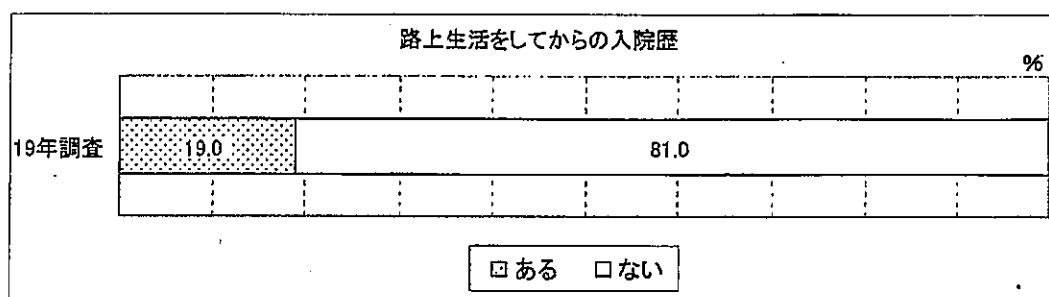
(複数回答)	人	回答%	ケース%
01. 高血圧	235	9.8	11.7
02. 胃・十二指腸潰瘍	106	4.4	5.3
03. 糖尿病	66	2.8	3.3
04. 肝炎	52	2.2	2.6
05. ヘルニア(腰痛等)	79	3.3	3.9
06. 皮膚の病気	45	1.9	2.2
07. アルコール依存症	28	1.2	1.4
08. 結核	33	1.4	1.6
09. 歯の病気(虫歯、歯槽膿漏等)	127	5.3	6.3
10. うつ病	16	0.7	0.8
11. その他	330	13.8	16.4
12. 病気はない	463	19.3	23.1
13. 受診していないのでわからない	813	34.0	40.5
有効回答数	2,393	100.0	119.2
有効回答者数	2,008	98.0	
無回答	41	2.0	
合計	2,049	100.0	



路上（野宿）生活をしてからの入院経験については、「ある」が385人（19.0%）、「ない」が1,641人（81.0%）となっている。（表22）

表22 問22 路上（野宿）生活をしてから、入院したことはありますか。

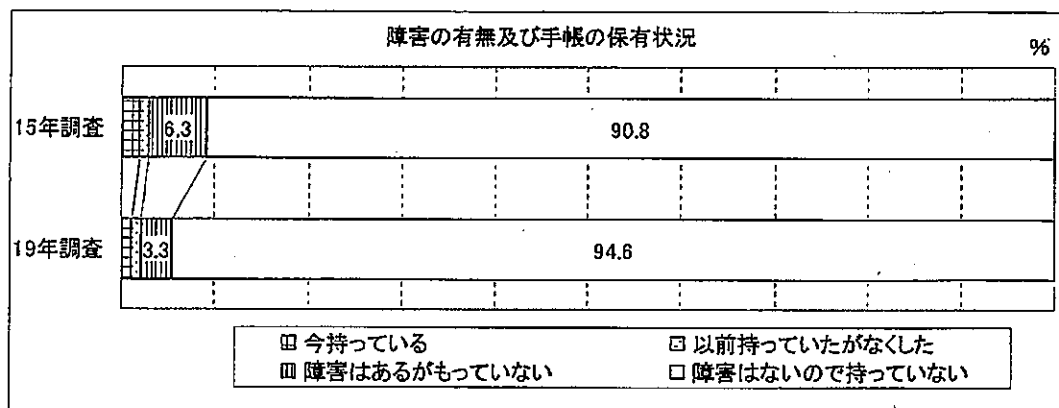
	人	%	有効%
1. ある	385	18.8	19.0
2. ない	1,641	80.1	81.0
有効回答数	2,026	98.9	100.0
無回答	23	1.1	
合計	2,049	100.0	



障害者手帳等の各種福祉手帳の所持状況については、「障害はないので持っていない」が1,911人(94.6%)で最も多くなっている。(表23)

表23 問23 現在何らかの障害を抱えていますか。また障害を抱えている場合、身体障害者手帳や療育手帳(愛の手帳)、精神障害者保健福祉手帳を持っていますか。

	人	%	有効%
1. 今持っている	23	1.1	1.1
2. 以前持っていたがなくした	20	1.0	1.0
3. 障害はあるが持っていない	66	3.2	3.3
4. 障害はないので持っていない	1,911	93.3	94.6
有効回答数	2,020	98.6	100.0
無回答	29	1.4	
合計	2,049	100.0	



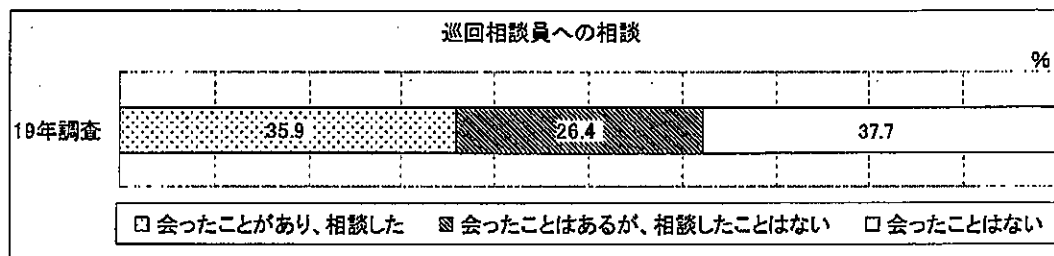
## 第5章 福祉制度

### 1 相談事業の利用

巡回相談員への相談状況については、巡回相談員に「会ったことがあり、相談した」が729人(35.9%)、「会ったことはあるが、相談したことはない」が536人(26.4%)、「会ったことはない」が766人(37.7%)となっており、「巡回相談員に会ったことがある」と回答した者は、1,265人(62.3%)と、全体の約6割に達している。(表24)

表24 問24 巡回相談員に会ったことはありますか。

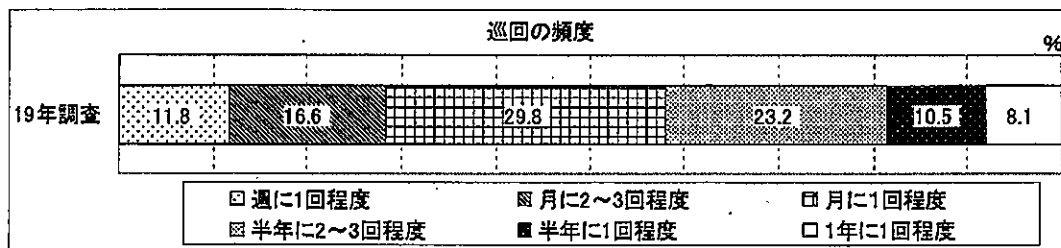
	人数	%	有効%
1. 会ったことがあり、相談した	729	35.6	35.9
2. 会ったことはあるが、相談したことはない	536	26.2	26.4
3. 会ったことはない	766	37.4	37.7
有効回答数	2,031	99.1	100.0
無回答	18	0.9	
合計	2,049	100.0	



問24-1で「会ったことがあり、相談した」、「会ったことはあるが、相談したことはない」と回答した者が、どのくらいの頻度で巡回相談員に会っているかについては、「月に1回程度」が367人(29.8%)と最も多く、次いで「半年に2～3回程度」が286人(23.2%)、「月に2～3回程度」が204人(16.6%)となっている。(表24-1)

表24-1 問24-1 問24で「1.会ったことがあり、相談した」または「2. 会ったことはあるが、相談したことはない」と答えた方について、どのくらいの頻度で巡回してきますか。

	人数	%	有効%
1. 週に1回程度	145	7.1	11.8
2. 月に2～3回程度	204	10.0	16.6
3. 月に1回程度	367	17.9	29.8
4. 半年に2～3回程度	286	14.0	23.2
5. 半年に1回程度	129	6.3	10.5
6. 1年に1回程度	100	4.9	8.1
有効回答数	1,231	60.1	100.0
無回答	34	1.7	
非該当	784	38.3	
合計	2,049	100.0	

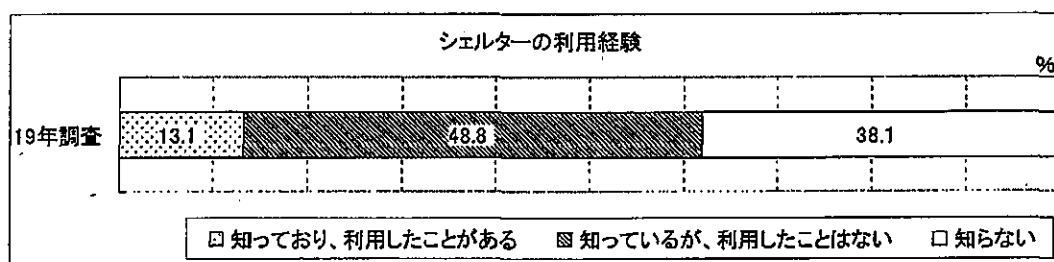


## 2 シェルターの利用

緊急的な一時宿泊場所であるシェルターの利用状況については、「知っており、利用したことがある」が265人(13.1%)、「知っているが、利用したことはない」が988人(48.8%)、「知らない」が770人(38.1%)となっており、「シェルターを知っている」と回答した者は、1,253人(61.9%)と、全体の約6割に達している。(表25)

表25 問25 緊急的な一時宿泊場所としてシェルターがありますが、この施設の内容を知っていますか。

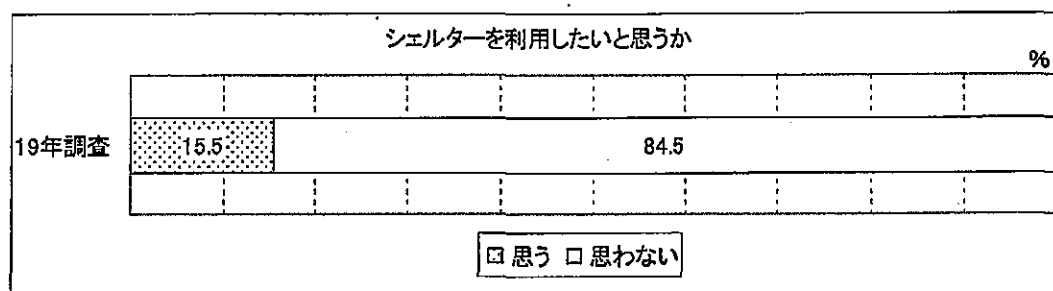
	人数	%	有効%
1. 知っており、利用したことがある	265	12.9	13.1
2. 知っているが、利用したことはない	988	48.2	48.8
3. 知らない	770	37.6	38.1
有効回答数	2,023	98.7	100.0
無回答	26	1.3	
合計	2,049	100.0	



問25で「知っているが、利用したことはない」と回答した者が今後シェルターを利用したいと思うかについては、「思う」が153人(15.5%)、「思わない」が831人(84.5%)となっている。(表25-1)

表25-1 問25-1 問25で「2.知っているが、利用したことはない」と答えた方について、今後シェルターを利用したいと思いますか。

	人数	%	有効%
1. 思う	153	7.5	15.5
2. 思わない	831	40.6	84.5
有効回答数	984	48.0	100.0
無回答	4	0.2	
非該当	1,061	51.8	
合計	2,049	100.0	

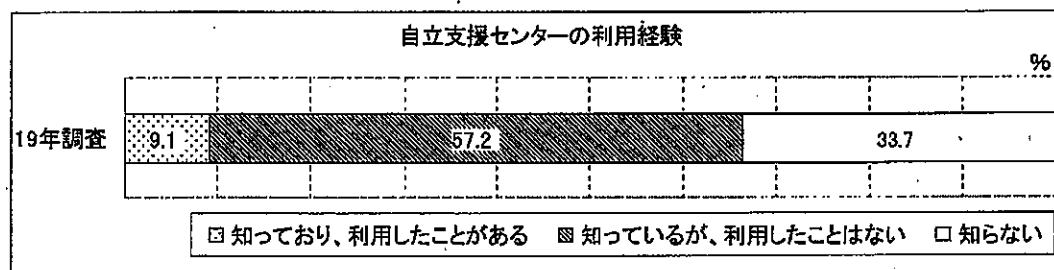


### 3 自立支援センターの利用

自立支援センターの利用状況については、「知っており、利用したことがある」が184人(9.1%)、「知っているが、利用したことはない」が1,160人(57.2%)、「知らない」が683人(33.7%)となっており、「センターを知っている」と回答した者は、1,344人(66.3%)と、全体の7割弱に達している。(表26)

表26 問26 一定期間入所して、食事、健康管理、生活相談や職業相談を受け、就労による自立をするための施設(自立支援センター)がありますが、この施設の内容を知っていますか。

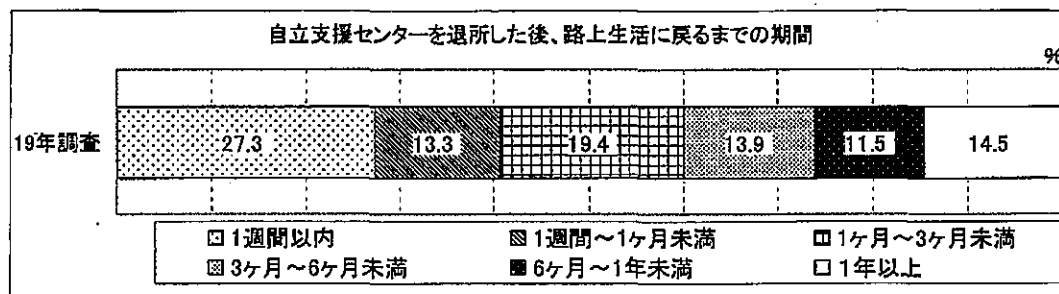
	人数	%	有効%
1. 知っており、利用したことがある	184	9.0	9.1
2. 知っているが、利用したことはない	1,160	56.6	57.2
3. 知らない	683	33.3	33.7
有効回答数	2,027	98.9	100.0
無回答	22	1.1	
合計	2,049	100.0	



問26で「知っており、利用したことがある」と回答した者が自立支援センターを退所してから路上生活に戻るまでの期間については、「1週間以内」が45人(27.3%)と最も多く、次いで「1ヶ月～3ヶ月未満」が32人(19.4%)となっている。(表26-1)

表26-1 問26-1 問26で「1.知っており、利用したことがある」と答えた方について、退所から路上生活に戻るまでの期間はどのくらいでしたか。

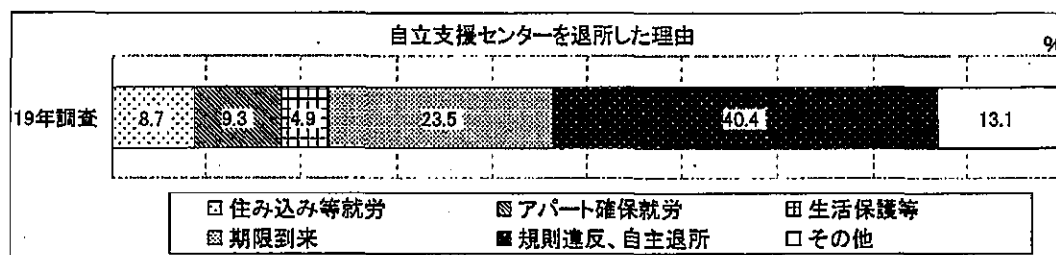
	人数	%	有効%
1週間以内	45	2.2	27.3
1週間～1ヶ月未満	22	1.1	13.3
1ヶ月～3ヶ月未満	32	1.6	19.4
3ヶ月～6ヶ月未満	23	1.1	13.9
6ヶ月～1年未満	19	0.9	11.5
1年以上	24	1.2	14.5
有効回答数	165	8.1	100.0
無回答	19	0.9	
非該当	1,865	91.0	
合計	2,049	100.0	



また、問26で「知っており、利用したことがある」と回答した者が自立支援センターを退所した理由は、「期限到来前に規則違反、自主退所、無断退所により退所」が74人(40.4%)と最も多く、次いで「期限到来により退所」が43人(23.5%)となっている。(表26-2)

表26-2 問26-2 問26で「1.知っており、利用したことがある」と答えた方について、退所理由は何ですか。

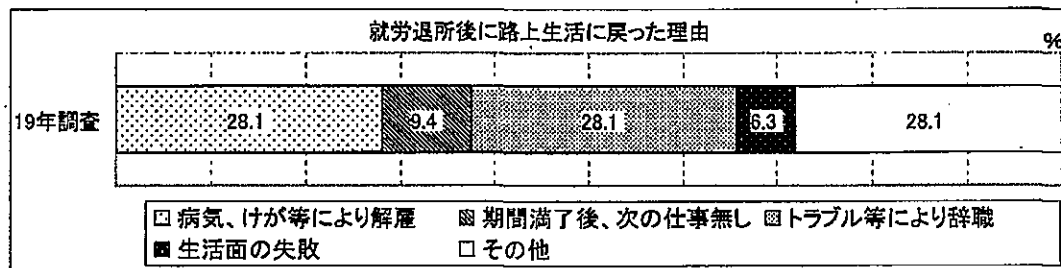
	人数	%	有効%
1. 会社の寮、住み込み等による就労退所	16	0.8	8.7
2. アパートを確保しての就労退所	17	0.8	9.3
3. 生活保護の適用による入院、施設入所及びアパート等居宅の確保により退所	9	0.4	4.9
4. 期限到来により退所	43	2.1	23.5
5. 期限到来前に規則違反、自主退所、無断退所により退所	74	3.6	40.4
6. その他	24	1.2	13.1
有効回答数	183	8.9	100.0
無回答	1	0.0	
非該当	1,865	91.0	
合計	2,049	100.0	



問26-2で就労により退所（「会社の寮、住み込み等による就労退所」または「アパートを確保しての就労退所」）した者が路上生活に戻った理由については、「病気、けが、高齢等の理由で仕事を解雇された」及び「周囲とのトラブルや仕事になじめない等により、仕事を辞めた」が9人（28.1%）と最も多くなっている。（表26-3）

表26-3 問26-3 問26-2で「1. 会社の寮、住み込み等による就労退所」または「2. アパートを確保しての就労退所」と答えた方について、路上生活に戻った主な理由は何ですか。

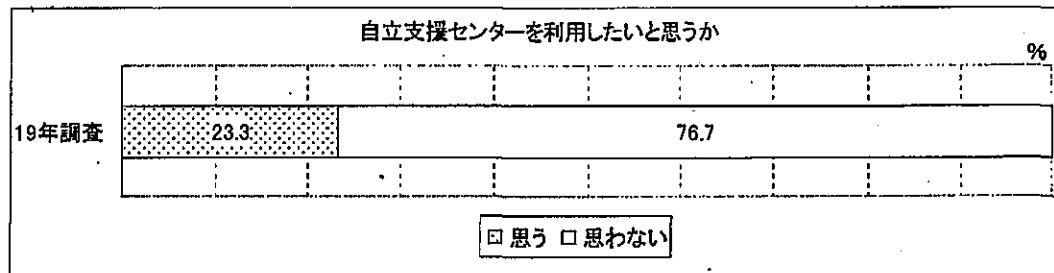
	人数	%	有効%
1. 病気、けが、高齢等の理由で仕事を解雇された	9	0.4	28.1
2. 仕事の契約期間が満了したが、次の仕事が見つからなかった	3	0.1	9.4
3. 仕事の内容が聞いていたもの（雇用契約）と違い、自ら仕事を辞めた	0	0.0	0.0
4. 周囲とのトラブルや仕事になじめない等により、仕事を辞めた	9	0.4	28.1
5. 生活の面で失敗があった	2	0.1	6.3
6. その他	9	0.4	28.1
有効回答数	32	1.6	100.0
無回答	1	0.0	
非該当	2,016	98.4	
合計	2,049	100.0	



問26で「知っているが、利用したことはない」と回答した者が今後自立支援センターを利用したいと思うかについては、「思う」が268人(23.3%)、「思わない」が880人(76.7%)となっている。(表26-4)

表26-4 問26-4 問26で「2.知っているが、利用したことはない」と答えた方について、今後自立支援センターを利用したいと思いますか。

	人数	%	有効%
1. 思う	268	13.1	23.3
2. 思わない	880	42.9	76.7
有効回答数	1,148	56.0	100.0
無回答	12	0.6	
非該当	889	43.4	
合計	2,049	100.0	

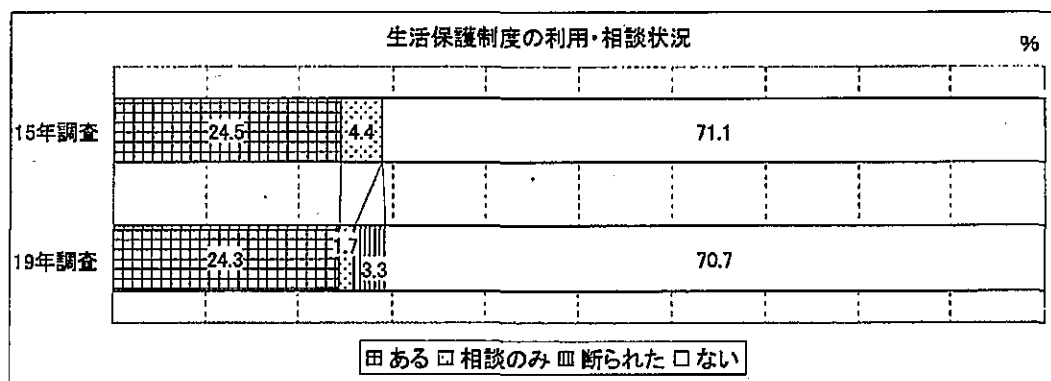


#### 4 生活保護の利用

生活保護の利用状況については、「ある」が493人(24.3%)、「相談に行ったが利用したことはない」が35人(1.7%)、「相談に行ったが断られた」が66人(3.3%)、「ない」が1,436人(70.7%)となっている。(表27)

表27 問27 これまで生活保護制度を利用したことがありますか。

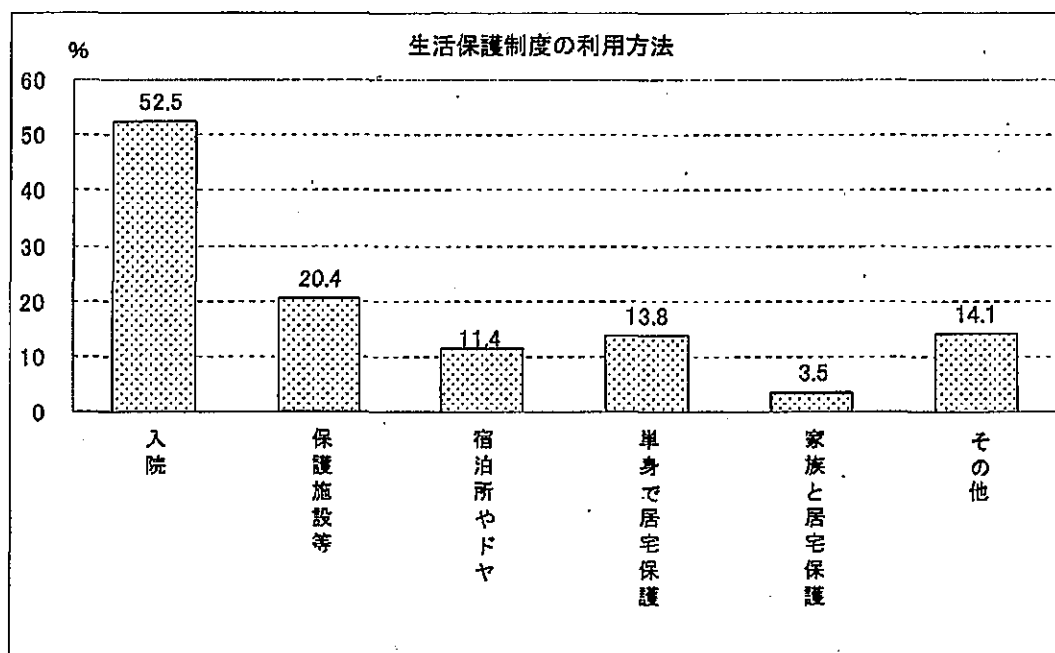
	人数	%	有効%
1. ある	493	24.1	24.3
2. 相談には行ったが利用したことはない	35	1.7	1.7
3. 相談には行ったが断られた	66	3.2	3.3
4. ない	1,436	70.1	70.7
有効回答数	2,030	99.1	100.0
無回答	19	0.9	
合計	2,049	100.0	



次に、問27で「ある」と回答した者の利用方法については、「病院に入院して生活保護を受けた」が258人(52.5%)と最も多く、次いで「保護施設等の福祉施設に入所して生活保護を受けた」が100人(20.4%)、「アパート等で単身で生活保護を受けた」が68人(13.8%)となっている。  
(表27-1)

表27-1 問27-1 問27で「1.ある」と答えた方の利用の方法は次のどれでしたか。

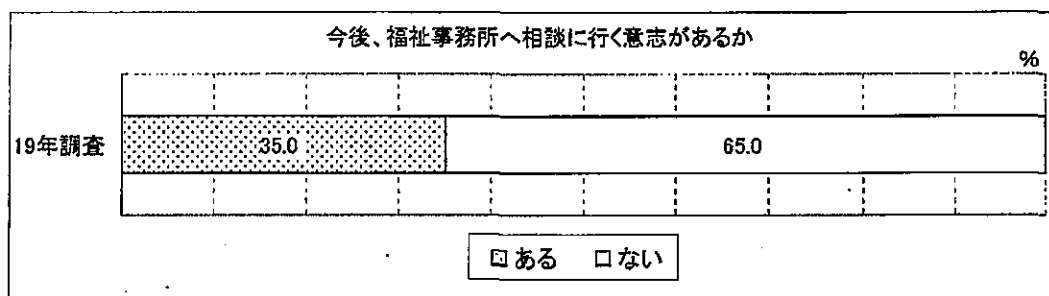
(複数回答)	人数	回答%	ケース%
1. 病院に入院して生活保護を受けた	258	45.4	52.5
2. 保護施設等の福祉施設に入所して生活保護を受けた	100	17.6	20.4
3. 宿泊所やドヤ等で生活保護を受けた	56	9.9	11.4
4. アパート等で単身で生活保護を受けた	68	12.0	13.8
5. アパート等で家族と一緒に生活保護を受けた	17	3.0	3.5
6. その他	69	12.1	14.1
有効回答数	568	100.0	115.7
有効回答者数	491	24.0	
無回答	2	0.1	
非該当	1,556	75.9	
合計	2,049	100.0	



また、生活保護を利用したことがない者が今後福祉事務所へ相談に行く意志があるかについては、「ある」が509人(35.0%)、「ない」が947人(65.0%)となっている。(表27-2)

表27-2 問27-2 問27で「2. 相談には行ったが利用したことはない」または「3. 相談には行ったが断られた」もしくは「4. ない」と答えた方について、今後相談に行く意志はありますか。

	人数	%	有効%
1. ある	509	24.8	35.0
2. ない	947	46.2	65.0
有効回答数	1,456	71.1	100.0
無回答	81	4.0	
非該当	512	25.0	
合計	2,049	100.0	

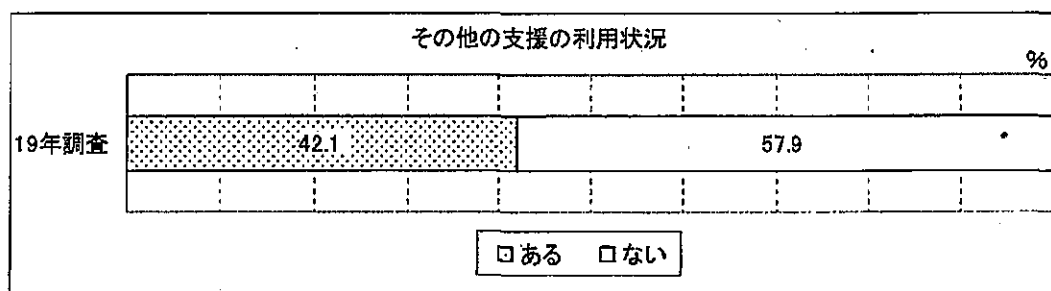


# 5 その他の支援の利用

その他のホームレスに対する支援（住宅の斡旋や宿泊事業、健康診断、食糧支給、衣類の支給等）の利用については、「ある」が851人（42.1%）、「ない」が1,172人（57.9%）となっている。（表28）

表28 問28 その他のホームレスに対する支援（住宅の斡旋や宿泊事業、健康診断、食糧支給、衣類の支給等）を利用したことがありますか。

	人数	%	有効%
1. ある	851	41.5	42.1
2. ない	1,172	57.2	57.9
有効回答数	2,023	98.7	100.0
無回答	26	1.3	
合計	2,049	100.0	



## 第6章 自立について

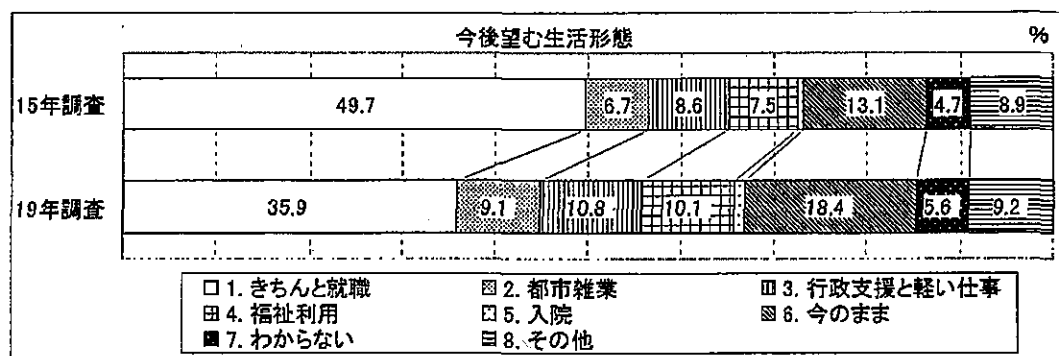
### 1 今後の希望

今後どのような生活を望んでいるかについては、「きちんと就職して働きたい」が729人(35.9%)で最も多く、次いで「今のままでいい(路上(野宿)生活)」が373人(18.4%)、以下「行政からの何らかの支援を受けながら、軽い仕事をしたい」219人(10.8%)、「就職することにはできないので何らかの福祉制度を利用して生活したい」205人(10.1%)、「アルミ缶回収等の都市雑業的な仕事で、生活できるくらいの収入を得たい」184人(9.1%)となっている。(表29)

15年調査と比べると、「きちんと就職して働きたい」と回答した者の割合が減少し、「今のままでいい(路上(野宿)生活)」と回答した者の割合が増加している。

表29 問29 今後、どのような生活を望んでいますか。1つ選んでください。

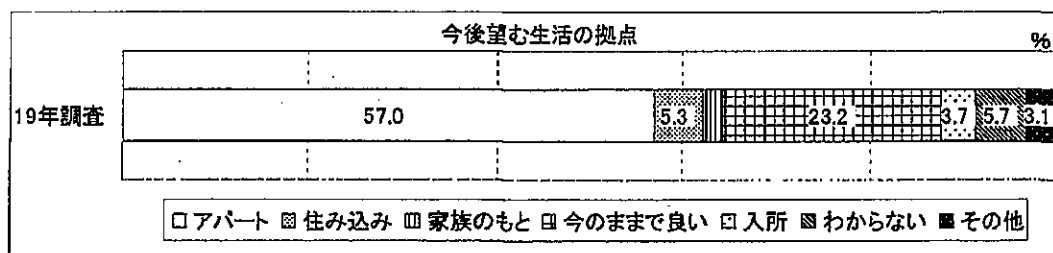
	人数	%	有効%
1. きちんと就職して働きたい	729	35.6	35.9
2. アルミ缶回収等の都市雑業的な仕事で、生活できるくらいの収入を得たい	184	9.0	9.1
3. 行政からの何らかの支援を受けながら、軽い仕事をしたい	219	10.7	10.8
4. 就職することにはできないので何らかの福祉制度を利用して生活したい	205	10.0	10.1
5. 入院したい	22	1.1	1.1
6.今のままでいい(路上(野宿)生活)	373	18.2	18.4
7. わからない	113	5.5	5.6
8. その他	187	9.1	9.2
有効回答数	2,032	99.2	100.0
無回答	17	0.8	
合計	2,049	100.0	



また、今後、生活の拠点をどこにおきたいかについては、「自らアパートを借りたい」が1,155人(57.0%)と最も多く、次いで「今のままでいい(路上(野宿)生活)」が470人(23.2%)となっている。(表30)

表30 問30 今後、生活の拠点をどこにおきたいと考えていますか。1つ選んでください。

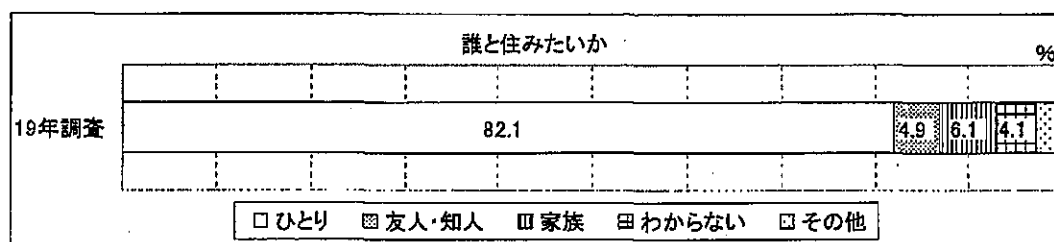
	人数	%	有効%
1. 自らアパートを借りたい	1,155	56.4	57.0
2. 住み込み、寮	108	5.3	5.3
3. 家族のもとに戻りたい	41	2.0	2.0
4. 今のままでいい(路上(野宿)生活)	470	22.9	23.2
5. 施設に入所したい	76	3.7	3.7
6. わからない	115	5.6	5.7
7. その他	63	3.1	3.1
有効回答数	2,028	99.0	100.0
無回答	21	1.0	
合計	2,049	100.0	



次に誰と住みたいかについては、「ひとり」が1,657人(82.1%)と最も多く、全体の8割以上を占めている。(表31)

表31 問31 誰と住みたいと思いますか。

	人数	%	有効%
1. ひとり	1,657	80.9	82.1
2. 友人・知人	98	4.8	4.9
3. 家族	124	6.1	6.1
4. わからない	82	4.0	4.1
5. その他	58	2.8	2.9
有効回答数	2,019	98.5	100.0
無回答	30	1.5	
合計	2,049	100.0	



## 2 求職活動

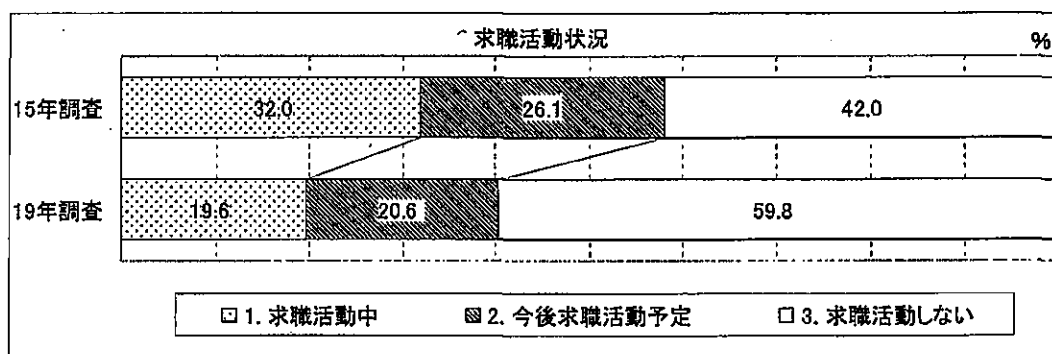
求職活動については、「求職活動をしている」が396人(19.6%)となっている。

一方「今も求職活動をしていないし、今後も求職活動をする予定はない」が1,207人(59.8%)となっている。また、「今は求職活動をしていないが、今後、求職活動をする予定である」が417人(20.6%)となっている。

15年調査と比べると、「求職活動をしている」と回答した者の割合が減少し、「今も求職活動をしていないし、今後も求職活動をする予定はない」と回答した者の割合が増加している。(表32)

表32 問32 現在、就職するための求職活動をしていますか。

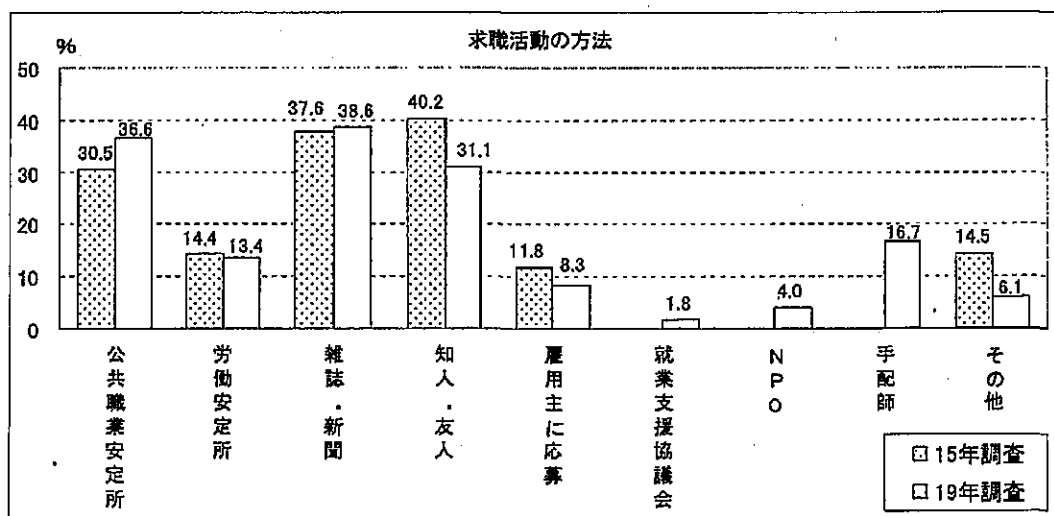
	人数	%	有効%
1. 求職活動をしている	396	19.3	19.6
2. 今は求職活動をしていないが、今後、求職活動をする予定である	417	20.4	20.6
3. 今も求職活動をしていないし、今後も求職活動をする予定はない	1,207	58.9	59.8
有効回答数	2,020	98.6	100.0
無回答	29	1.4	
合計	2,049	100.0	



次に問32で「求職活動をしている」と回答した者がどのように求職活動しているかについては、「求人雑誌・新聞」が153人(38.6%)と最も多く、次いで「一般の公共職業安定所」が145人(36.6%)となっている。  
(表32-1)

表32-1 問32-1 問32で「1.求職活動をしている」と答えた方について、どのように求職活動していますか。あてはまるものをすべて選んでください。

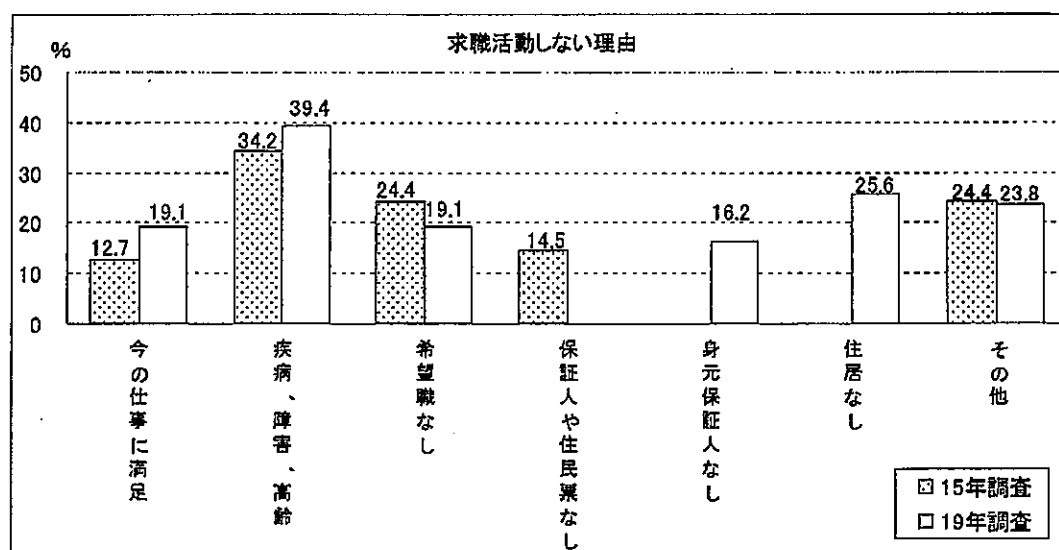
(複数回答)	件数	回答%	ケース%
1. 一般の公共職業安定所	145	23.4	36.6
2. 労働安定所(日雇労働者を主に取り扱う公共職業安定所)	53	8.5	13.4
3. 求人雑誌・新聞	153	24.7	38.6
4. 知人・友人などからの情報	123	19.8	31.1
5. 直接雇用主に応募	33	5.3	8.3
6. ホームレス就業支援事業推進協議会	7	1.1	1.8
7. NPO団体	16	2.6	4.0
8. 手配師	66	10.6	16.7
9. その他	24	3.9	6.1
有効回答数	620	100.0	156.6
有効回答者数	396	19.3	
無回答	0	0.0	
非該当	1,653	80.7	
合計	2,049	100.0	



また、問32で「今も求職活動をしていないし、今後も求職活動をする予定はない」、「今は求職活動をしていないが、今後、求職活動をする予定である」と回答した者の求職活動をしていない理由については、「疾病、障害、病弱、高齢で働けないから」が631人(39.4%)と最も多く、次いで「住居がないと採用されないと思うから」が409人(25.6%)となっている。(表32-2)

表32-2 問32-2 問32で「2.今は求職活動をしていないが、今後、求職活動をする予定である」または「3.今も求職活動をしてないし、今後も求職活動をする予定はない」と答えた方について、なぜ求職活動をしていないのですか。あてはまるものをすべて選んでください。

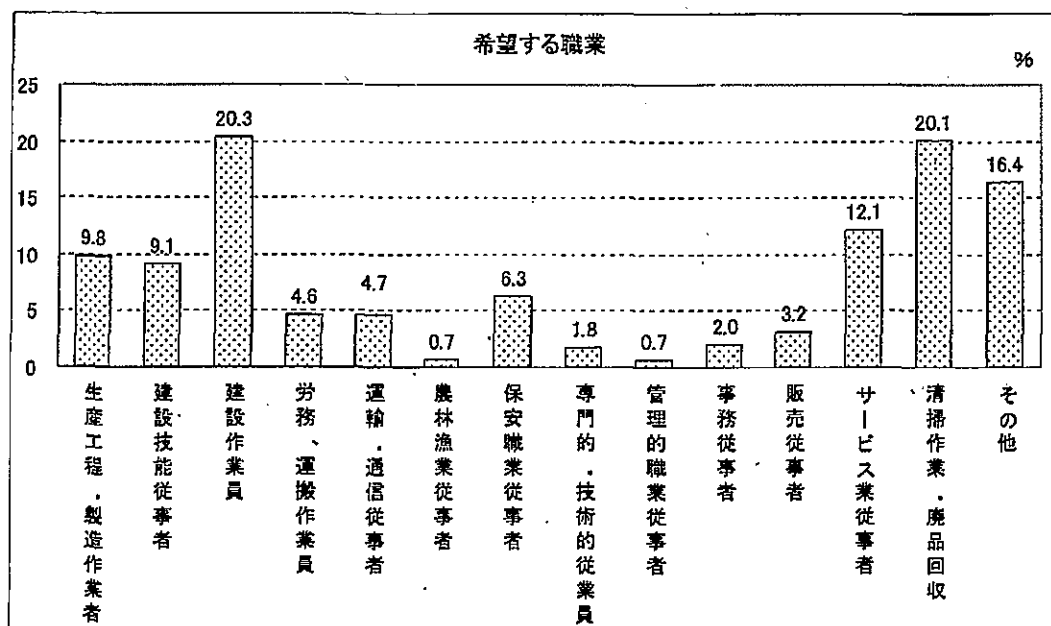
(複数回答)	件数	回答%	ケース%
1. 今の仕事で満足しているから	306	13.4	19.1
2. 疾病、障害、病弱、高齢で働けないから	631	27.5	39.4
3. 自分の希望する職業を探してもないと思うから	306	13.4	19.1
4. 就職の際の身元保証人がいないと難しいと思うから	259	11.3	16.2
5. 住居がないと採用されないと思うから	409	17.9	25.6
6. その他	380	16.6	23.8
有効回答数	2,291	100.0	143.2
有効回答者数	1,600	78.1	
無回答	24	1.2	
非該当	425	20.7	
合計	2,049	100.0	



問32で「求職活動をしている」、「今は求職活動をしていないが、今後、求職活動をする予定である」と回答した者が希望する職業については、「建設作業員（土木工、現場片付けなど）」が154人（20.3%）と最も多く、次いで「清掃作業・廃品回収（ビル清掃、廃品回収など）」が152人（20.1%）、「サービス業従事者（調理員など）」が92人（12.1%）となっている。（表32-3）

表32-3 問32-3 問32で「1.求職活動をしている」または「2.今は求職活動をしていないが、今後、求職活動をする予定である」と答えた方について、どのような職業を希望していますか。

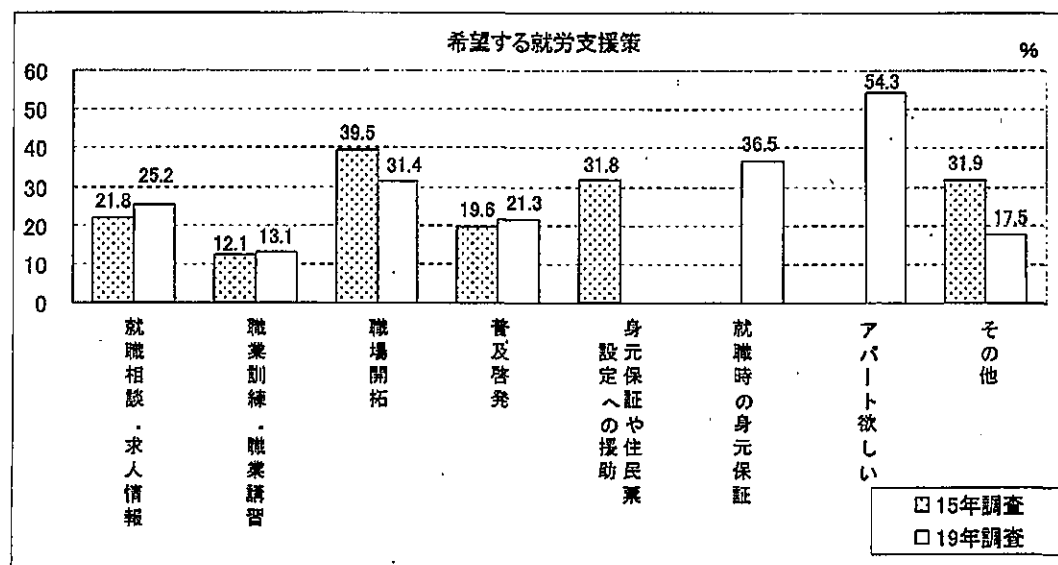
(複数回答)	人数	回答%	ケース%
01. 生産工程・製造作業員(プレス工・機械組立工など)	74	8.7	9.8
02. 建設技能従事者(大工、とび、左官など)	69	8.1	9.1
03. 建設作業員(土木工、現場片付けなど)	154	18.2	20.3
04. 労務、運搬作業員(倉庫作業、荷役作業など)	35	4.1	4.6
05. 運輸・通信従事者(運転手など)	36	4.3	4.7
06. 農林漁業従事者	5	0.6	0.7
07. 保安職業従事者(警備員など)	48	5.7	6.3
08. 専門的・技術的従業者	14	1.7	1.8
09. 管理的職業従事者	5	0.6	0.7
10. 事務従事者	15	1.8	2.0
11. 販売従事者(店員、営業職など)	24	2.8	3.2
12. サービス業従事者(調理員など)	92	10.9	12.1
13. 清掃作業・廃品回収(ビル清掃、廃品回収など)	152	17.9	20.1
14. その他	124	14.6	16.4
有効回答数	847	100.0	111.7
有効回答者数	758	37.0	
無回答	55	2.7	
非該当	1,236	60.3	
合計	2,049	100.0	



また、就職するために望む支援については、「住所を設定する必要があるのでアパートがほしい」が420人(54.3%)と最も多く、次いで「就職の際の身元保証の援助をしてほしい」が282人(36.5%)、「自分たちにあった仕事先を開拓してほしい」が243人(31.4%)となっている。(表32-4)

表32-4 問32-4 就職するためにあなたが望む支援は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)	人数	回答%	ケース%
1. もっと身近に就職の相談や求人情報をみられるようにしてほしい	195	12.7	25.2
2. 職業訓練、職業講習を受けられるようにしてほしい	101	6.6	13.1
3. 自分たちにあった仕事先を開拓してほしい	243	15.8	31.4
4. 事業主のホームレスに対する理解を進めてほしい	165	10.7	21.3
5. 就職の際の身元保証の援助をしてほしい	282	18.3	36.5
6. 住所を設定する必要があるのでアパートがほしい	420	27.3	54.3
7. その他	135	8.8	17.5
有効回答数	1,541	100.0	199.4
有効回答者数	773	37.7	
無回答	69	3.4	
非該当	1,207	58.9	
合計	2,049	100.0	

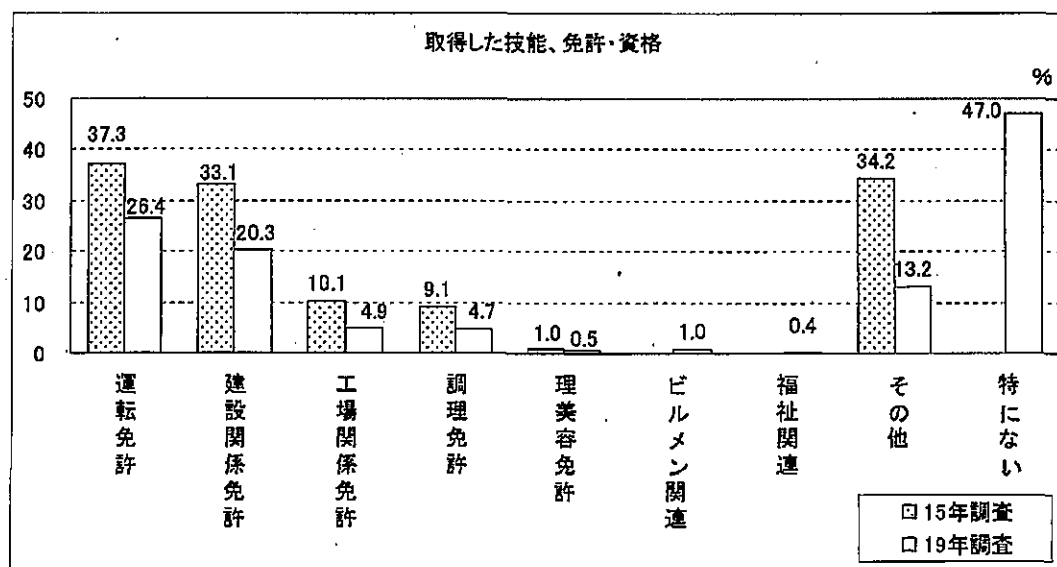


### 3 技能、免許・資格

取得した技能、免許・資格については、「特にない」が724人(47.0%)が最も多く、次いで「自動車運転免許(1種、2種、大型)」が406人(26.4%)、「建設関係免許」が312人(20.3%)となっている。(表33)

表33 問33 今までにどのような技能、免許・資格を取得しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

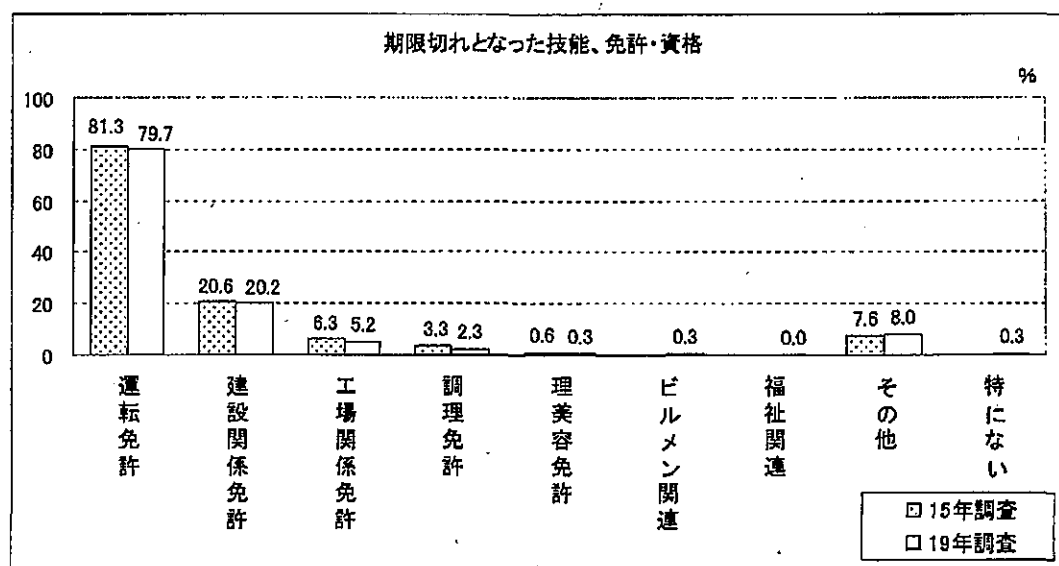
(複数回答)	人数	回答%	ケース%
1. 自動車運転免許(1種、2種、大型)	406	22.3	26.4
2. 建設関係免許	312	17.1	20.3
3. 工場関係免許	75	4.1	4.9
4. 調理免許	73	4.0	4.7
5. 理美容免許	8	0.4	0.5
6. ビルメンテナンス関連資格	15	0.8	1.0
7. 福祉関連資格(ホームヘルパー等)	6	0.3	0.4
8. その他	204	11.2	13.2
9. 特にない	724	39.7	47.0
有効回答数	1,823	100.0	118.4
有効回答者数	1,540	75.2	
無回答	509	24.8	
合計	2,049	100.0	



一方、取得したものの期限切れとなっているものについては、「自動車運転免許（1種、2種、大型）」が521人（79.7%）と最も多く、次いで「建設関係免許」が132人（20.2%）となっている。（表33-1）

表33-1 また、過去持っていたが、期限が切れてしまっているものには◎をつけてください。

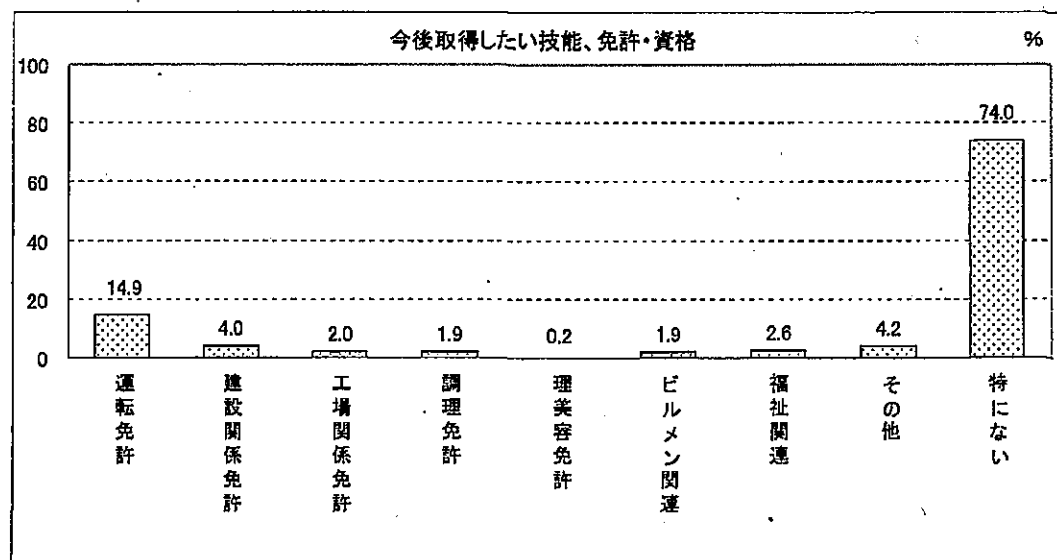
(複数回答)	人数	回答%	ケース%
1. 自動車運転免許(1種、2種、大型)	521	68.6	79.7
2. 建設関係免許	132	17.4	20.2
3. 工場関係免許	34	4.5	5.2
4. 調理免許	15	2.0	2.3
5. 理美容免許	2	0.3	0.3
6. ビルメンテナンス関連資格	2	0.3	0.3
7. 福祉関連資格(ホームヘルパー等)	0	0.0	0.0
8. その他	52	6.8	8.0
9. 特にない	2	0.3	0.3
有効回答数	760	100.0	116.2
有効回答者数	654	31.9	
無回答	1,395	68.1	
合計	2,049	100.0	



また、今後取得したいものについては、「特にない」が1,491人(74.0%)と最も多く、次いで「自動車運転免許(1種、2種、大型)」が300人(14.9%)となっている。(表34)

表34 問34 今後、取得したい免許・資格等がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)	人数	回答%	ケース%
1. 自動車運転免許(1種、2種、大型)	300	14.1	14.9
2. 建設関係免許	80	3.8	4.0
3. 工場関係免許	41	1.9	2.0
4. 調理免許	39	1.8	1.9
5. 理美容免許	4	0.2	0.2
6. ビルメンテナンス関連資格	39	1.8	1.9
7. 福祉関連資格(ホームヘルパー等)	52	2.4	2.6
8. その他	85	4.0	4.2
9. 特にない	1,491	70.0	74.0
有効回答数	2,131	100.0	105.7
有効回答者数	2,016	98.4	
無回答	33	1.6	
合計	2,049	100.0	

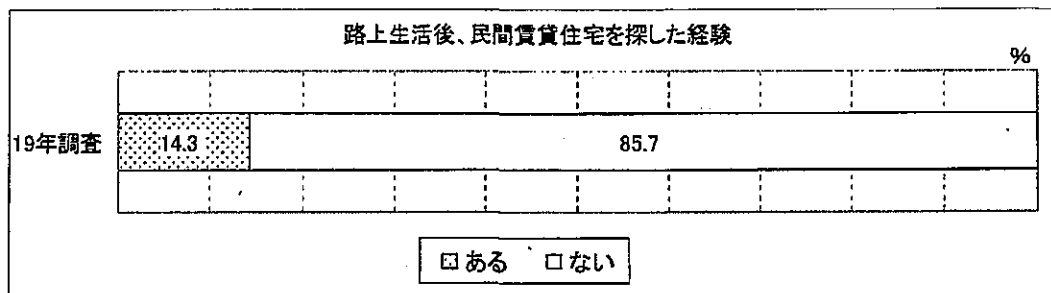


#### 4 民間賃貸住宅等に関する情報提供の状況

路上生活を始めてから民間賃貸住宅を探した経験の有無については、「ある」が289人(14.3%)、「ない」が1,735人(85.7%)となっている。  
(表35)

表35 問35 路上生活を始めてから、民間賃貸住宅を探した経験はありますか。

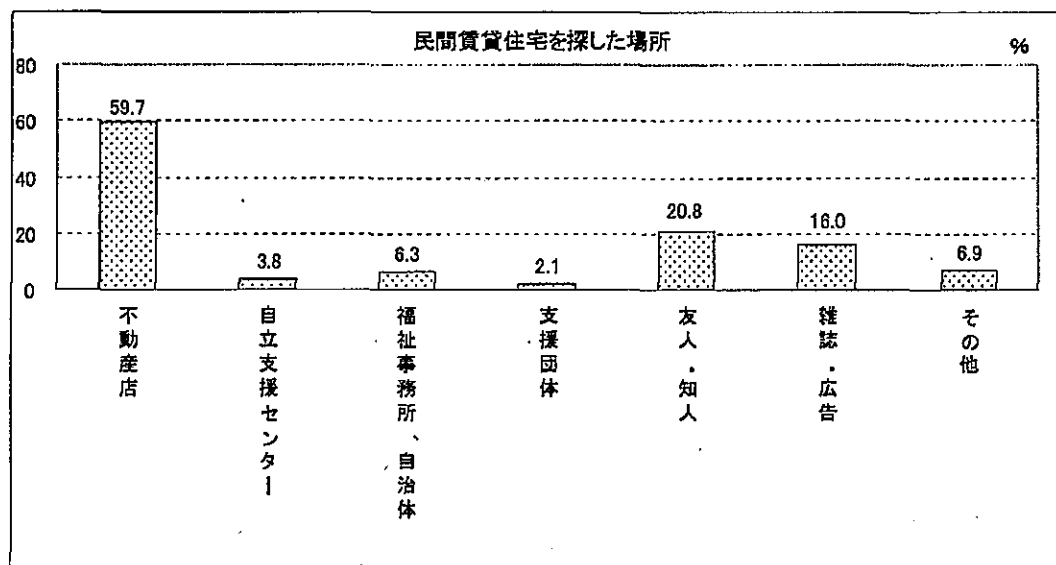
	人数	%	有効%
1. ある	289	14.1	14.3
2. ない	1,735	84.7	85.7
有効回答数	2,024	98.8	100.0
無回答	25	1.2	
合計	2,049	100.0	



問35で「ある」と回答した者が具体的にどこで民間賃貸住宅を探したかについては、「不動産店」が172人(59.7%)と約6割を占めている。(表35-1)

表35-1 問35-1 問35で「1.ある」と答えた方について、具体的にどこで探しましたか。  
あてはまるものをすべて選んでください。

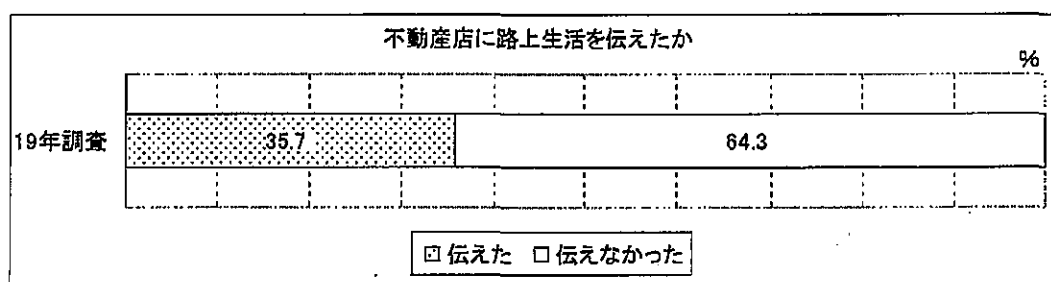
(複数回答)	人数	回答%	ケース%
1. 不動産店	172	51.7	59.7
2. 自立支援センター	11	3.3	3.8
3. 福祉事務所や地方公共団体	18	5.4	6.3
4. 支援団体	6	1.8	2.1
5. 友人・知人	60	18.0	20.8
6. 雑誌・広告	46	13.8	16.0
7. その他	20	6.0	6.9
有効回答数	333	100.0	115.6
有効回答者数	288	14.1	
無回答	1	0.0	
非該当	1,760	85.9	
合計	2,049	100.0	



問35-1で「不動産店」と回答した者が路上生活をしていたことを不動産店に伝えたかについては、「伝えた」が61人(35.7%)、「伝えなかった」が110人(64.3%)となっている。(表35-2)

表35-2 問35-2 問35-1で「1.不動産店」と答えた方について、路上生活をしていたことについて不動産店に伝えましたか。

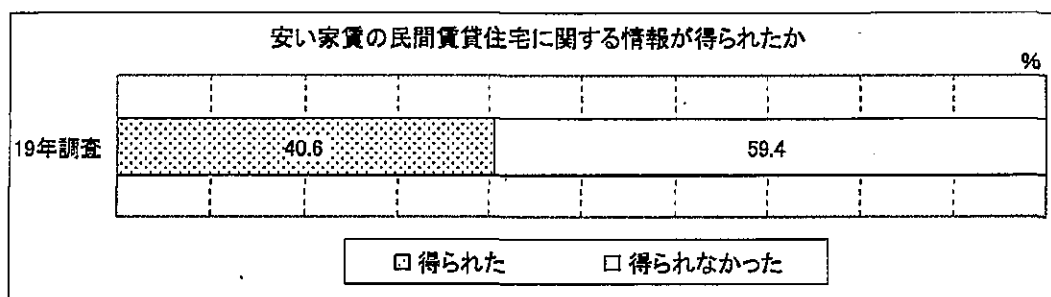
	人数	%	有効%
1. 伝えた	61	3.0	35.7
2. 伝えなかった	110	5.4	64.3
有効回答数	171	8.3	100.0
無回答	1	0.0	
非該当	1,877	91.6	
合計	2,049	100.0	



また、問35-1で「不動産店」、「自立支援センター」、「福祉事務所や地方公共団体」と回答した者が安い家賃の民間賃貸住宅に関する情報が得られたかについては、「得られた」が76人(40.6%)、「得られなかった」が111人(59.4%)となっている。(表35-3)

表35-3 問35-3 問35-1で「1.不動産店」または「2.自立支援センター」もしくは「3.福祉事務所や地方公共団体」と答えた方について、安い家賃の民間賃貸住宅に関する情報が得られましたか。

	人数	%	有効%
1. 得られた	76	3.7	40.6
2. 得られなかった	111	5.4	59.4
有効回答数	187	9.1	100.0
無回答	4	0.2	
非該当	1,858	90.7	
合計	2,049	100.0	

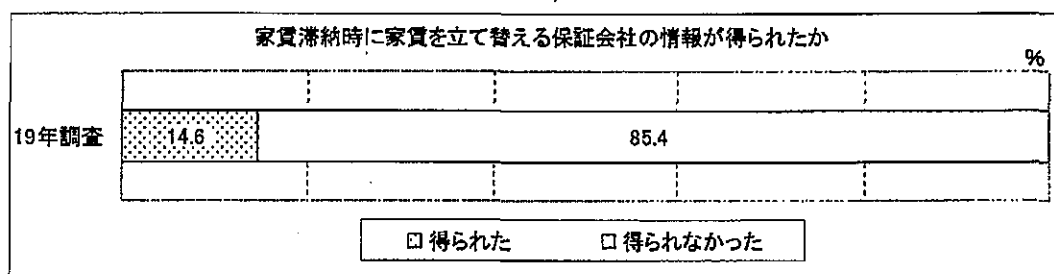


また、問35-1で「不動産店」、「自立支援センター」、「福祉事務所や地方公共団体」と回答した者が家賃を滞納した場合に家主に立替え払いをする民間の保証会社に関する情報が得られたかについては、「得られた」が27人(14.6%)、「得られなかった」が158人(85.4%)となっている。

(表35-4)

表35-4 問35-4 問35-1で「1.不動産店」または「2.自立支援センター」もしくは「3.福祉事務所や地方公共団体」と答えた方について、家賃を滞納した場合に家主に立替え払いをする民間の保証会社に関する情報が得られましたか。

	人数	%	有効%
1. 得られた	27	1.3	14.6
2. 得られなかった	158	7.7	85.4
有効回答数	185	9.0	100.0
無回答	6	0.3	
非該当	1,858	90.7	
合計	2,049	100.0	



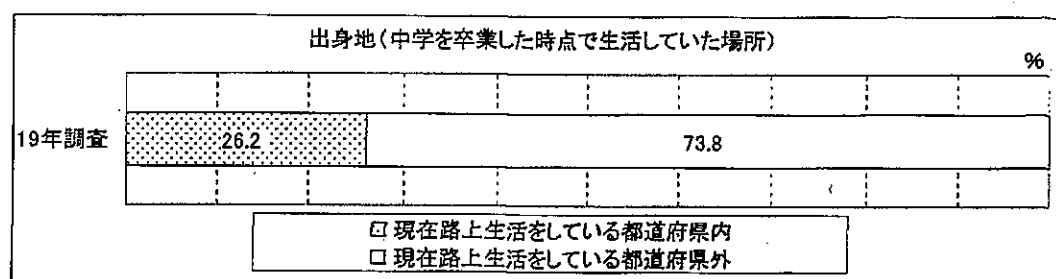
## 第7章 生活歴

### 1 出身地

出身地については、「現在路上（野宿）生活をしている都道府県内」と回答した者が526人（26.2%）、「路上（野宿）生活をしている都道府県外」と回答した者が1,485人（73.8%）となっている。（表36）

表36 問36 出身地（中学を卒業した時点で生活していた場所をいう。）はどこですか。

	人数	%	有効%
1. 現在路上（野宿）生活をしている都道府県内	526	25.7	26.2
2. 路上（野宿）生活をしている都道府県外	1,485	72.5	73.8
有効回答数	2,011	98.1	100.0
無回答	38	1.9	
合計	2,049	100.0	



また、調査地別に具体的な出身地を上位3都道府県まで示したものが（表36-1）である。

表36-1 調査地別出身地上位3都道府県

調査地	有効回答数	出身地	人数
札幌市	18	北海道	15
		宮城県	1
		群馬県	1
仙台市	30	宮城県	16
		福島県	2
		秋田県	2
さいたま市	30	埼玉県	8
		福島県	4
		青森県	3

千葉市	20	千葉県	4
		北海道	2
		茨城県	2
市川市	20	千葉県	4
		東京都	4
		青森県	3
東京都23区	493	東京都	95
		北海道	41
		千葉県	31
府中市	20	東京都	8
		茨城県	2
		沖縄県	2
横浜市	40	神奈川県	17
		北海道	3
		鹿児島県	2
川崎市	109	東京都	13
		神奈川県	12
		北海道	11
平塚市	21	神奈川県	12
		群馬県	2
		山口県	1
厚木市	23	神奈川県	6
		福島県	3
		東京都	3
静岡市	23	静岡県	13
		北海道	2
		福島県	1
浜松市	20	静岡県	11
		福岡県	2
		北海道	2
名古屋市	204	愛知県	51
		岐阜県	20
		三重県	12
京都市	80	京都府	22
		大阪府	6
		東京都	4
大阪市	492	大阪府	113
		福岡県	34
		鹿児島県	32

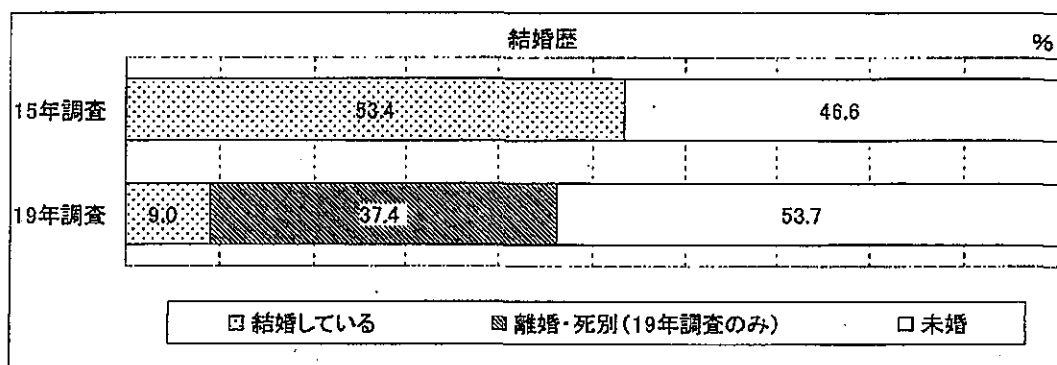
堺市	58	大阪府	17
		兵庫県	5
		高知県	4
守口市	30	鹿児島県	9
		大阪府	7
		愛媛県	3
八尾市	23	大阪府	6
		長崎県	4
		鹿児島県	2
神戸市	30	兵庫県	11
		大阪府	3
		広島県	2
尼崎市	30	兵庫県	10
		高知県	2
		熊本県	2
西宮市	20	兵庫県	8
		奈良県	2
		山口県	2
広島市	20	広島県	9
		山口県	3
		岡山県	2
北九州市	46	福岡県	29
		山口県	5
		大分県	3
福岡市	88	福岡県	35
		長崎県	13
		佐賀県	9
熊本市	23	熊本県	14
		福岡県	3
		大阪府	3
有効回答数	2,011		
無回答	38		
合計	2,049		

## 2 家族の状況

結婚歴については、「結婚している」が180人(9.0%)、「離婚・死別」が750人(37.4%)、「未婚」が1,077人(53.7%)となっている。(表37)

表37 問37 結婚(内縁を含む)はしましたか。

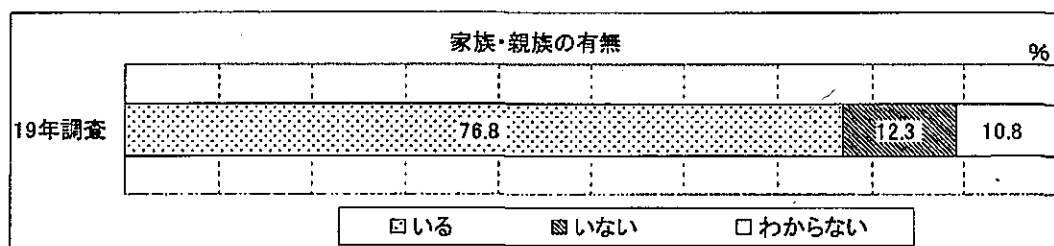
	人数	%	有効%
1. 結婚している	180	8.8	9.0
2. 離婚・死別	750	36.6	37.4
3. 未婚	1,077	52.6	53.7
有効回答数	2,007	98.0	100.0
無回答	42	2.0	
合計	2,049	100.0	



また、家族・親族の有無については、「いる」が1,544人(76.8%)、「いない」が248人(12.3%)、「わからない」が218人(10.8%)となっている。  
(表38)

表38 問38 親や兄弟などの家族・親族はいますか。

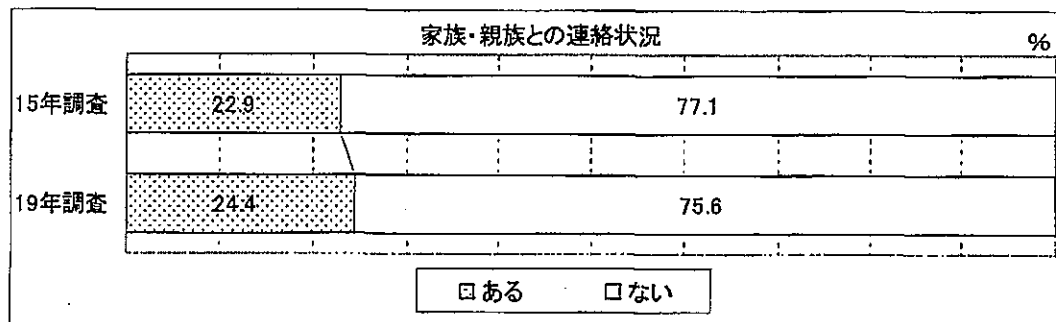
	人数	%	有効%
1. いる	1,544	75.4	76.8
2. いない	248	12.1	12.3
3. わからない	218	10.6	10.8
有効回答数	2,010	98.1	100.0
無回答	39	1.9	
合計	2,049	100.0	



問38で「いる」と回答した者のこの一年間での家族・親族との連絡状況については、「ある」が377人(24.4%)、「ない」が1,165人(75.6%)となっている。(表38-1)

表38-1 問38-1 問38で「1.いる」と答えた方について、この一年間で家族・親族と連絡がありますか。

	人数	%	有効%
1. ある	377	18.4	24.4
2. ない	1,165	56.9	75.6
有効回答数	1,542	75.3	100.0
無回答	2	0.1	
非該当	505	24.6	
合計	2,049	100.0	

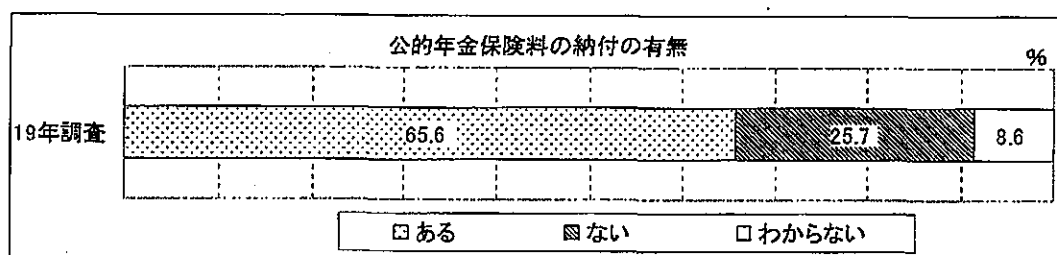


### 3 年金、借金の状況

公的年金保険料の納付の有無については、「ある」が1,313人(65.6%)、「ない」が515人(25.7%)となっている。(表39)

表39 問39 公的年金の保険料を納付していたことがありますか。

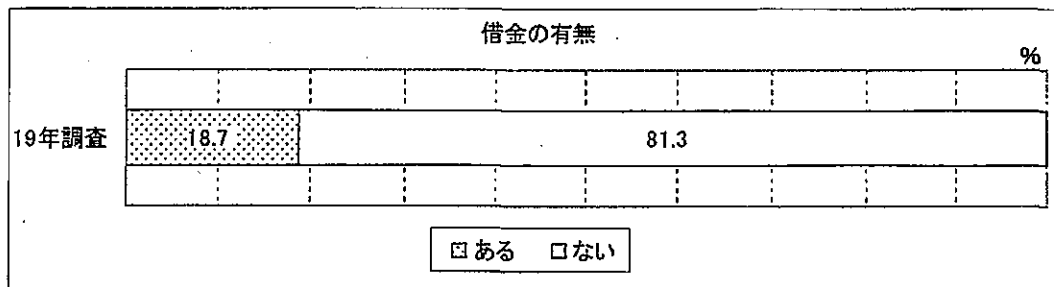
	人数	%	有効%
1. ある	1,313	64.1	65.6
2. ない	515	25.1	25.7
3. わからない	173	8.4	8.6
有効回答数	2,001	97.7	100.0
無回答	48	2.3	
合計	2,049	100.0	



金融機関や消費者金融などへの借金の有無については、「ある」が376人(18.7%)、「ない」が1,639人(81.3%)となっている。(表40)

表40 問40 金融機関や消費者金融などに借金はありますか。

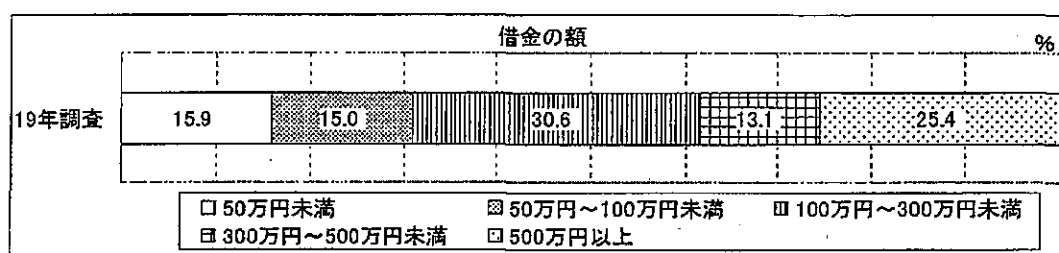
	人数	%	有効%
1. ある	376	18.4	18.7
2. ない	1,639	80.0	81.3
有効回答数	2,015	98.3	100.0
無回答	34	1.7	
合計	2,049	100.0	



また、「ある」と回答した者の額については、「100万円～300万円未満」が100人(30.6%)と最も多く、次いで「500万円以上」が83人(25.4%)となっている。(表40-1)

表40-1 問40-1 問40で「1.ある」と答えた方について、それはいくぐらいですか。

	人数	%	有効%
50万円未満	52	2.5	15.9
50万円～100万円未満	49	2.4	15.0
100万円～300万円未満	100	4.9	30.6
300万円～500万円未満	43	2.1	13.1
500万円以上	83	4.1	25.4
有効回答数	327	16.0	100.0
無回答	49	2.4	
非該当	1,673	81.6	
合計	2,049	100.0	

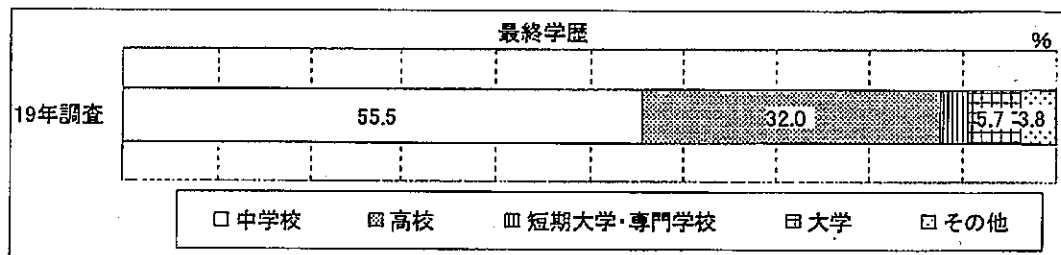


#### 4 学歴

最後に出た学校については「中学校」が1,118人(55.5%)と最も多く、次いで「高校」が645人(32.0%)となっている。(表41)

表41 問41 最後に出た学校は次のどれですか。

	人数	%	有効%
1. 中学校	1,118	54.6	55.5
2. 高校	645	31.5	32.0
3. 短期大学・専門学校	60	2.9	3.0
4. 大学	115	5.6	5.7
5. その他	76	3.7	3.8
有効回答数	2,014	98.3	100.0
無回答	35	1.7	
合計	2,049	100.0	



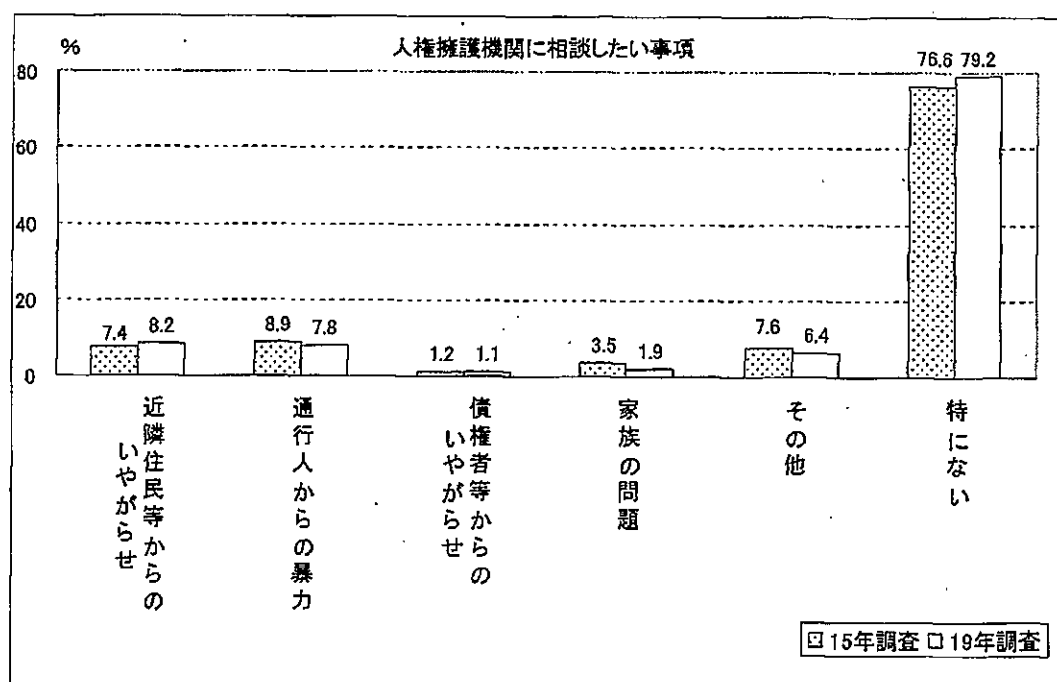
## 第8章 相談・要望

### 1 法務省の人権擁護機関に対して相談したい事項

法務省の人権擁護機関に対し、人権問題について相談したい事項については、全体の約2割に当たる人から、「近隣住民等からのいやがらせ」(163件)、「通行人からの暴力」(154件)等の人権問題について相談したいとの回答があった。(表42)

表42 問42 法務省の人権擁護機関(法務局・人権擁護委員)においては、人権問題についての相談に応じていますが、どのような事項について相談したいですか。あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)	件数	回答%	ケース%
1. 近隣住民等からのいやがらせ	163	7.9	8.2
2. 通行人からの暴力	154	7.4	7.8
3. 債権者等からのいやがらせ	21	1.0	1.1
4. 家族の問題	38	1.8	1.9
5. その他	126	6.1	6.4
6. 特にない	1,568	75.7	79.2
有効回答数	2,070	100.0	104.5
有効回答者数	1,981	96.7	
無回答	68	3.3	
合計	2,049	100.0	

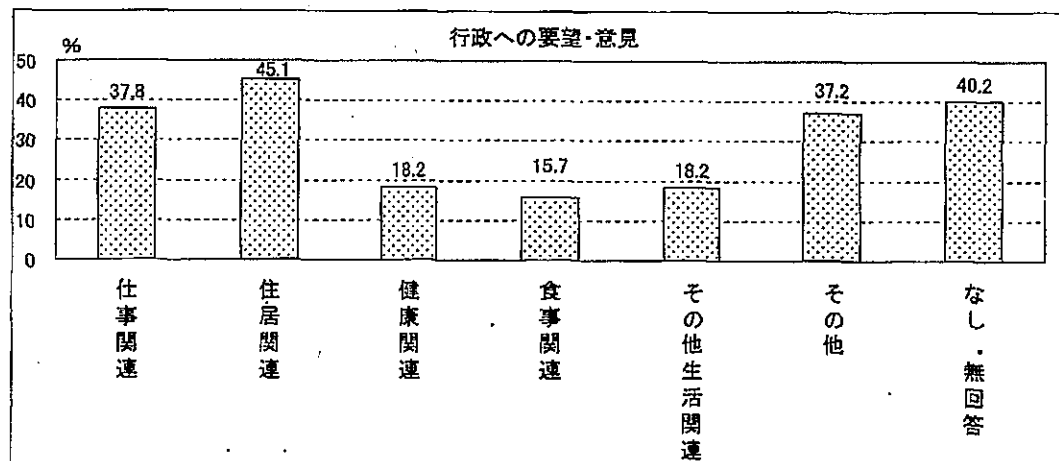


## 2 行政への要望・意見

行政への要望・意見については、「住居関連」が552件(45.1%)と最も多く、次いで「仕事関連」が463件(37.8%)になっている。(表43)

表43 問43 行政へ何か要望・意見はありますか。

(複数回答)	件数	回答%	ケース%
1. 仕事関連	463	22.0	37.8
2. 住居関連	552	26.2	45.1
3. 健康関連	223	10.6	18.2
4. 食事関連	192	9.1	15.7
5. その他の生活関連	223	10.6	18.2
6. その他	456	21.6	37.2
有効回答数	2,109	100.0	172.2
有効回答者数	1,225	59.8	
なし・無回答	824	40.2	
合計	2,049	100.0	



## 参 考 资 料



# ホームレスの実態に関する全国調査票（概数調査票）（市区町村→都道府県）

市区町村名 \_\_\_\_\_

（単位：人）

	都 市 公 園	河 川	道 路	駅 舎	その他施設	合 計
男						
女						
不 明						
合 計						

※特別区は、各区毎に記入すること。

# ホームレスの実態に関する全国調査票（概数調査票）（都道府県→国）

都道府県名

調査市区町村数

区

市

町

村

（単位：人）

	都市公園	河川	道路	駅舎	その他施設	合計
男						
女						
不明						
合計						

調査コード

調査員氏名

## ホームレスの実態に関する全国調査票（生活実態調査票）

性別	年齢	生まれた年	調 査 場 所
男・女	歳	M・T・S・H 年	

### I 路上での生活について

路上での生活についてお聞きします。

問1 現在の寝（野宿）場所はどこですか。

- |                 |           |
|-----------------|-----------|
| 1. 一定の場所で決まっている | → (問1-1へ) |
| 2. 決まっていない      | → (問2へ)   |

問1-1 問1で「1. 一定の場所で決まっている」と答えた方について、具体的にはどこですか。

- (具体的に： )

  1. 公園
  2. 道路
  3. 河川敷
  4. 駅舎
  5. その他 [ ]

問2 どのようにして寝（野宿）場所をつくっていますか。

1. 廃材やダンボール、ブルーシートによるテント又は小屋を常設
  2. ダンボール等を利用して寝場所をつくっている
  3. 簡単に敷物（寝袋・毛布等）を敷いて寝ている
  4. 寝場所は特につくらない
  5. その他 [ ]

問3 初めて路上（野宿）生活をしたのは、どのくらい前ですか。

1ヶ月未満ならば	_____日
1ヶ月以上1年未満ならば	_____月
1年以上ならば	_____年

問4 今回の路上（野宿）生活をするようになって、どのくらいたちますか。（昔のことは除く）

1ヶ月未満ならば	_____日
1ヶ月以上1年未満ならば	_____月
1年以上ならば	_____年

問5 今回の路上（野宿）生活の間、ずっと継続して路上（野宿）生活が続いていますか。または、どこかに行き来していましたか。1つ選んでください。

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1. ずっと路上（野宿）生活をしていた               |
| 2. 時々、ドヤ、飯場、ホテル等にも泊まっていた          |
| 3. 病院に一時的に入っていたことがある              |
| 4. 施設に一時的に入っていたことがある              |
| 5. 自立支援センターに一時的に入っていたことがある        |
| 6. 緊急一時宿泊施設（シェルター）に一時的に入っていたことがある |
| 7. その他 [ _____ ]                  |

問6 現在収入のある仕事をしていますか。

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. している  | → (問6-1へ) |
| 2. していない | → (問7へ)   |

問6-1 問6で「1. している」と答えた方について、具体的には、どのような仕事をしていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- |                                |             |
|--------------------------------|-------------|
| 1. 建設日雇                        | } → (問6-2へ) |
| 2. 廃品回収（アルミ缶・ダンボール・粗大ゴミ・本集め）   |             |
| 3. 運輸日雇（運搬作業、引越し等）             |             |
| 4. その他雑業（看板持ち・チケットならび・雑誌の販売など） |             |
| 5. その他 [ _____ ]               |             |

問6-2 問6で「1. している」と答えた方について、仕事による収入は月額どれくらいありますか。（ここ3ヶ月くらいの平均）

_____円
--------

問7 ここ3ヶ月間で、仕事以外の収入がありますか。

- |       |   |         |
|-------|---|---------|
| 1. ある | → | (問7-1へ) |
| 2. ない | → | (問8へ)   |

問7-1 問7で「1. ある」と答えた方について、具体的には、どのような収入ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

- |               |   |           |
|---------------|---|-----------|
| 1. 年金         | } | → (問7-2へ) |
| 2. 家族からの仕送り   |   |           |
| 3. 友人・知人からの支援 |   |           |
| 4. その他 [ ]    |   |           |

問7-2 問7で「1. ある」と答えた方について、仕事以外の収入はここ3ヶ月平均してひと月いくらぐらいになりますか。

(月・週・日	円)	→	(1ヶ月およそ	円)
--------	----	---	---------	----

問8 路上(野宿)生活で、困っていることはどのような事ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

また、特に困っていることについては、◎をつけてください。

- |                                |
|--------------------------------|
| 1. 食べ物が十分ないので辛い                |
| 2. 寝る場所を探すのにとても苦勞している          |
| 3. 雨や寒さをしのげず辛い                 |
| 4. 入浴、洗濯などができなくて、清潔に保つことができず困る |
| 5. ホームレス同士のいざこざで困っている          |
| 6. 孤独で不安である                    |
| 7. その他 [ ]                     |

## Ⅱ 路上（野宿）生活までのいきさつ

路上（野宿）生活をするようになったいきさつについて、お聞きします。

問9 路上（野宿）生活をするすぐ前にやっていた仕事は何ですか。

(具体的に： )	
01. 専門的・技術的職業従事者（建築士、測量士、教師、公認会計士、プログラマーなど）	（問 9-1 へ ）
02. 管理的職業従事者（会社・団体役員、工場長、支店長、管理職など）	
03. 事務従事者（一般事務、経理事務など）	
04. 販売従事者（小売、卸売店主、店員、勧誘員、外交員、営業など）	
05. サービス従事者（理美容師、調理人、クリーニング工、ホテル従業員、バーテンダー、アパート管理人など）	
06. 保安職業従事者（警察、自衛官、看守、消防員、警備員など）	
07. 農林漁業作業者（農業、漁業など）	
08. 運輸、通信従事者（運転手、機関士、郵便配達員、電話交換手など）	
09. 採掘作業（炭鉱夫など）	
10. 生産工程・製造作業（プレス工、機械組立工、食品製造工、洋服仕立工など）	（問 10 へ ）
11. 印刷・製本作業（写植オペレータ、印刷工など）	
12. 建設技能従事者（大工、とび、左官、畳職、配管工、電気工、クレーン運転工など）	
13. 建設作業従事者（土木工、現場片づけなど）	
14. 労務・運搬作業従事者（倉庫作業、荷役作業、新聞配達、宅配便運転手など）	
15. 清掃作業・廃品回収（ビル清掃、工場清掃、廃品回収など）	
16. その他 [ ]	
17. 職業なし	

問9-1 問9で「01」～「16」と答えた方について、その時の立場は何でしたか。

1. 経営者・会社役員
2. 自営・家族従業者
3. 常勤職員・従業員（正社員）
4. 臨時・パート・アルバイト
5. 日雇
6. その他 [ ]

問10 路上（野宿）生活をするすぐ前に、住んでいたのはどこですか。1つ選んでください。（路上（野宿）生活中に一時的に泊まったところは除く。路上（野宿）生活が多くなる前の住居）

01. 持家（一戸建て、マンションなど）
02. 民間賃貸住宅（アパート・マンション）
03. 公営住宅
04. 公営住宅以外の公共賃貸住宅（都市機構賃貸住宅（旧公団賃貸住宅）等）
05. 勤め先の社宅や寮
06. 親族・知人宅
07. 住込み先
08. 飯場・作業員宿舎（飯場など現場に仮設された宿舎）
09. 簡易宿泊所（ドヤ）
10. ビジネスホテル・カプセルホテル・サウナ・24時間営業の飲食店（マンガ喫茶等を含む。）
11. 病院
12. 更生施設等の福祉施設
13. 自立支援センターやシェルター
14. その他 [ ]

問11 路上（野宿）生活をするすぐ前に、住んでいた地域はどこですか。

1. 現在路上（野宿）生活をしている都道府県内の同じ市区町村
2. 現在路上（野宿）生活をしている都道府県内の別の市区町村  
↓  
(具体的に： )
3. 現在路上（野宿）生活をしている都道府県外の市区町村  
↓  
(具体的に： )

問12 これまで一番長くやっていた仕事は何ですか。(主な仕事)

(具体的に：	)	
01. 専門的・技術的職業従事者（建築士、測量士、教師、公認会計士、プログラマーなど）		（問 12-1 へ）
02. 管理的職業従事者（会社・団体役員、工場長、支店長、管理職など）		
03. 事務従事者（一般事務、経理事務など）		
04. 販売従事者（小売、卸売店主、店員、勧誘員、外交員、営業など）		
05. サービス従事者（理美容師、調理人、クリーニング工、ホテル従業員、バーテンダー、アパート管理人など）		
06. 保安職業従事者（警察、自衛官、看守、消防員、警備員など）		
07. 農林漁業作業（農業、漁業など）		
08. 運輸、通信従事者（運転手、機関士、郵便配達員、電話交換手など）		
09. 採掘作業（炭鉱夫など）		
10. 生産工程・製造作業（プレス工、機械組立工、食品製造工、洋服仕立工など）		
11. 印刷・製本作業（写植オペレータ、印刷工など）		
12. 建設技能従事者（大工、とび、左官、畳職、配管工、電気工、クレーン運転工など）		
13. 建設作業従事者（土木工、現場片づけなど）		
14. 労務・運搬作業従事者（倉庫作業、荷役作業、新聞配達、宅配便運転手など）		
15. 清掃作業・廃品回収（ビル清掃、工場清掃、廃品回収など）		
16. その他〔	〕	
17. 職業なし		

問12-1 問12で「01」～「16」と答えた方について、その仕事をしているときは、どのような立場で働いていましたか。

1. 経営者・会社役員	
2. 自営・家族従業者	
3. 常勤職員・従業員（正社員）	
4. 臨時・パート・アルバイト	
5. 日雇	
6. その他〔	〕

問13 これまで一番長く仕事を行っていた際に、住んでいたのはどこですか。1つ選んでください。

01. 持家（一戸建て、マンションなど）
02. 民間賃貸住宅（アパート・マンション）
03. 公営住宅
04. 公営住宅以外の公共賃貸住宅（都市機構賃貸住宅（旧公団賃貸住宅）等）
05. 勤め先の社宅や寮
06. 親族・知人宅
07. 住込み先
08. 飯場・作業員宿舎（飯場など現場に仮設された宿舎）
09. 簡易宿泊所（ドヤ）
10. その他〔

問14 これまで一番長く仕事を行っていた際に、住んでいた地域はどこですか。

1. 現在路上（野宿）生活をしている都道府県内の同じ市区町村
2. 現在路上（野宿）生活をしている都道府県内の別の市区町村  
↓  
(具体的に： )
3. 現在路上（野宿）生活をしている都道府県外の市区町村  
↓  
(具体的に： )

問15 今回の路上（野宿）生活をするようになった主な理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んで下さい。

01. 倒産や失業
02. 仕事が減った
03. 病気・けがや高齢で仕事ができなくなった
04. 労働環境が劣悪なため、仕事を辞めた
05. 人間関係がうまくいかなくて、仕事を辞めた
06. 01, 02, 03, 04, 05以外の理由で収入が減った
07. 借金取立により家を出た
08. アパート等の家賃が払えなくなった
09. 契約期間満了で宿舍を出た
10. ホテル代、ドヤ代が払えなくなった
11. 差し押さえによって立ち退きさせられた
12. 病院や施設などから出た後行き先がなかった
13. 家庭内のいざこざ
14. 飲酒、ギャンブル
15. その他〔                                  〕
16. 理由なし

問16 現在の路上（野宿）生活場所にくる前に、別の場所で路上（野宿）生活をしていたことがありますか。

- |       |            |
|-------|------------|
| 1. ある | → (問16-1～) |
| 2. ない | → (問17～)   |

問16-1 問16で「1. ある」と答えた方について、その場所はどこですか。

- |   |               |
|---|---------------|
| 1. 現在路上（野宿）生活をしている都道府県内の <u>同じ</u> 市区町村 |               |
| 2. 現在路上（野宿）生活をしている都道府県内の <u>別の</u> 市区町村 |               |
|   | ↓<br>(具体的に： ) |
| 3. 現在路上（野宿）生活をしている都道府県外の <u>市区町村</u>    |               |
|   | ↓<br>(具体的に： ) |

問17 現在路上生活をしているこの市区町村に来た主な理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

また、特にあてはまるものに◎をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. 以前住んでいた、仕事先があったり、なじみがある                       |
| 2. 以前の知り合いが誰もいなそうである                             |
| 3. アルミ缶、ダンボール、粗大ゴミ、雑誌等集めなどの仕事があるから               |
| 4. 近くに日雇いの寄せ場があったり、仕事の声をかけられるから（手配師が多い等により仕事に便利） |
| 5. ホームレスが多い                                      |
| 6. ホームレスのための施策が充実している（施設、住宅、パン券・ドヤ券、就労対策、その他）    |
| 7. ボランティア団体等による炊き出しがある                           |
| 8. その他 [ ]                                       |

問18 これまでに東京・山谷、横浜・寿町、大阪・釜ヶ崎、名古屋・笹島などで、仕事をしたり仕事を探したことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- |   |
|---|
| 1. 山谷（東京）   |
| 2. 寿町   |
| 3. 釜ヶ崎  |
| 4. 笹島   |
| 5. それ以外の山谷、寿町、釜ヶ崎、笹島のような場所（寄せ場）で仕事に就いたり、探したことがある。 |
| 6. なし   |

### Ⅲ 健康状態

あなたの健康状態についてお聞きします。

問19 現在、どこか体の具合の悪いところがありますか。

- |        |            |
|--------|------------|
| 1. はい  | → (問19-1へ) |
| 2. いいえ | → (問20へ)   |

問19-1 問19で「1. はい」と答えた方について、どのような対処をしていますか。

- |            |
|------------|
| 1. 通院      |
| 2. 市販薬     |
| 3. 何もしていない |

問20 路上（野宿）生活している間（路上（野宿）生活の長い方はここ1年以内）で、次のような症状がありましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

- |                     |
|---------------------|
| 01. めまい             |
| 02. しびれ・麻痺          |
| 03. 咳が続く            |
| 04. 微熱がつづく          |
| 05. ひどい下痢が続いた・激しい腹痛 |
| 06. 皮膚のかゆみや発疹       |
| 07. 目やにが出る・目がかすむ    |
| 08. 食欲不振            |
| 09. 急激にやせた          |
| 10. ひどくだるい          |
| 11. 耳鳴りがひどい         |
| 12. 吐き気・嘔吐・胃の痛み     |
| 13. むくみ             |
| 14. 頭痛              |
| 15. 腰痛              |
| 16. 歯が悪い            |
| 17. 体の節々が痛む         |
| 18. よく眠れない          |
| 19. 気分がすぐれない・落ちこむ   |
| 20. その他 [ ]         |
| 21. なし              |

問21 路上（野宿）生活をしてから、次のような病気であると診断されたことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

01. 高血圧                      02. 胃・十二指腸潰瘍  
03. 糖尿病                    04. 肝炎  
05. ヘルニア（腰痛等）      06. 皮膚の病気  
07. アルコール依存症       08. 結核  
09. 歯の病気（虫歯、歯槽膿漏等）  
10. うつ病                     11. その他〔                          〕  
12. 病気はない                13. 受診していないので病気かどうかわからない

問22 路上（野宿）生活をしてから、入院したことはありますか。

1. ある（疾病名： ）  
2. ない

問23 現在何らかの障害を抱えていますか。また障害を抱えている場合、身体障害者手帳や療育手帳（愛の手帳）、精神障害者保健福祉手帳を持っていますか。

1. 今持っている（手帳の種類：                  ）
2. 以前持っていたがなくなった（手帳の種類：                  ）
3. 障害はあるが持っていない（内容：                  ）
4. 障害はないので持っていない

## IV 福祉制度

あなたの福祉制度の利用状況についてお聞きします。

問24 巡回相談員に会ったことはありますか。

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 会ったことがあり、相談した       | } → (問24-1へ) |
| 2. 会ったことはあるが、相談したことはない |              |
| 3. 会ったことはない            | → (問25へ)     |

問24-1 問24で「1. 会ったことがあり、相談した」または「2. 会ったことはあるが、相談したことはない」と答えた方について、どのくらいの頻度で巡回してきますか。

- |              |
|--------------|
| 1. 週に1回程度    |
| 2. 月に2～3回程度  |
| 3. 月に1回程度    |
| 4. 半年に2～3回程度 |
| 5. 半年に1回程度   |
| 6. 1年に1回程度   |

問25 緊急的な一時宿泊場所としてシェルターがありますが、この施設の内容を知っていますか。

- |                     |            |
|---------------------|------------|
| 1. 知っており、利用したことがある  | → (問26へ)   |
| 2. 知っているが、利用したことはない | → (問25-1へ) |
| 3. 知らない             | → (問26へ)   |

問25-1 問25で「2. 知っているが、利用したことはない」と答えた方について、今後シェルターを利用したいと思いますか。

- |              |
|--------------|
| 1. 思う        |
| 2. 思わない(理由 ) |

問26 一定期間入所して、食事、健康管理、生活相談や職業相談を受け、就労による自立をするための施設（自立支援センター）がありますが、この施設の内容を知っていますか。

1. 知っており、利用したことがある	→	(問26-1へ)
2. 知っているが、利用したことはない	→	(問26-4へ)
3. 知らない	→	(問27へ)

問26-1 問26で「1. 知っており、利用したことがある」と答えた方について、退所から路上生活に戻るまでの期間はどのくらいでしたか。

1ヶ月未満ならば	_____ 日	} → (問26-2へ)
1ヶ月以上1年未満ならば	_____ 月	
1年以上ならば	_____ 年	

問26-2 問26で「1. 知っており、利用したことがある」と答えた方について、退所理由は何ですか。

1. 会社の寮、住み込み等による就労退所	} → (問26-3へ)
2. アパートを確保しての就労退所	
3. 生活保護の適用による入院、施設入所及びアパート等居宅の確保により退所	
4. 期限到来により退所	} → (問27へ)
5. 期限到来前に規則違反、自主退所、無断退所により退所	
6. その他（理由： _____）	

問26-3 問26-2で「1. 会社の寮、住み込み等による就労退所」または「2. アパートを確保しての就労退所」と答えた方について、路上生活に戻った主な理由は何ですか。

1. 病気、けが、高齢等の理由で仕事を解雇された	} → (問27へ)
2. 仕事の契約期間が満了したが、次の仕事が見つからなかった	
3. 仕事の内容が聞いていたもの（雇用契約）と違い、自ら仕事を辞めた	
4. 周囲とのトラブルや仕事になじめない等により、仕事を辞めた	
5. 生活の面で失敗があった	
6. その他（理由： _____）	

問26-4 問26で「2. 知っているが、利用したことはない」と答えた方について、今後自立支援センターを利用したいと思いますか。

1. 思う
2. 思わない（理由 _____）

問27 これまで生活保護制度を利用したことがありますか

1. ある	}	→ (問27-1へ)
2. 相談には行ったが利用したことはない		
3. 相談には行ったが断られた		
4. ない		

問27-1 問27で「1. ある」と答えた方の利用の方法は次のどれでしたか。あてはまるものをすべて選んで下さい。

1. 病院に入院して生活保護を受けた	}	→ (問28へ)
2. 保護施設等の福祉施設に入所して生活保護を受けた		
3. 宿泊所やドヤ等で生活保護を受けた		
4. アパート等で単身で生活保護を受けた		
5. アパート等で家族と一緒に生活保護を受けた		
6. その他 [ ]		

問27-2 問27で「2. 相談には行ったが利用したことはない」または「3. 相談には行ったが断られた」もしくは「4. ない」と答えた方について、今後相談に行く意志はありますか。

1. ある
2. ない

問28 その他のホームレスに対する支援（住宅の斡旋や宿泊事業、健康診断、食糧支給、衣類の支給等）を利用したことがありますか。

1. ある
2. ない

## V 自立について

問29 今後、どのような生活を望んでいますか。1つ選んでください。

1. きちんと就職して働きたい
2. アルミ缶、雑誌集めなどの都市雑業的な仕事で、生活できるくらいの収入が得られればよい
3. 行政からの何らかの支援を受けながら、軽い仕事をしたい
4. 就職することはできないので何らかの福祉制度を利用して生活したい
5. 入院したい
6. 今のままでいい（路上（野宿）生活）  
（理由： ）
7. わからない
8. その他 [ ]

問30 今後、生活の拠点をどこにおきたいと考えていますか。1つ選んでください。

1. 自らアパートを借りたい
2. 住み込み、寮
3. 家族のもとに戻りたい
4. 今のままでいい（路上（野宿）生活）
5. 施設に入所したい
6. わからない
7. その他（ ）

問31 誰と住みたいと思いますか

1. ひとり
2. 友人・知人
3. 家族
4. わからない
5. その他（ ）

問32 現在、就職するための求職活動をしていますか。

1. 求職活動をしている → (問32-1へ)  
 2. 今は求職活動をしていないが、今後、求職活動をする予定である  
 3. 今も求職活動をしていないし、今後も求職活動をする予定はない → (問32-2へ)

問32-1 問32で「1. 求職活動をしている」と答えた方について、どのように求職活動していますか。あてはまるものをすべて選んでください。

1. 一般の公共職業安定所
  2. 労働安定所(日雇労働者を主に取り扱う公共職業安定所)
  3. 求人雑誌・新聞
  4. 知人・友人などからの情報
  5. 直接雇用主に応募
  6. ホームレス就業支援事業推進協議会
  7. NPO団体
  8. 手配師
  9. その他 [                      ]
- (問32-3へ)

問32-2 問32で「2. 今は求職活動をしていないが、今後、求職活動をする予定である」または「3. 今も求職活動をしてないし、今後も求職活動をする予定はない」と答えた方について、なぜ求職活動をしていないのですか。あてはまるものをすべて選んでください。

- |  |   |   |
|--|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 今の仕事で満足しているから</li> <li>2. 疾病、障害、病弱、高齢で働けないから</li> <li>3. 自分の希望する職業を探してもないと思うから</li> <li>4. 就職の際の身元保証人がいないと難しいと思うから</li> <li>5. 住居がないと採用されないと思うから</li> <li>6. その他 [                      ]</li> </ol> | } | <p>問32で「2」と答えた方<br/>→（問32～3へ）</p> <p>問32で「3」と答えた方<br/>→（問33へ）</p> |
|--|---|---|

問32-3 問32で「1. 求職活動をしている」または「2. 今は求職活動をしていないが、今後、求職活動をする予定である」と答えた方について、どのような職業を希望していますか。

(具体的に： )

01. 生産工程・製造作業員(プレス工、機械組立工など)
02. 建設技能従事者(大工、とび、左官など)
03. 建設作業員(土木工、現場片付けなど)
04. 労務・運搬作業員(倉庫作業、荷役作業など)
05. 運輸・通信従事者(運転手など)
06. 農林漁業従事者
07. 保安職業従事者(警備員など)
08. 専門的・技術的従業員
09. 管理的職業従事者
10. 事務従事者
11. 販売従事者(店員、営業職など)
12. サービス業従事者(調理員など)
13. 清掃作業・廃品回収(ビル清掃、廃品回収など)
14. その他 ( )

(問32-4へ)

問32-4 就職するためにあなたが望む支援は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

1. もっと身近に就職の相談や求人情報をみられるようにしてほしい
2. 職業訓練、職業講習を受けられるようにしてほしい
3. 自分たちにあった仕事先を開拓してほしい
4. 事業主のホームレスに対する理解を進めてほしい
5. 就職の際の身元保証の援助をしてほしい
6. 住所を設定する必要があるのでアパートがほしい
7. その他 ( )

問33 今までにどのような技能、免許・資格を取得しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。また、過去持っていたが、期限が切れてしまっているものには◎をつけてください。

1. 自動車運転免許(1種、2種、大型)
2. 建設関係免許
3. 工場関係免許
4. 調理免許
5. 理美容免許
6. ビルメンテナンス関連資格
7. 福祉関連資格(ホームヘルパー等)
8. その他 ( )
9. 特にない

問34 今後、取得したい免許・資格等がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

1. 自動車運転免許(1種、2種、大型)
2. 建設関係免許
3. 工場関係免許
4. 調理免許
5. 理美容免許
6. ビルメンテナンス関連資格
7. 福祉関連資格(ホームヘルパー等)
8. その他 ( )
9. 特にない

問35 路上生活を始めてから、民間賃貸住宅を探した経験はありますか。

1. ある → (問35-1へ)
2. ない → (問36へ)

問35-1 問35で「1. ある」と答えた方について、具体的にどこで探しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

1. 不動産店 → (問35-2へ)
  2. 自立支援センター
  3. 福祉事務所や地方公共団体
  4. 支援団体
  5. 友人・知人
  6. 雑誌・広告
  7. その他 ( )
2. 自立支援センター、3. 福祉事務所や地方公共団体、4. 支援団体、5. 友人・知人、6. 雑誌・広告、7. その他 ( ) は (問35-3へ) のグループに属します。

問35-2 問35-1で「1. 不動産店」と答えた方について、路上生活をしていたことについて不動産店に伝えましたか。

1. 伝えた
  2. 伝えなかった
1. 伝えた、2. 伝えなかった は (問35-3へ) のグループに属します。

問35-3 問35-1で「1. 不動産店」または「2. 自立支援センター」もしくは「3. 福祉事務所や地方公共団体」と答えた方について、安い家賃の民間賃貸住宅に関する情報が得られましたか。

1. 得られた
  2. 得られなかった
1. 得られた、2. 得られなかった は (問35-4へ) のグループに属します。

問35-4 問35-1で「1.不動産店」または「2.自立支援センター」もしくは「3.福祉事務所や地方公共団体」と答えた方について、家賃を滞納した場合に家主に立替え払いをする民間の保証会社に関する情報が得られましたか。

- 1. 得られた
- 2. 得られなかった

## VI 生活歴

あなたご自身の生活についてお聞きします。

問36 出身地（中学を卒業した時点で生活していた場所をいう。）はどこですか。

1. 現在路上（野宿）生活をしている都道府県内
2. 路上（野宿）生活をしている都道府県外

└─（具体的に： ）

問37 結婚（内縁を含む）はしましたか。

1. 結婚している
2. 離婚・死別
3. 未婚

問38 親や兄弟などの家族・親族はいますか。

- |          |       |          |
|----------|-------|----------|
| 1. いる    | └─→   | (問38-1へ) |
| 2. いない   | } └─→ | (問39へ)   |
| 3. わからない |       |          |

問38-1 問38で「1. いる」と答えた方について、この一年間で家族・親族と連絡がありますか。

1. ある
2. ない

問39 公的年金の保険料を納付していたことがありますか。

1. ある（種類：                      期間：                      ）
2. ない
3. わからない

問40 金融機関や消費者金融などに借金がありますか。

- |       |     |          |
|-------|-----|----------|
| 1. ある | └─→ | (問40-1へ) |
| 2. ない | └─→ | (問41へ)   |

問40-1 問40で「1. ある」と答えた方について、それはいくらぐらいですか。

\_\_\_\_\_ 円

問41 最後に出た学校は次のどれですか。

1. 中学校
2. 高校
3. 短期大学・専門学校
4. 大学
5. その他(                      )

## VII その他

問42 法務省の人権擁護機関（法務局・人権擁護委員）においては、人権問題についての相談に応じていますが、どのような事項について相談したいですか。あてはまるものをすべて選んでください。

1. 近隣住民等からのいやがらせ
2. 通行人からの暴力
3. 債権者等からのいやがらせ
4. 家族の問題
5. その他〔具体的に： 〕
6. 特にない

問43 行政へ何か要望・意見はありますか。

(自由回答)

1. 仕事関連
2. 住居関連
3. 健康関連
4. 食事関連
5. その他の生活関連
6. その他